brother

# ファクシミリ取扱説明書
# FAX-910CL/CLW

本書をよくお読みになって製品をご利用ください。




**お客様相談窓口** 0120-161170

本製品の取扱い、操作、アフターサービスについてのご相談は、上記のフリーダイヤルにお気軽にお申し付けください。

受付時間 午前9：00～午後7：00

営 業 日 月曜日～土曜日（日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます。）

77セレクティのお問い合わせは、下記にご連絡ください。

KDDIカスタマサービスセンター

0077-772（無料）

受付時間 9:00 ～ 21:00

（土・日・祝日も受付中）


本書は、なくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

# 特　長

## 環境にやさしいペーパーレス「みるだけ受信」

ファクスが届いたらディスプレイで確認できます。印刷することもできますが、見るだけですませることもできるので紙とインクリボンのむだになりません。（☞ 50ページ）

## バリエーション豊富。4和音着信・保留メロディ 子機は3和音！

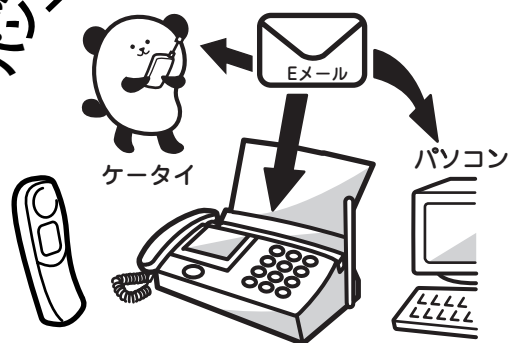
親機に5曲、子機に3曲の着信メロディがセットされています。（☞ 116ページ）ほかにも、「えらんでメロディ」や「JOY SOUND」200曲の中からメロディをダウンロードし、着信メロディとして使うことができます。（☞ 69, 71ページ）

## 豊富なオプション類。

同梱の専用ケーブルを使えば携帯電話と電話帳データを交換したり、iモードのメールの受信データを携帯電話から受け取ることができます。対応機種など、詳しくは125ページを参照してください。また、別売のEメールボードを接続すれば親機、子機のダイヤルボタンを使わなくてもキーボード感覚で文字を入力できます。

## わかりやすい操作ガイドが表示される大画面

約6×8cmの液晶ディスプレイで操作の状況や、次に何をするのかがわかりやすく表示されます。（☞ 7ページ）

## 親機からも子機からもパソコンや携帯電話とEメールのやりとりができる

α-Eメールサービスに加入すればファクスからEメールを送受信することができます。パソコンや携帯電話とももちろんEメールの送受信が可能。コミュニケーションの世界が広がります。

α-EメールサービスはKDDIが提供するサービスです。ご利用いただくためには「77セレクティ」の稼動とKDDIへのα-Eメールお申し込みが必要となります。詳しくは65，74ページを参照してください。

## 子機どうしでお話できる 子機間通話（トランシーバー方式）対応

FAX-910CLWをお使いの場合や、子機を増設しているとき、子機どうしでトランシーバー式の子機間通話ができます。（☞ 39ページ）

# 目　次

## 5章 オプションサービス .......63



## 6章 活用する .................... 113



## 7章 こんなときは .............. 135



## 8章 付録............................ 151

# 安全にお使いいただくために

このたびは本製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
この「安全にお使いいただくために」では、お客さまや第三者への危害や損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

表示と記号の意味は次のようになっています。いつも快適な状態で安全にお使いいただけるよう、内容をよくご理解いただいてから、本製品をご使用ください。

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。

誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

本製品を取り扱う上で知っておくと便利な内容を示しています。

⃠記号は「してはいけないこと（禁止）」を意味しています。図中のイラストは、具体的な禁止内容を示しています。（左の例は分解禁止を意味しています。）

●記号は「しなければいけないこと（指示）」を意味しています。図中のイラストは、具体的な指示内容を示しています。（左の例はプラグをコンセントから抜くことを意味しています。）

「してはいけないこと」を示しています。

「火気に近づいてはいけないこと」を示しています。

「分解してはいけないこと」を示しています。

「水場で使ってはいけないこと」を示しています。

「電源プラグを抜くこと」を示しています。

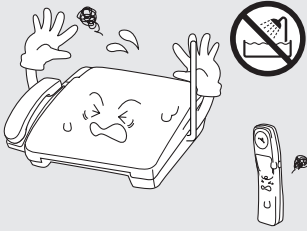
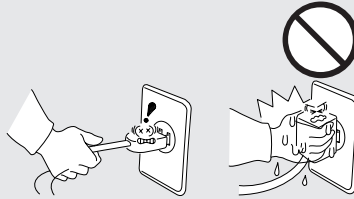
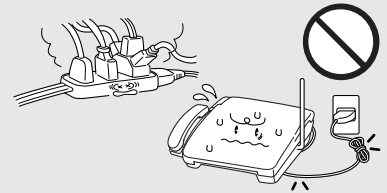
「しなければいけないこと」を示しています。

- 本機は、情報処理装置など電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく、クラスB情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本機がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、「フリーダイヤル 0120-161170」までご連絡ください。
- お客さまや第三者が、本製品の使用の誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は使用の誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたときや、故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。
- 本製品の設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので、絶対におやめください。

※ 取扱説明書など、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

## ■ 設置、配線についてのご注意

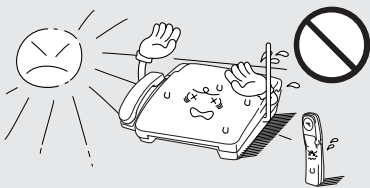
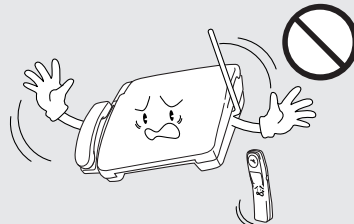
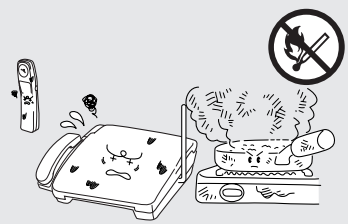
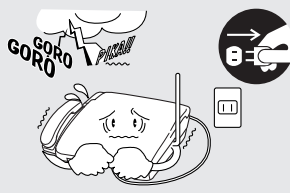
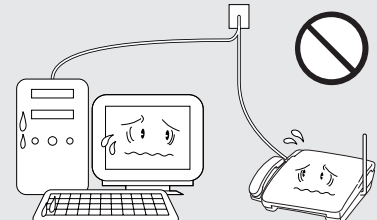
# ⚠警告

●風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高い場所には設置しないでください。
故障や変形、火災の原因となります。

●電源コードやACアダプターを抜くときは、コードを引っぱらないでください。
ぬれた手で電源コードやACアダプターを抜き差ししないでください。
感電ややけどの原因となります。

●たこ足配線はしないでください。
電源コードやACアダプターの上に重いものをのせたり、コードをたばねたりしないでください。
火災の原因となります。

●バッテリーは必ず専用のものをお使いください。
●バッテリーを指定以外の機器に使用しないでください。
●専用の充電器を使用してください。

●国内のみでご使用ください。海外ではご使用になれません。
電源はAC100V 50Hz、または60Hzでご使用ください。
それ以外の電源電圧でご使用になると、火災や感電、故障の原因となります。

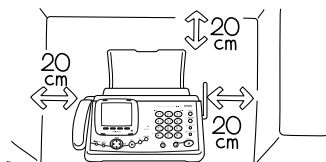
# ⚠注意

**以下の場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。**

●直射日光のあたるところや暖房設備のそばなど、温度の高い場所

●ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所

●調理台のそばなど、油飛びや湯気のあたる場所

●電源コードやACアダプターはコンセントに確実に差し込んでください。（本機には電源スイッチが付いていません。）
雷がはげしいときは、電源コードやACアダプターをコンセントから抜いてください。（電源コードは抜きやすい所に差し込んでください。）

●1つの電話回線に複数台の電話機を接続（並列接続）すると、ナンバーディスプレイサービスやダイヤルインサービス、77セレクティなどに不具合が発生し、誤作動の原因となります。

**本機をお使いいただける環境は次のとおりです。**

温度：5 ～ 35℃

湿度：45 ～ 80%

**本機を正しく使用し性能を維持するために、設置スペースを確保してください。**

**電波障害時の対処**

本機の近くに置いたラジオに雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生したりする場合があります。本機の電源コードをコンセントからいったん抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試してください。

●本機をテレビなどから遠ざける。

●本機、またはテレビなどの向きを変える。

お願い

**以下のような場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。**

●テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど、磁気の発生する場所

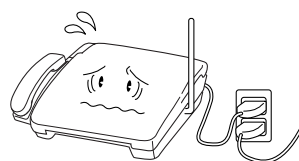
●いちじるしく低温な場所、急激に温度が変化する場所

●クーラー、換気口など、風が直接あたる場所

●ホコリ、鉄粉や振動の多い場所

●換気の悪い場所

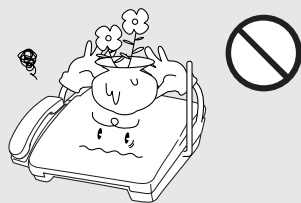
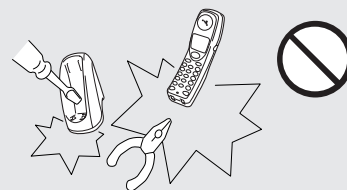
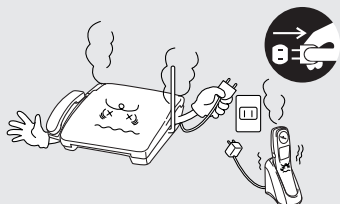
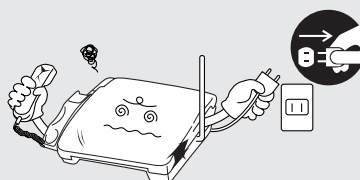
●揮発性可燃物やカーテンに近い場所

電源コンセントの共用にはご注意ください。複写機などの高電圧機器と同じ電源は避けてください。

## ■ 使用する際のご注意

### ⚠警告

**そのまま使用すると故障や火災、感電の原因となります。**

●分解、改造をしないでください。修理などは販売店にご相談ください。（法律で罰せられることがあります。）

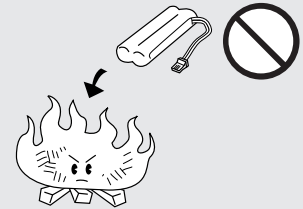
●本機の上に水、薬品などを置かないでください。

●充電端子を金属でショートさせたり、金属の異物を入れないでください。

●煙が出たり、変なにおいがしたときは、すぐに電源コードやAC アダプターをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

●本機を落としたり、キャビネットを破損したときは、電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

●異物が入ったときは、電源コードやバッテリーをはずして、販売店にご相談ください。

## ⚠警告

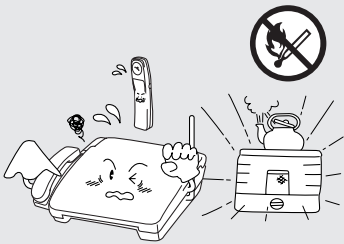
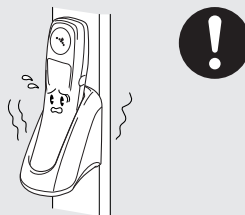
### バッテリーについて

●液漏れしたときは、液が目に入らないようにしてください。液が目に入ると、失明のおそれがあります。もし目に入ったら、こすらずにきれいな水で充分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

●分解、改造をしないでください。
●バッテリー端子をショートさせたり、被覆をはがしたりしないでください。
外装チューブをはがしたり、傷をつけたりしないでください。

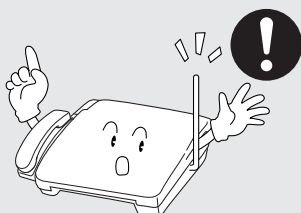
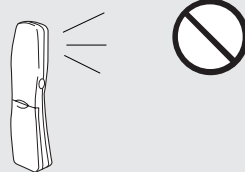
●バッテリーを加熱したり、火中に投げ込まないでください。

●バッテリーを子機から取り出して充電しないでください。
●温度の高いところでは充電しないでください。
●金属製品と一緒に保管しないでください。
●バッテリーの極性（＋／－）を間違えないように入れてください。
●電子レンジや高圧容器に入れないでください。

## ⚠注意

●火気を近づけないでください。故障や火災・感電の原因となります。

●子機を壁掛けにするときは、落下のおそれがあり、ケガの原因となることがあるので、確実に取り付け・設置してください。（☞14ページ）

●長期間不在にするときは、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。

### ハンドスキャナーについて

●ハンドスキャナーを落としたり、ぶつけたりしないでください。落下によりガラスが割れて、ケガの原因になることがあります。
●乳幼児の手がふれないところに置いてください。
●夏季の閉め切った自動車内や直射日光のあたるところ、暖房設備付近に放置しないでください。
●水の近くには置かないでください。
●読み取り面のガラスが汚れたり、ローラーの中にゴミが入り込むおそれがあるので、糸くずやゴミ、ホコリのあるような汚れた机や原稿の上では使用しないでください。

●本機を移動するときは、アンテナを短くたたんでください。誤ってアンテナが目にあたって、ケガや事故の原因となることがあります。

●待機中は子機のスピーカーには絶対に耳を近づけないでください。突然ベルが鳴って、事故やケガ、難聴の原因となることがあります。

●落下、衝撃を与えないでください。
●動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。
●本機の上に重いものを置かないでください。
●室内温度を急激に変えないでください。
装置内部が結露するおそれがあります。
●指定以外の部品は使用しないでください。
●原稿排出の妨げになりますので、本体前方には物を置かないでください。
●海外通信をご利用の際、回線の状況によっては正常な通信ができないときがあります。
●NTT の支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので、最寄りの NTT の支店・営業所へご相談ください。（116 番）
●本機に貼られている注意ラベル類ははがさないでください。

## ■ コードレス子機について

必ず **15 時間以上**充電してからお使いください。

**親機からの見通し距離が約 100m 以内のところでご使用ください。**
**ただし、以下のようなときは通話範囲内でも通話が切れたり、雑音が入ることがあります。**

● 近くで別のコードレス電話を使用しているとき。
● 他の電波の影響を受けるような場所（OA 機器、AV 機器、蛍光灯のそばなど）で使用しているとき。
● 親機と子機の間に鉄筋コンクリート金属板などの障害物があるとき。
● 移動しながら子機を使用しているとき。
● 自動車、オートバイ、飛行機が近くを通ったとき。

**コードレス子機に雑音が入るときは次のような方法を試してください。**

● 親機の近くで子機を使用する。
● 親機の向きを変える。
● 親機の置き場所を変える。（電子レンジ、テレビ、ワープロ、携帯電話など電気製品の近くに親機を設置しているときは、子機が使用できないことがあります。）
● 親機のアンテナの角度を前後、または右側に変える。
● 親機のアンテナの長さを変える。
● 親機のアンテナから AC アダプターのコードを遠ざける。（アンテナに巻き付けたり、引っかけたりしないでください。）

マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や、金属製の家具の近くなどでは、電波の届く距離がかなり短くなることがあります。また、自分の向きや場所を少し移動することにより雑音がなくなる場合があります。

## ■ ハンドスキャナーについて

●見開きページの中央部分や段差のある原稿を読み取るときは、ハンドスキャナーと原稿の間にすき間ができないように読み取ってください。コピーしたときに黒くなったり文字がぼやけたりする可能性があります。
●のりや修正液、朱肉、ボールペンのインクなどが付いている原稿は、よく乾かしてから読み取ってください。読み取り面のガラスが汚れたり、読み取ったデータを印刷したときに白や黒い線が出る原因になります。
●表面に凹凸がある原稿、コーティングなどで表面がすべりやすい原稿は、ハンドスキャナー本体や読み取り結果に不都合が生じるときがありますので、注意してください。

## ■ 停電がおきたとき

**停電時のデータについて**

**消去されないデータ**
電話帳、各種登録、設定内容、子機に登録した電話帳、ユーザー辞書

**数時間以上たつと消去されるデータ**
着信記録、通信管理レポート、受信メモリー文書、録音されたメッセージ、ダウンロードされたメロディ、α-E メール受信メッセージ、α-E メール送信メッセージ、かな漢字変換の学習

**停電後すぐ消去されるデータ**
送信メモリー文書、モーニングメロディ設定内容

半日以上停電が続いたときは、日付が正しく表示されないことがあります。再設定をしてください。
(☞ 15 ページ)

**停電中は本体、子機ともに電話をかけることができません。**
ファクシミリ・コピーも使用できません。停電時に備えて、停電中でも使える電話機を保管することをおすすめします。

## ■ コピーについて

**法律によりコピーが禁じられているものがあります。**

**法律で禁止されているもの（絶対にコピーしないでください）**

- 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
- 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用の郵便切手や官製はがき
- 政府発行の印紙、および酒税法や物品税法で規定されている証券類

**以下のようなものをコピーするときには注意してください。**

**著作権のあるもの**

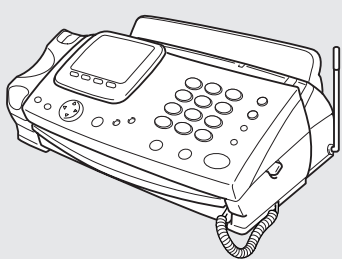
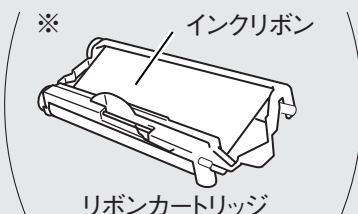
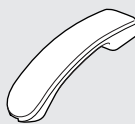
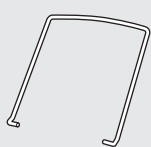
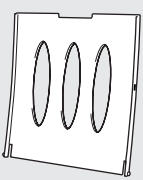
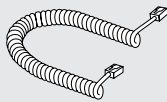
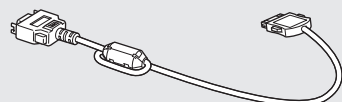
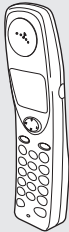
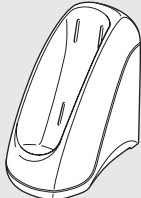
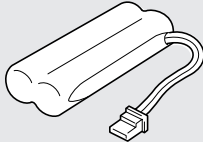
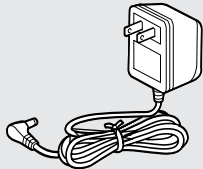
- 著作権の目的となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用する以外の目的でコピーすることは、禁止されています。

**その他注意を要するもの**

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
- 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

## ■ 記録紙について

- しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏などは使用しないでください。
- 記録紙の保管は、直射日光、高温、高湿を避けてください。

# 1 章

# ご使用の前に

# 付属品を確認する

箱の中に次のものがそろっているか確認してください。
万一不足しているものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があったときは、「フリーダイヤル　0120-161170」にご連絡ください。

本体　1台
（ハンドスキャナー・リボンカートリッジセット済）

※　インクリボン
リボンカートリッジ

受話器　1台

原稿受け　1個

記録紙トレイ　1個

ダストカバー　1個

電話機コード　1本

受話器コード　1本

携帯接続ケーブル　1本

**※ 本体の中には A4 サイズで約 30 枚分印字可能なお試し用リボンを取り付けたリボンカートリッジがセットされています。**

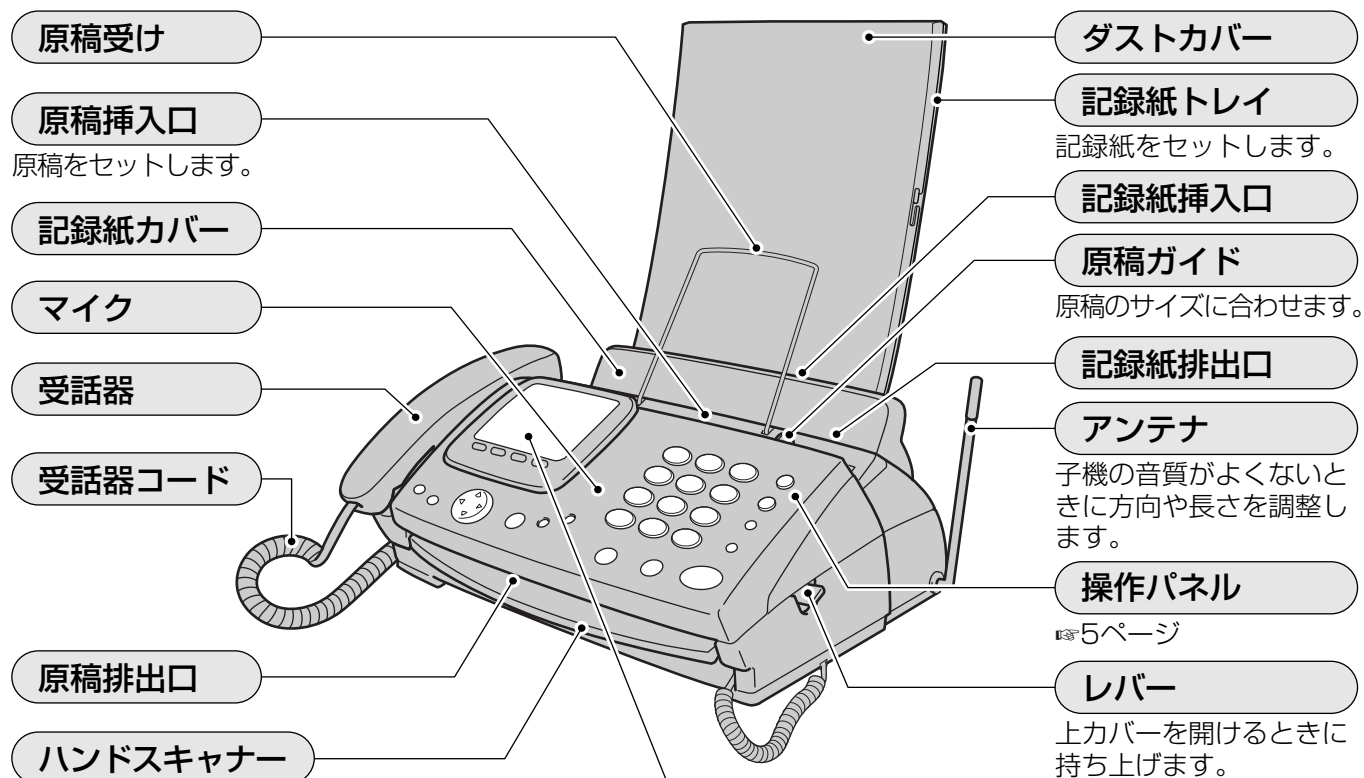
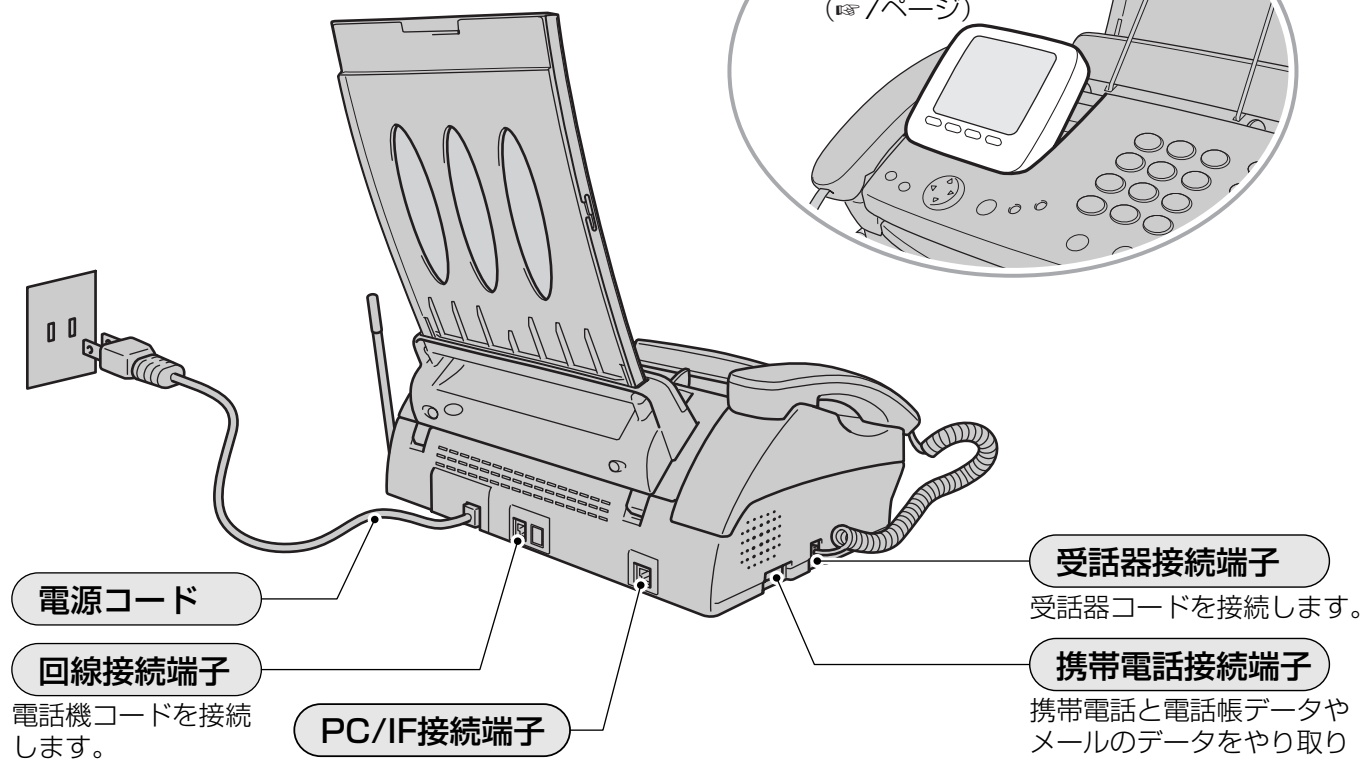
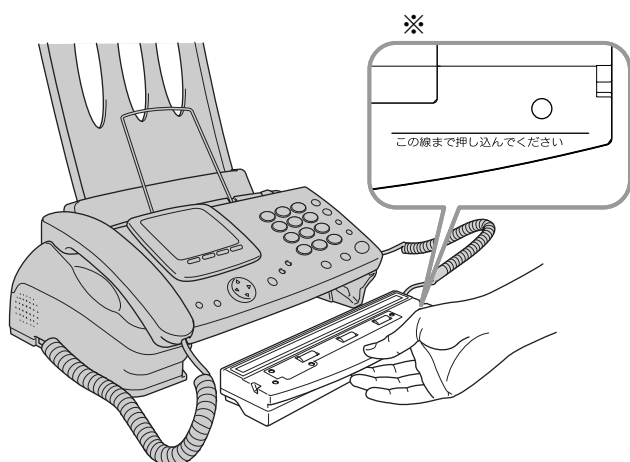
壁掛け用木ネジ　2本

子機用バッテリーカバー 1個

※ FAX910CLW には 2 台分の子機（および子機の付属品）が同梱されています。

| | | |
|---|---|---|
| 保証書　1部 | 取扱説明書　1部 | 記録紙（A4） |
| 設置ガイド　1部 | α-E メールご利用申込書　一式 | ご愛用者アンケート　1枚 |

# 各部の名称とはたらき

## ● 親機

## ●ハンドスキャナーの取り付け、取り外し

厚みのある原稿などを読み取るときはハンドスキャナーを取り外して原稿を読み取ります。

■ **取り外す**

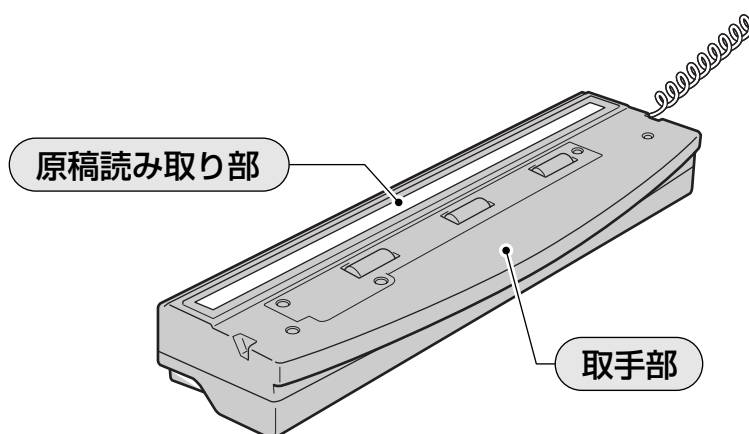
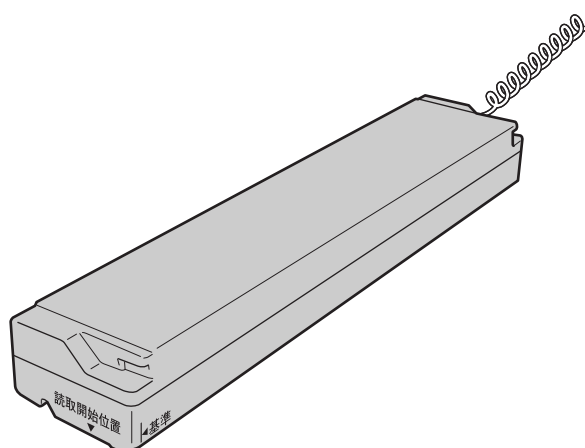
ハンドスキャナーの取手部を下に押し下げ、手前に引きます。

■ **取り付ける**

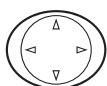
原稿読み取り部を上にしてハンドスキャナーの取手部を持ち、ハンドスキャナーを本体に押し込みます。

※ 目印の線まで確実に押し込んでください。



## ●ハンドスキャナー

## ●操作パネル

### 選択ボタン
画面に表示された項目を選択します。

### ディスプレイ
操作手順や本機の状態、メッセージなどが表示されます。

### マルチセレクトボタン
ディスプレイの項目を選択します。
待ち受け画面で◎の▲を押すと電話帳が表示されます。
また、◎の▶を押すと着信音量の調整ができます。
(☞17ページ)

### α-Eメールボタン
Eメールを送信／受信します。
(☞79, 81ページ)

### 77セレクティボタン
KDDIの「77セレクティ」の設定を変更するとき、メロディをダウンロードするときに押します。
(☞66, 69, 71ページ)

### スタートボタン
送信／受信するときに押します。

コピー

### コピーボタン
コピーするときに押します。
(☞60ページ)

停止

### 停止ボタン
操作を途中で中止するときに押します。

1 ご使用の前に

ダイヤルボタン

ダイヤルするときや文字の入力に使用します。

トーン

＊トーンボタン

一時的にプッシュホンサービス（トーン信号によるサービス）を利用するときに押します。（☞ 112ページ）

キャッチ

キャッチボタン

キャッチホンを使うときに押します。
（☞107ページ）

保留/子機

保留／子機ボタン

電話を保留にしたり、子機を呼び出すときに押します。
（☞26, 39ページ）

再ダイヤル/ポーズ

再ダイヤル／ポーズボタン

最後にかけた相手にもう一度ダイヤルしたり、ダイヤルするときにポーズを入れるときに押します。
（☞28ページ）

スピーカーホン

スピーカーホンボタン

受話器を持たずに通話するときに押します。
（☞28ページ）

留守

留守ボタン

留守モードにするとき押します。
（☞26、41ページ）

消去

消去ボタン

録音されたメッセージ、電話／ファクスの着信記録、電話帳の登録内容を消去します。

再生/録音

再生／録音ボタン

録音されたメッセージを再生したり、通話を録音します。
（☞37, 41ページ）

## ●ディスプレイ

現在の状態やメッセージ、操作手順などを表示します。通話をしていない状態では、次のように「待ち受け画面」が表示されています。表示の内容と意味は次の通りです。

00件 00件 00件
2001年 3月12日
12:37
0077
タイマー送信待機中 再ダイヤル待機中 留守録転送
ファクス一覧 着信記録 機能

録音されている音声メッセージの件数が表示されます。

メモリーに受信した未読ファクスの件数が表示されます。

受信した未読α-Eメールの件数を表示します。
メールサーバーから着信通知が届いたときは が表示されます。

モーニングメロディを設定しているとき、設定時刻と一緒に表示されます。

リボンの残量が表示されます。
（☞ 141ページ）

ファクス通信のあと、結果が表示されます。正常に送信できたときは 、エラーが発生したときは が表示されます。

0077 0077セレクティを使用しているとき表示します。

タイマー送信待機中 タイマー送信を設定しているときに表示されます。

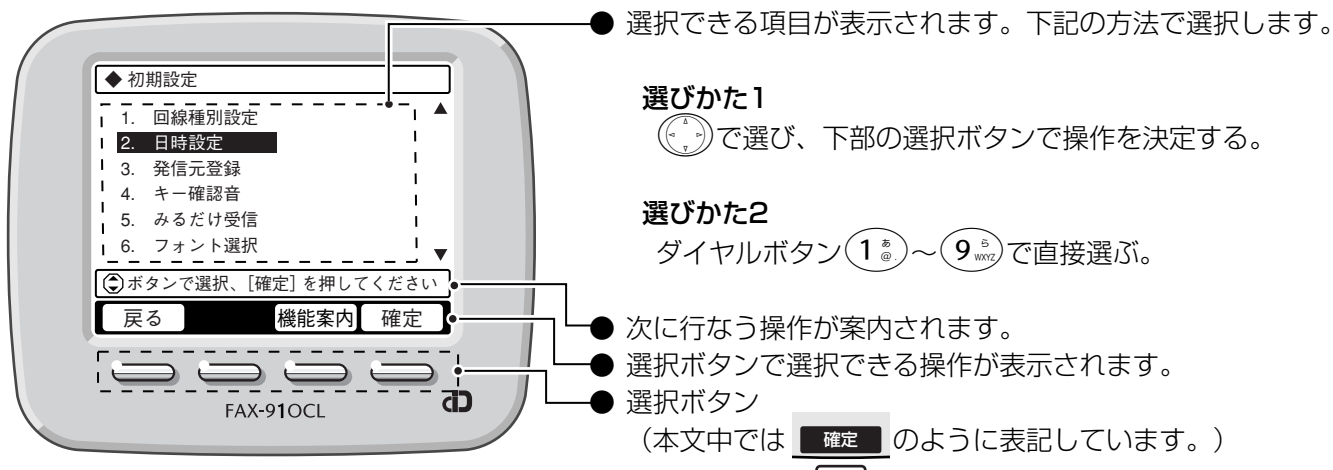
再ダイヤル待機中 再ダイヤルの待機中に表示されます。

留守録転送 留守録転送を設定しているとき表示されます。
ファクス転送を設定しているときは、ファクス転送 が表示されます。

現在の日付と時刻が表示されます。

選択ボタンで使用できる項目が表示されます。

## ●ディスプレイと操作のしかた

本機では、ディスプレイに表示された項目を、（マルチセレクトボタン）や、選択ボタンで選択します。

## ●子機

**スピーカーと受話口**

着信音や相手の声が聞こえます。

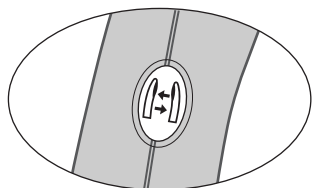
**子機間通話ボタン**

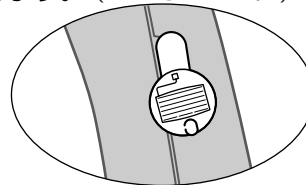
子機同士で通話するときに押します。(☞39ページ)

**Eメールボード接続端子**

Eメールボードを接続するときに使用します。(☞ 132ページ)

**ディスプレイ**

操作手順や本機の状態、メッセージなどが表示されます。

**再ダイヤル/P/文字切替ボタン**

最後にかけた相手にもう一度ダイヤルしたり、ダイヤルするときにポーズを入れるとき、文字入力の種類を変えるときに押します。

**マルチセレクトボタン**

ディスプレイの項目を選択するとき、電話帳を表示するとき、文字入力でカーソルを動かしたり、漢字を変換するとき、音量を調整するときに使用します。

外線　電話をかけるときに押します。

内線/クリア
外線を保留にするとき、内線で通話するとき、文字を消すときに押します。

切　電話を切るときに押します。

**機能／確定ボタン**

機能を設定するとき、設定内容を決定するときに押します。

**ダイヤルボタン**

ダイヤルするとき、文字を入力するときに押します。

**トーンボタン**

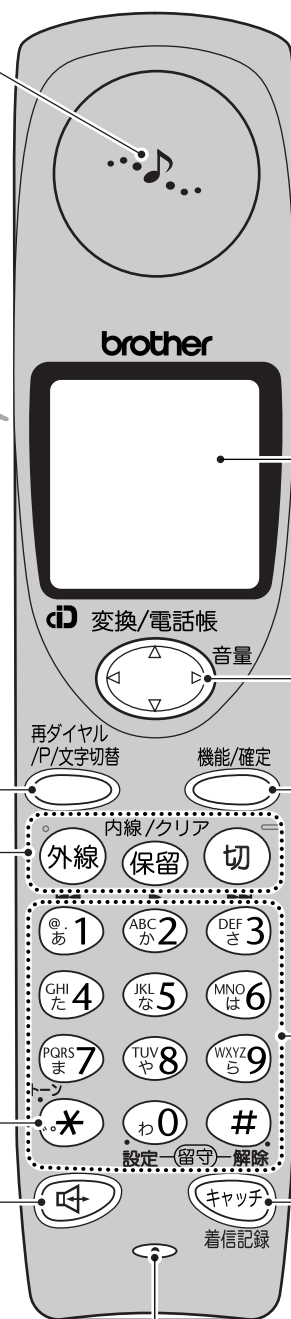
一時的にプッシュホンサービスを利用するときに押します。

**キャッチボタン**

キャッチホンを使うとき、着信記録を表示するときに押します。

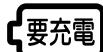
**スピーカーホンボタン**

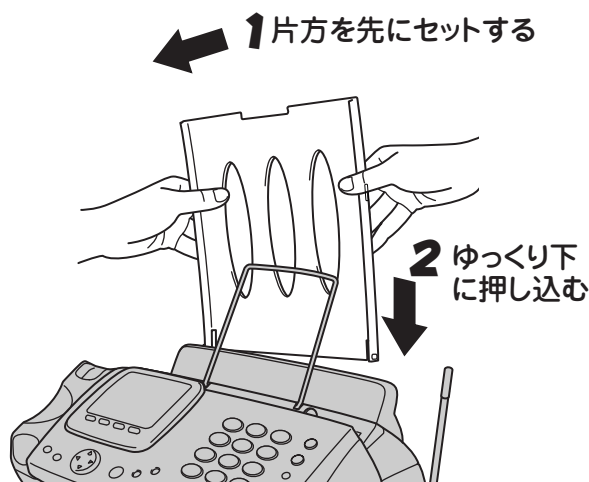
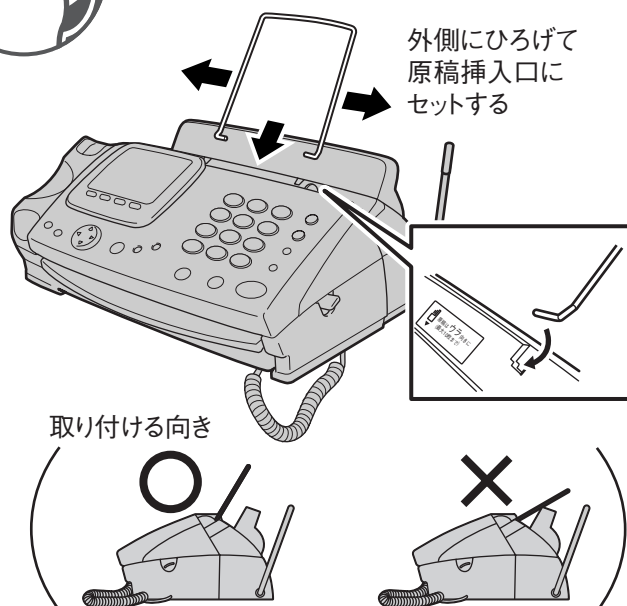
子機を持たずに通話するときに押します。

**マイク**



## ●子機のディスプレイ

英 カナ かな　入力できる文字の種類が表示されます。
英：アルファベット(大文字、小文字)、数字が入力できます。
カナ：全角カタカナが入力できます。
かな：全角ひらがなが入力できます。

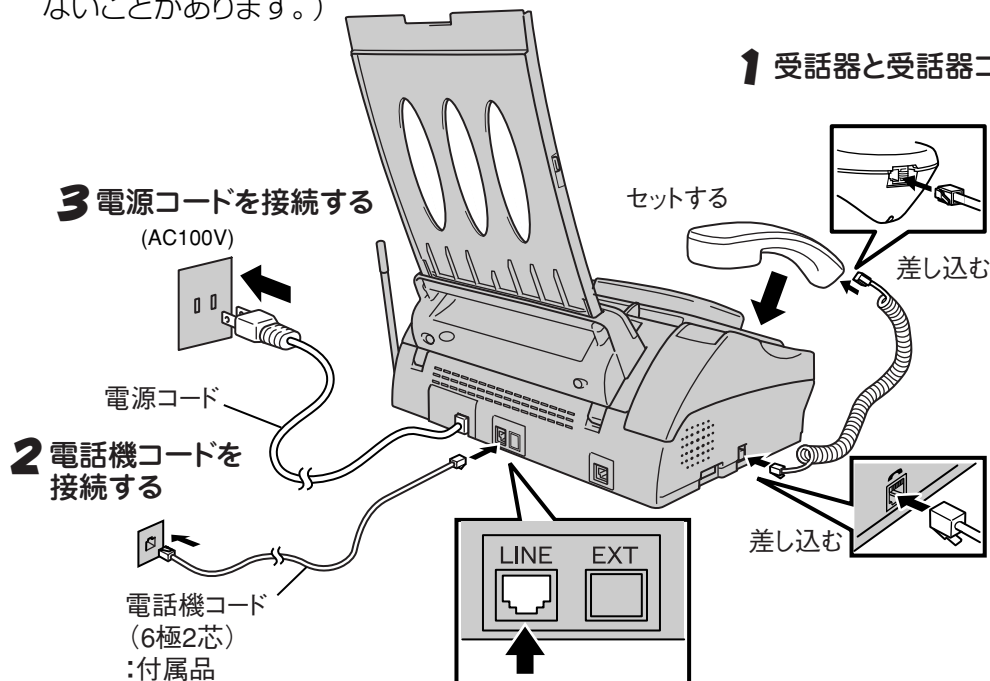
新しくメールを受信すると表示されます。

要充電　バッテリー残量が少なくなると表示されます。

## 原稿受けと記録紙トレイを取り付ける

補足

トレイは両手で持ってセットします。

## 接続する

受話器と受話器コード、電話機コード、電源コードの順に接続します。電源を入れると続けて、回線種別の設定が行われます。（接続の順番を間違えると、回線種別の設定が正しく行われないことがあります。）

補足

**電話コンセントがモジュラー式ではないとき**

- 3ピンプラグ式の場合は、市販のモジュラー付き電話キャップを購入してください。
- 直接配線式の場合は、別途工事が必要です。最寄りのNTT窓口（116番）にお問い合わせください。

- 並列（ブランチ）接続はおやめください。ダイヤルイン、ナンバーディスプレイなどのサービスが正しく動かないことがあります。（☞iiページ）
- ご使用のパソコンにPHONE端子がある場合は一つの電話回線でパソコンと本機の両方を接続してお使いいただけます。
  接続のしかたは131ページを参照してください。
- NTTのISDN回線をご利用の場合は131ページを参照してください。

# 回線種別をチェックする（自動）

電源が入ると自動的に電話回線の種別をチェックし、設定します。

### チェックしているとき

**失敗したとき**

### チェック終了

補足

- 「**電話機コードを接続してください**」と表示されたときは、電話機コードを接続し直してください。そのままにしていると回線の判断ができません。
- 構内交換機など一般と異なる回線につないでいるときは、自動設定できないときがあります。

補足

- 自動的にチェックできなかったときに表示されます。手動で回線種別を設定してください。（☞11ページ）
- 「回線種別を設定してください」というメッセージが表示されたあとそのまま5分放置するとデモ画面が表示されます。その時は停止（停止）を押してデモ画面を終了し、手動で回線種別を設定してください。

**成功したとき**

### チェック終了

プッシュ回線です

<ガイダンス>
「このファクシミリは、お申し込みをしなくても、KDDIのおトクな0077市外電話を自動的に選択します。ご利用を希望されないお客様は次の操作を行ってください。77セレクティボタン（#）77セレクティボタンと押して「77セレクティ」表示が消灯したことを確認してください。

補足

次に「77セレクティ」の音声ガイダンスが流れます。（「77セレクティ」☞12, 64ページ）

補足

「77セレクティ」の設定が終了すると時計表示になります。

補足

**デモ画面の表示**

- 消去（消去）と再生/録音（再生／録音）を同時に押すと、おもに販売店の店頭で使われるファクスの機能紹介画面を表示できます。
- 中止したいときは、停止（停止）を押してください。

**リボンカウンタについて**

- 本機は出荷時に、約30枚分をプリントできるリボンがあらかじめセットされています。始めて電源を入れたとき、「リボンを交換しましたか？」というメッセージが表示されたときは「いいえ」を選んでください。

# ●手動で回線種別を設定する

電話回線に何らかの問題があり、自動で回線を種別できないことがあります。「回線種別を設定してください」というメッセージが表示されたときは、次の手順で設定してください。

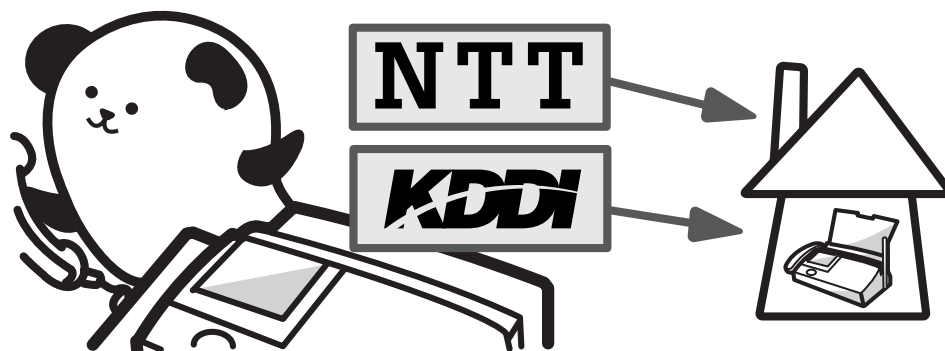
利用している電話回線の種別は次のようにして調べてください。もしもわからないときは、最寄りのNTTの支店、営業所またはNTT窓口（116：無料）にお問い合わせください。

## ■ 今までお使いの電話機が押しボタン式のとき

| 押しボタン式 | ダイヤルしたときに**受話器から**「**ピッポッパ**」という音が聞こえる | プッシュ回線です。「プッシュ回線」に設定してください。 |
|---|---|---|
| | ダイヤルしたときに**受話器から**「**ピッポッパ**」という音が聞こえない | 本機から「117」（時報）にかけて、かからなかったときは「10PPS」に設定してください。 |
| | | 本機から「117」（時報）にかけて、かかったときは「20PPS」に設定してください。（そのままご使用ください。） |

## ■ 今までお使いの電話機が回転ダイヤル式のとき

|  回転ダイヤル式 | 本機から「117」（時報）にかけて、かからなかったときは「10PPS」に設定してください。 |
|---|---|
| | 本機から「117」（時報）にかけて、かかったときは「20PPS」に設定してください。（そのままご使用ください。） |

## ●「77 セレクティ」とは

本機はお取り付けいただくだけで、市外へ電話をかけたり FAX を送ったりするときに、KDDI の 0077 市外電話サービスと NTT（*1）回線のうち、通常通話料金（*2）のおトクな回線を自動的に選択してくれる機能です。詳しくは「77 セレクティを利用する」（☞ 65 ページ）をご覧ください。

「77 セレクティ」を利用するときは、本機を電話回線に接続したときに再生される音声案内に従って登録してください。

*1：NTT 東日本、NTT 西日本、NTT コミュニケーションズを表します。

*2：電話会社（NTT、KDDI）の割引サービス適用前の料金です。

**「77 セレクティ」に関する不明点は、下記 KDDI カスタマサービスセンターまでお問い合わせください。**

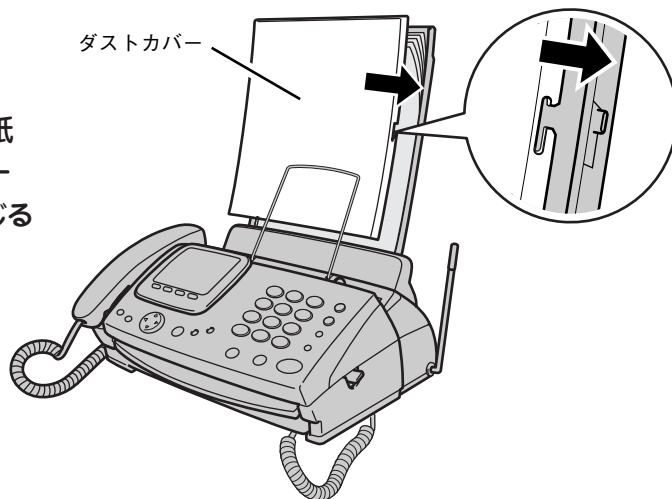
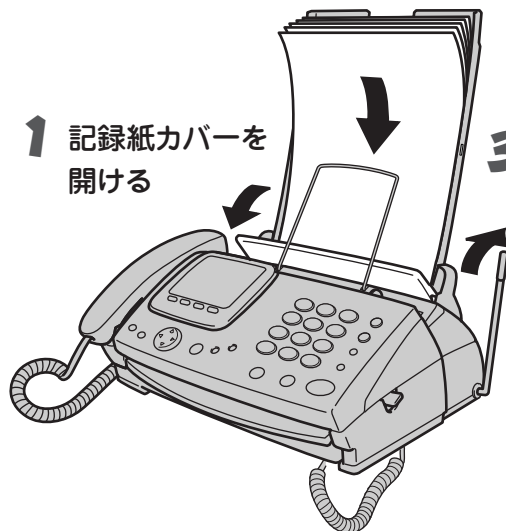
KDDIカスタマサービスセンター

0077-772（無料）
受付時間　9:00 〜 21:00
（土・日・祝日も受付中）

## ●「77 セレクティ」を利用しないとき

0077 市外電話を利用しないときや、ホームテレホンや構内交換機、ピンク電話、共同電話などのため「77 セレクティ」を利用できないときは、音声案内再生後に次の操作を行ってください。

- KDDI の割引サービスや「α-E メール」などをご利用されている場合は、別途 KDDI とのご解約手続きが必要です。
- 途中から「ご利用しない」に設定を変更した場合、KDDI にご利用停止を知らせるオンライン通信が行われます。
- 「77 セレクティ」を再開するときは、「77 セレクティの再開」（☞ 66 ページ）を参照してください。

# 記録紙をセットする

紙づまりを防止するため、印刷された用紙をためないよう取り除いてください。

# 記録紙について

用紙の厚さとサイズが適当な、市販されている用紙を使ってください。

## 用紙のサイズと厚紙

- 用紙サイズ
  A4サイズ（210×297 mm）
- 重量
  64g/m²（55kg紙）または81.4g/m²（70kg紙）

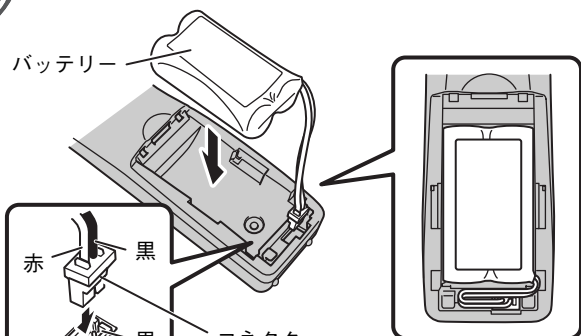
用紙の厚さによってセットできる枚数が異なります。64g/m²の用紙であれば約50枚、81.4g/m²の用紙であれば約30枚セットできます。

## 使用できない紙

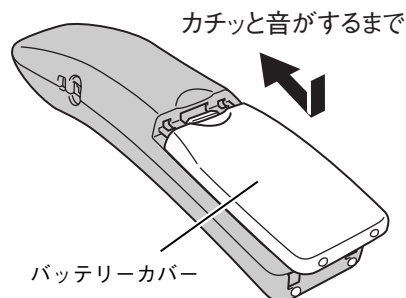
次のような用紙をセットしないでください。用紙がつまってしまいます。

- そり、折れ、しわのある用紙
- 穴、破れのある用紙
- 薄くてやわらかい用紙
- つるつるすべる用紙
- 感熱紙、アート紙のように表面が加工された用紙

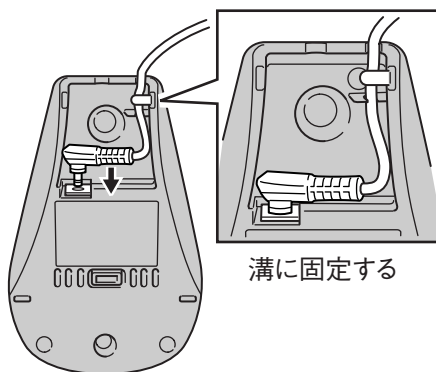
# 子機を準備する

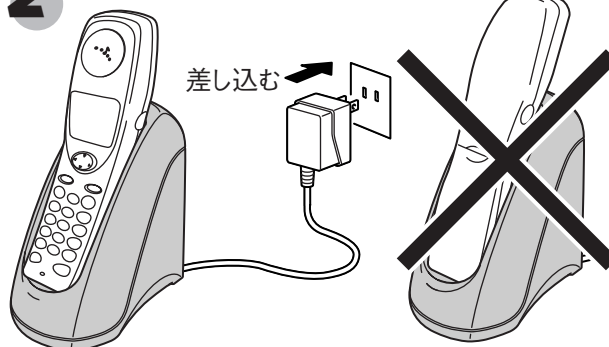
## バッテリーをセットする

**1** 上図の向きにコネクターを差し込む

**2** バッテリーをセットする

**3** カバーを閉める

## 充電する

はじめてお使いいただくときは、必ず**15時間以上**充電してください。

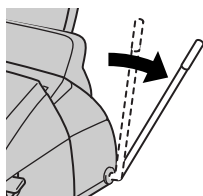
**1**

ACアダプターの電源プラグを充電器に差し込む

**2**

ACアダプターをコンセントに差し込み、子機をセットする

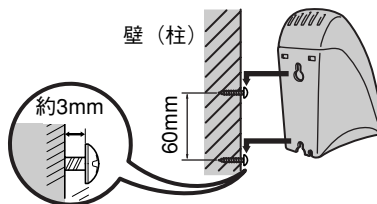
**補足**

充電器の端子が汚れていると、充電できなかったり子機が使用状態になることがあります。こまめに掃除してください。

- 子機のバッテリーは消耗品です。充電しても使える時間が短くなったときは交換してください。交換時期の目安は約1年です。バッテリーはお買い上げの販売店または消耗品オーダーシート（☞157ページ）でお求めください。
- 子機を使用していないときは、必ず充電器にセットしてください。長時間放置しておくとバッテリーが消耗して使用できなくなります。

### ●親機のアンテナを調整する

建物の構造によって子機を使うと雑音が入ることがあります。そのときは通話しながら親機のアンテナの角度や長さを調整してください。

- 電波が極端に弱くなる場所では、子機のご使用を避けてください。

### ●壁にかけて使用する

付属の壁かけ用木ねじ（2本）を壁か柱に取り付けて充電器をセットしてください。

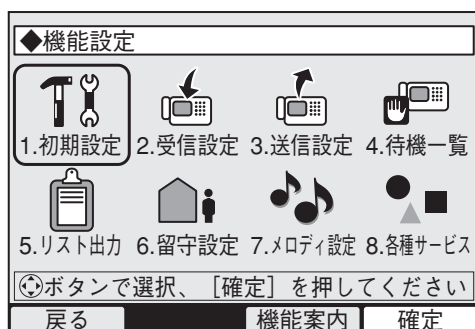
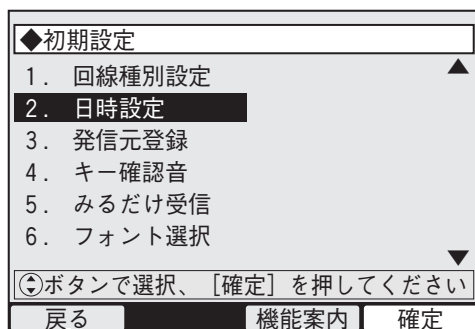
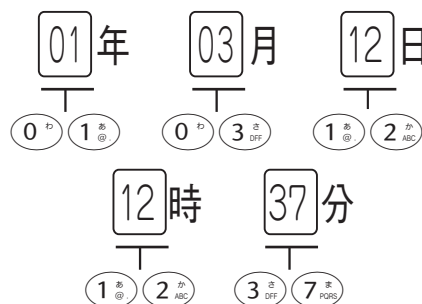
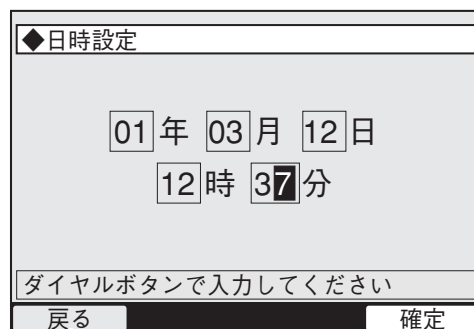
60mm

# 初期設定をする

## ●現在の日付と時刻を設定する

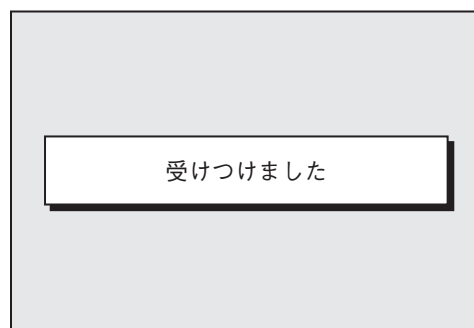
日付と時刻はディスプレイに表示されるほか、ファクスを送信したとき送り先の記録紙に送信日時が印刷されます。また着信記録、送信記録もこの設定日時に基づいて表示されるので必ず設定してください。

**1 「機能」を押す**

**2 ◎で「1.初期設定」を選び、「確定」を押す**

**3 ◎で「2.日時設定」を選び、「確定」を押す**

**4 ダイヤルボタンで日時を入力する**

- 「年」は西暦の下２桁を入力します。
- 入力を間違えたときは一度すべて入力した後、上書きして修正してください。

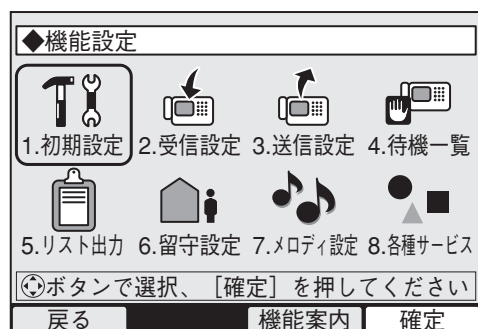
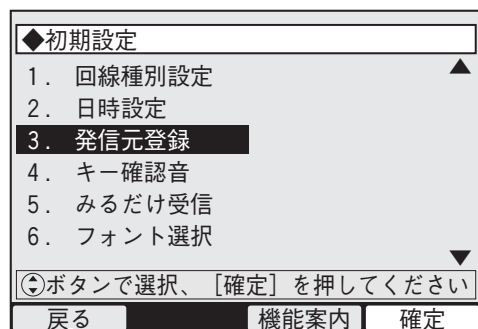
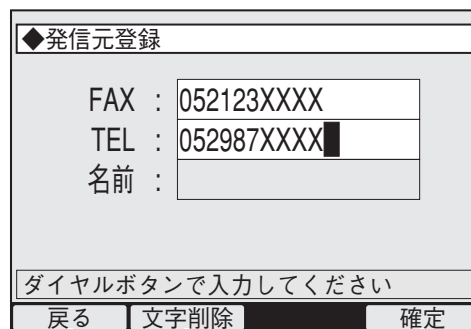
**5 「確定」を押す**

➡「受けつけました」とメッセージが表示されます。

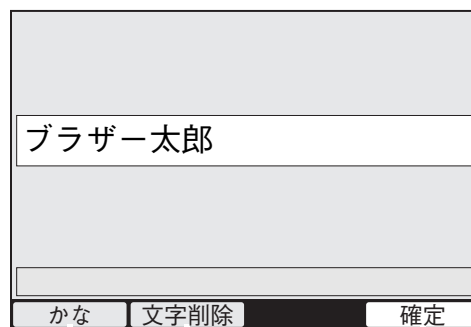
1 ご使用の前に

# ●名前とファクス番号を登録する

発信元となるファクス番号のほか電話番号、名前を登録します。ファクスを送信したときに相手の記録紙に登録した内容が印刷されます。ファクス番号は必ず登録してください。

**1** 「機能」を押す

**2** で「1.初期設定」を選び、「確定」を押す

**3** で「3.発信元登録」を選び、「確定」を押す

**4** ダイヤルボタンでファクス番号と電話番号を入力する

➡ファクス番号を入力したら、 の▼で電話番号入力枠に移動します。
➡入力できる文字数は 20 文字までです。
➡入力を間違えたときは の◀または▶で数字を選択し、「文字削除」を押します。
➡項目を移動するときは の▲または▼を押します。

**5** の▼で名前の入力枠に移動し、「入力」を押す

➡「入力」を押すとディスプレイの中央に名前の入力枠が表示されます。
➡名前として入力できる文字数は、全角で16文字、半角で 32 文字までです。

➡「文字の入れかた」☞ 21 ページ

● 文字を入力したら確定を押します。

**6** 「確定」を押す

➡「受けつけました」とメッセージが表示されます。

# ●音量を設定する

親機のキー確認音、着信音量、スピーカー音量、受話音量、子機の着信音量、スピーカー音量、受話音量を調整します。

## キー確認音

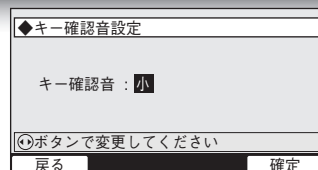
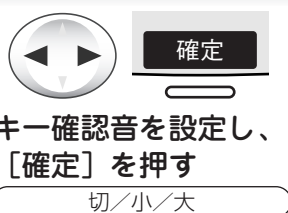
ダイヤルボタンを押したときの音量を調整します。

● 子機のキー確認音は調整できません。

**1** ［機能］→［1.初期設定］→［4.キー確認音］を押す

◆キー確認音設定
キー確認音：小
ボタンで変更してください
戻る　確定

**2** キー確認音を設定し、［確定］を押す

切／小／大

終了

## 着信音量

着信時のベルやメロディの音量を調整します。

● 通話中でないときに設定できます。

● 充電器に置いているとき、または外線が消灯しているときに設定できます。

### 親機

**1** ［音量］を押す

◆着信音量調整
ボタンで変更してください

**2** 音量を調整する

終了

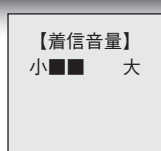
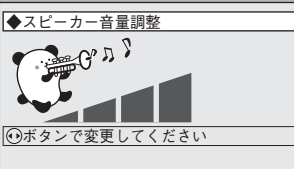
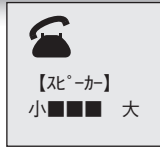
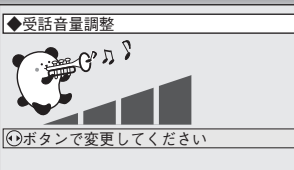
● 音量はOFFと4段階の調整ができます。
● 2秒間操作しないともとの画面に戻ります。

### 子機

**1** ［音量］を押す

【着信音量】
小■■　大

**2** 音量を調整する

終了

● 音量はOFFと4段階の調整ができます。
● 2秒間操作しないともとの画面に戻ります。

● 調整後約 2 秒間操作しないともとの画面に戻ります。
● 着信音量を「OFF」に設定していても、次の音は最小音量で鳴ります。
· 本機が自動着信した後、相手が電話であることをお知らせする「トゥルッ、トゥルッ」というベル音（親機のみ）
· 電話予約時の呼出音（親機のみ）
· 内線や取り次ぎの呼出音

## スピーカー音量

スピーカーホンで通話するときの音量を調整します。

- （スピーカーホン）を押して「ツー」という音が聞こえているとき、またはスピーカーホンで通話中のときに設定できます。
- を押して「ツー」という音が聞こえているとき、またはスピーカーホンで通話中のときに設定できます。

**親機**

1 ［スピーカーホン］→［音量］を押す

◆スピーカー音量調整
ボタンで変更してください

2 音量を調整する

終了

- 音量はOFFと4段階の調整ができます。
- 2秒間操作しないともとの画面に戻ります。

**子機**

1 ［スピーカーホン］→［音量］を押す

【ｽﾋﾟｰｶｰ】
小■■■　大

2 音量を調整する

終了

- 音量は4段階の調整ができます。
- 2秒間操作しないともとの画面に戻ります。

## 受話音量

受話器や子機をもって通話するときの音量を調整します。

- 受話器で通話中のときに設定できます。
- 通話中に設定できます。

**親機**

1 通話中に［音量］を押す

◆受話音量調整
ボタンで変更してください

2 音量を調整する

終了

- 音量は3段階の調整ができます。
- 2秒間操作しないともとの画面に戻ります。

**子機**

1 通話中に［音量］を押す

【受話音量】
小■■■　大

2 音量を調整する

終了

- 音量は4段階の調整ができます。
- 2秒間操作しないともとの画面に戻ります。

- 子機のスピーカー音量、受話音量は聞き取りやすいように大きめに設定してあります。特に３段階目、４段階目に設定すると、キーンという音（ハウリング）が発生することがあります。その場合は段階を２段階目または１段階目に設定してご使用ください。
- 相手先との回線状況によっては音量は変化します。その場合は必要に応じて音量を調整してください。

# 受信のしかた

電話／ファクスを受信するときは、「留守モード」と「在宅モード」と大きく2つの種類があります。どちらのモードも着信してから本機が応答するまでに鳴る着信音の回数を変えると少し違った受信のしかたができます。目的に応じて使い分けてください。（「着信回数の設定」☞ 117ページ）
お買い上げ時は「在宅モード」、着信回数15回に設定されています。

## 留守にするとき

留守が点灯している状態です。

着信する

設定した回数の着信音が鳴る（着信回数:0〜7）

- お買い上げ時の留守モードの着信回数は2回に設定されています。

相手がファクスのとき

自動的に受信します。

相手が電話のとき

留守応答します。

**着信回数とトールセーバー**

留守モードでは着信回数を設定するか、「トールセーバー」という機能を選択できます。（☞ 118ページ）
トールセーバーを選択すると、外出先から留守番電話のメッセージが入っているかどうかを確認できます。

**〈外出先からメッセージの有無を確認する（トールセーバーのとき）〉**

外出先から自宅に電話をかけて、留守番メッセージが再生されるまでの着信回数を確認します。

メッセージがあるとき………着信2回
メッセージがないとき………着信5回

➡ 着信音が3回鳴った時点で、メッセージが記憶されていないことがわかります。3回鳴った時点で電話を切れば通話料はかかりません。2回鳴って電話がつながったときは、リモコンアクセス（☞45ページ）によって音声メッセージを確認するなど、本機を操作することができます。

1 ご使用の前に

# 家にいるとき

留守が 消灯している状態です。

## 電話もファクスも適度に使う

設定した回数の着信音が鳴る（着信回数:1〜15）
- お買い上げ時の在宅モードの着信回数は15回に設定されています。

**補足**

相手がファクスを自動送信してきた場合、ファクスを自動受信できないことがあります。この場合は、着信回数を6回以下に設定してください。

### 相手がファクスのとき

自動的に受信します。

### 相手が電話のとき

さらに着信音が一定時間鳴ります。
- この着信音はメロディに設定しているときでも「トゥルッ、トゥルッ」というベル音で鳴ります。

## ファクスのときは着信音を鳴らさず受信する

（着信回数:0）

### 相手がファクスのとき

自動的に受信します。

### 相手が電話のとき

さらに着信音が一定時間鳴ります。
- この着信音はメロディに設定しているときでも「トゥルッ、トゥルッ」というベル音で鳴ります。

**補足**

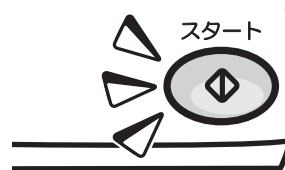
電話にでないときは相手に「ただ今、近くにおりません。後ほどおかけ直しください」というメッセージを流して回線が切れます。

## 主に電話として使う

着信音が鳴りつづける（着信回数:無制限）

電話に出る

### 相手がファクスのとき

スタートを押して受信します。

### 相手が電話のとき

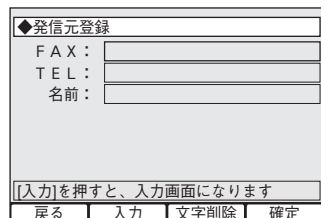
引き続き話します。

1 ご使用の前に

# 文字の入れかた（親機）

電話帳の登録、各種コメントやメールの文章などは、ダイヤルボタンと画面を使って入力します。
親機で入力できる文字は、ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット、数字、記号です。

## ● 入力画面とボタン操作

本機では下記のような画面で文字を入力します。

● 入力する項目や内容を表示します。
- ・電話番号、FAX 番号などの数字入力時は、入力域に直接入力します。（直接入力）
- ・名前、E メールの本文などの入力時は、［入力］を押してから文字を入力します。（変換入力）

● 入力の操作方法が表示されます。
● 選択できる操作が表示されます。

例） かな：　入力できる文字の種類を切り換えます。（文字切替）

変換：　ひらがなを漢字に変換します。
入力：　文字入力モードに入ります。
文字削除：選択位置の文字を削除します。（文字がないときはバックスペース）
確定：　入力した文字を確定させます。

## ● 入力例

### ■ 入力例　1　：　電話帳の名前に『Bro）ブラザー太郎』と入力する。

### ■ 入力例　2

| | |
|---|---|
| ● 文字を修正する | ［カーソルキー］の ◀ で戻って文字を削除し、入力し直す |
| ● 文字を削除する | 削除したい文字に■（カーソル）を合わせて、「文字削除」を押す |
| ● 文字の種類を切り換える | 「かな」（文字切替）を押す（かな→カナ→英→数→かな…） |
| ● スペースを入れる | スペースが入るまで ［0］ を押す、または ［カーソルキー］ の ▶ を押す |
| ● 同じボタンで続けて文字を入力する | ［カーソルキー］の ▶ を押し、■（カーソル）を 1 文字分移動させて入力する |
| ● 漢字の変換候補を選ぶ | ［カーソルキー］の ▲▼ で変換候補を切り換える |
| ● 漢字の変換位置（文節）を変える | ［カーソルキー］の ◀ ▶ で文節を切り換える |
| ● 改行する（α-E メールのときのみ） | 「改行」を押す |

# ●入力できる文字と入力制限

## ■ 入力できる文字 （文字列一覧表）

| ボタン | ひらがな | カタカナ | 英字 | 数字 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | あいうえおぁぃぅぇぉ | アイウエオァィゥェォ | @.（ピリオド） | 1 |
| 2 | かきくけこ | カキクケコ | abcABC | 2 |
| 3 | さしすせそ | サシスセソ | defDEF | 3 |
| 4 | たちつてとっ | タチツテトッ | ghiGHI | 4 |
| 5 | なにぬねの | ナニヌネノ | jklJKL | 5 |
| 6 | はひふへほ | ハヒフヘホ | mnoMNO | 6 |
| 7 | まみむめも | マミムメモ | pqrsPQRS | 7 |
| 8 | やゆよゃゅょ | ヤユヨャュョ | tuvTUV | 8 |
| 9 | らりるれろ | ラリルレロ | wxyzWXYZ | 9 |
| 0 | わをん、。ー（ｽﾍﾟｰｽ） | ワヲン、。ー（ｽﾍﾟｰｽ） | （半角ｽﾍﾟｰｽ） | 0 |
| ＊ | ゛ ゜ | ゛ ゜ | — | ＊ |
| # | 記号表 | | -/_.,:@;!?"#$%&'()＊+<>=[]^¥{\|}（＊1） | # |

〈記号表〉 ◀ ▶ ▲ ▼

1）, . ・ : ; ? ! ゛ ゜ ´ ｀ ¨ ＾ ￣ ＿ ○
2）ー — ／ ＼ ～ ‖ ｜ … ‥ ‘ ’ “ ”
3）（ ） 〔 〕 ［ ］ ｛ ｝ 〈 〉 《 》 「 」 『 』 【 】
4）＋ － ± × ÷ ＝ ≠ ＜ ＞ ≦ ≧ ∞
5）∴ ♂ ♀ ° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ￠ ￡ ％
6）＃ ＆ ＊ ＠ § ☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆
7）□ ■ △ ▲ ▽ ▼ ※ 〒 → ← ↑ ↓
8）⇒ ⇔ ≡ ≒ ≪ ≫ √ ♯ ♭ ♪

※「ひらがな」「カタカナ」入力時に # を押して ◯ で選択し、「確定」で決定する

## ■ 入力できる文字の種類や文字数

| 項目 | | ひらがな・漢字 | 全角カタカナ | 英字・数字・記号 | 入力文字数（＊2） | 定型文（＊3） | 改行 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 電話番号（FAX番号） | | × | × | ○（＊4） | 20文字 | × | × |
| 読み仮名 | | × | ○（半角） | ○ | 12文字 | × | × |
| 名前 | | ○ | ○ | ○ | 20文字（＊5） | × | × |
| α-Eメール | 宛先（ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ）入力時 | × | × | ○ | 64文字 | × | × |
| | 件名（ﾀｲﾄﾙ）入力時 | ○ | ○ | ○ | 40文字 | × | × |
| | 本文入力時 | ○ | ○ | ○ | 1000文字 | ○ | ○ |
| | 定型文入力時 | ○ | ○ | ○ | 100文字 | × | ○ |
| | 署名入力時 | ○ | ○ | ○ | 200文字 | × | ○ |
| | アドレス帳（ｱﾄﾞﾚｽ）入力時 | × | × | ○ | 64文字 | × | × |
| | アドレス帳（名前）入力時 | ○ | ○ | ○ | 20文字 | × | × |

＊1： 子機で対応していない半角の記号（", %, ', +, <, =, >, $, [, ¥, ], ^, {, |, }）を電話帳やアドレス帳、メールなどに使用された場合、子機ではスペースに置き換えて表示されます。
＊2： スペースや改行も1文字として数えます。入力中は画面に「入力した文字数」と「入力可能な最大文字数」が表示されます（α-Eメールの入力時のみ）。入力文字数は半角で表した場合の文字数です。
＊3： 定型文はα-Eメール本文中で ◯（保留／子機）を押して選択します。
＊4： 数字、＊、#、ポーズのみ入力できます。
＊5： 発信元登録では、半角32文字（全角16文字）まで入力できます。

1 ご使用の前に

# 文字の入れかた（子機）

電話帳の登録、アドレス帳登録、メールの文章などは、ダイヤルボタンを使って入力します。

## ●入力画面とボタン操作

本機では下記のような画面で文字を入力します。

例）再ダイヤル/P/文字切替：入力できる文字の種類を切り換えます。（かな → 英 → カナ → かな …）

変換/電話帳：ひらがなを漢字に変換します。

内線/クリア 保留：選択位置の文字を削除します。（文字がないときはバックスペース）

機能/確定：入力した文字を確定させます。



## ●入力例

### ■ 入力例　1　：　電話帳の名前に『Bro）ブラザー太郎』と入力する。

### ■ 入力例　2

| | |
|---|---|
| ● 文字を修正する | の◀で戻って入力し直す |
| ● 文字を削除する | 削除したい文字に■（カーソル）を合わせて、内線/クリア 保留 を押す |
| ● 文字の種類を切り換える | 再ダイヤル/P/文字切替 を押す（かな→英→カナ→かな…） |
| ● スペースを入れる | スペースが入るまで わ0 を押す、または の▶を押す |
| ● 同じボタンで続けて文字を入力する | の▶を押し、■（カーソル）を 1 文字分移動させて入力する |
| ● 漢字の変換候補を選ぶ | の▲▼で変換候補を切り換える |
| ● 漢字の変換位置（文節）を変える | の◀ ▶で文節を切り換える |
| ● 改行する | キャッチ を押す |

# ●入力できる文字と入力制限

## ■ 入力できる文字 （文字列一覧表）

| ボタン | ひらがな | カタカナ | 英・数字 |
|---|---|---|---|
| @あ1 | あいうえおぁぃぅぇぉ | アイウエオァィゥェォ | @.（ピリオド）1 |
| ABCか2 | かきくけこ | カキクケコ | abcABC2 |
| DEFさ3 | さしすせそ | サシスセソ | defDEF3 |
| GHIた4 | たちつてとっ | タチツテトッ | ghiGHI4 |
| JKLな5 | なにぬねの | ナニヌネノ | jklJKL5 |
| MNOは6 | はひふへほ | ハヒフヘホ | mnoMNO6 |
| PQRSま7 | まみむめも | マミムメモ | pqrsPQRS7 |
| TUVや8 | やゆよゃゅょ | ヤユヨャュョ | tuvTUV8 |
| WXYZら9 | らりるれろ | ラリルレロ | wxyzWXYZ9 |
| わ0 | わをん、。ー （ｽﾍﾟｰｽ） | ワヲン、。ー （ｽﾍﾟｰｽ） | 0 （半角ｽﾍﾟｰｽ） |
| ＊ | ゛ ゜ | ゛ ゜ | — |
| ＃ | 記号表 | | _ ー/.，：；!?# ＆ （）＊ |

〈記号表〉 [◀ ▶ keys select column; ▲ ▼ keys select row]

1）,. ・：；？
2） ！゛゜´｀¨
3） ＾￣＿○ー—
4） ／＼～‖｜…
5） ‥ ” “” （
6））〔〕［］｛
7）｝〈〉《》「
8）」『』【】＋
9） －±×÷＝≠
10） ＜＞≦≧∞∴
11） ♂♀°′″℃
12） ￥＄¢£％＃
13） ＆＊＠§☆★
14） ○●◎◇◆□
15） ■△▲▽▼※
16） 〒→←↑↓⇒
17） ⇔≡≒≪≫√
18） ♯♭♪

※「ひらがな」「カタカナ」入力時に ＃ を押して [arrow key] で選択し、[機能/確定]（機能／確定）で決定する。

## ■ 入力できる文字の種類や文字数

| 項目 | | ひらがな・漢字 | 全角カタカナ | 英字・数字・記号 | 入力文字数（＊1） | 改行 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 電話帳 | 電話番号 | × | × | ○（＊2） | 半角 20 文字 | × |
| | 読み仮名 | × | ○ | ○ | 半角 12 文字 | × |
| | 名前 | ○ | ○ | ○ | 全角 10 文字 | × |
| αEメール | 宛先（ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ）入力時 | × | × | ○ | 半角 64 文字 | × |
| | 件名（ﾀｲﾄﾙ）入力時 | ○ | ○ | ○ | 全角 20 文字 | × |
| | 本文入力時 | ○ | ○ | ○ | 全角 400 文字 | ○ |
| | 署名入力時 | ○ | ○ | ○ | 全角 99 文字 | ○ |
| | アドレス帳（ｱﾄﾞﾚｽ）入力時 | × | × | ○ | 半角 64 文字 | × |
| | アドレス帳（名前）入力時 | ○ | ○ | ○ | 全角 10 文字 | × |

● 子機では定型文は入力できません。
＊1： スペースや改行も1文字として数えます。
＊2： 数字、＊、＃、ポーズのみ入力できます。

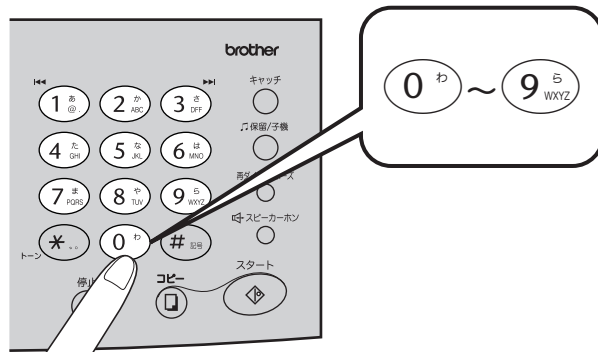
1 ご使用の前に

# 2章

# 電話



ダイヤル

## ダイヤルボタンでかける

受話器をとり、0 わ ～ 9 ら WXYZ で相手の電話番号を押す

補足

通話が終わったら受話器を戻します。

## 受話器をとって電話を受ける

電話が鳴ったら

受話器をとって受ける

補足

通話が終わったら受話器を戻します。

## ダイヤルボタンでかける

**充電器から子機をとり、わ0～WXYZら9で相手の電話番号を押す**

➡ 外線が点灯していないときは押して点灯させます

補足

通話が終わったら子機を充電器に戻します。
（または切を押します。）

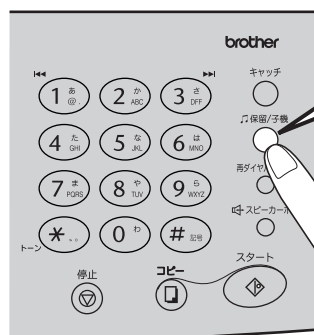
## 子機をとって受ける

**充電器から子機をとる**

➡ 充電器に置いてないときは外線を押します

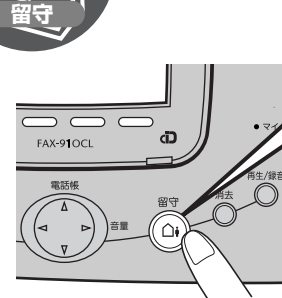
補足

通話が終わったら子機を充電器に戻します。
（または切を押します。）

## 保留にするとき

**通話中に♫保留/子機を押し、受話器を置く**
**（子機の場合は、内線/クリア 保留を押す）**

補足

通話に戻るときは、受話器をとります。
（子機の場合は、内線/クリア 保留（保留）を押します。）

## 留守にするとき

**留守を押す** ➡ ボタンが点灯します

補足

● 詳しくは「留守番機能を利用する」（☞41ページ）を参照してください。
●子機で留守モードにセットすることもできます。（☞42ページ）

2 電話

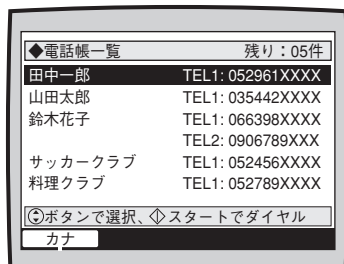
## 名前で検索してかける

親機の電話帳に登録した電話番号から相手を検索して電話をかけます。
（「電話帳に登録する」☞31ページ）

受話器をとり、「電話帳」を押す

補足
登録した電話帳のリストが表示されます。

| ◆電話帳一覧 | 残り：05件 |
|---|---|
| 田中一郎 | TEL1: 052961XXXX |
| 山田太郎 | TEL1: 035442XXXX |
| 鈴木花子 | TEL1: 066398XXXX |
| | TEL2: 0906789XXX |
| サッカークラブ | TEL1: 052456XXXX |
| 料理クラブ | TEL1: 052789XXXX |

⇕ボタンで選択、◇スタートでダイヤル
カナ

（▲▼）で相手の名前を検索する

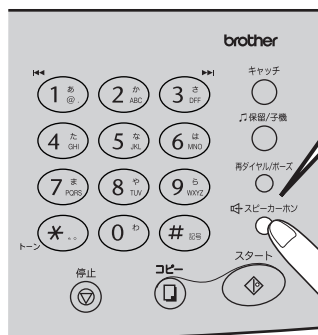
補足
- 名前は登録した読み仮名で検索されます。
- ダイヤルボタンを押すと、相手の読み仮名の最初の1文字を含む行を画面の最上段に表示させることができます。
  例1）「カナ」モードで「清水（シミズ）」を検索したいときは、3を押します
  ➡ 「サ行」の先頭となる相手先が画面の最上段に表示されます。
  例2）「英」モードで「brother」を検索したいときは、2を押します
  ➡ 画面の最上段に「aAbBcC」の順に相手先が表示されます。

スタート を押す

## 最近かかってきた相手にかける

ナンバーディスプレイサービスを契約いただいているときは、本機に記憶された着信記録から電話をかけることができます。

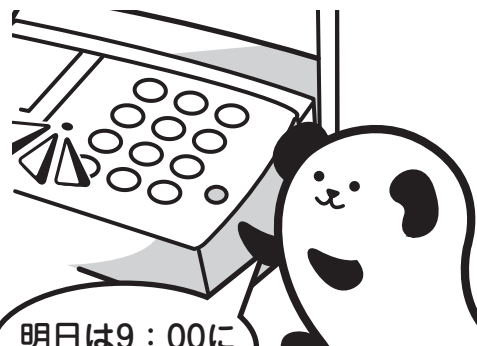
着信記録を利用する　☞105ページ

2 電話

# 受話器をとらずにかける

スピーカーホン を押し、相手の電話番号を押す

補足

- 相手が出たら、マイクを使って話します。
- まわりの騒音などによって声が聞き取りにくいときは受話器をとって話してください。
- 操作を途中でやめるとき、かけ直すときは一度 スピーカーホン（スピーカーホン）を押します。

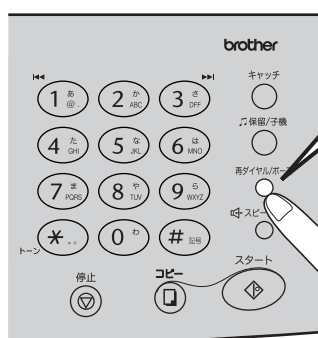
# 受話器をとらずに受ける

スピーカーホン を押し、本体のマイクを使って話す

補足

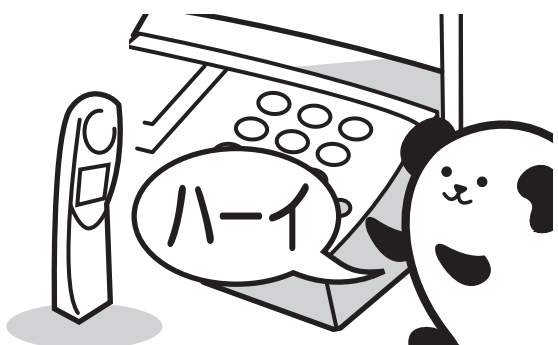
- まわりの騒音などによって声が聞き取りにくいときは受話器をとって話してください。
- 通話が終わったら スピーカーホン（スピーカーホン）を押します。

# 最後にかけた相手にかける

受話器をとり、 再ダイヤル/ポーズ を押す

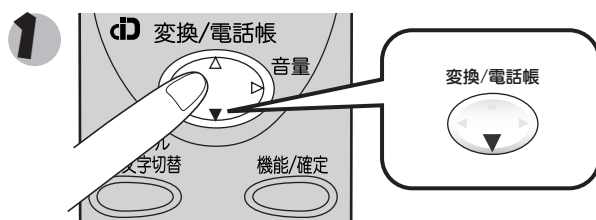
補足

通話が終わったら受話器を戻します。

# 「はーい」と返事するだけで受ける

ハンズフリー着信を設定しているときは、「はーい」と返事をするだけで電話を受けることができます。

ハンズフリー着信 ☞35ページ

## 名前で検索してかける

子機の電話帳に登録した電話番号から相手を検索して電話をかけます。名前の読み仮名の頭文字で検索することもできます。
（「電話帳に登録する」☞33ページ）

**1**

**外線が消灯していることを確認し、▼を押す**

補足

- 外線が点灯しているときは、切を押して消灯させます。
- 登録した電話帳のリストが表示されます。

**2**

**（▲▼）で相手の名前を検索する**

補足

ダイヤルボタンで相手の名前（読み仮名）の最初の1字（かな）を入力し、（▲▼）を押すと入力した1字以降の電話番号のリストが表示されます。読み仮名の頭文字を入力しないときは、「カナ→アルファベット→数字→記号→名前を登録していない電話番号」の順に表示されます。

**3**

**電話番号が1件のみの登録のときは、機能/確定を2回押す**
**電話番号が2件登録してあるときは、機能/確定を押し、（▲▼）で電話番号1または2のどちらかの番号を選び、機能/確定を押す**

補足

- 電話番号は1件につき2番号まで登録することができます。（☞33ページ）
- 最後の機能/確定を押す代わりに、スピーカーボタンを押して電話をかけることもできます。子機を置いたまま相手と話ができます。

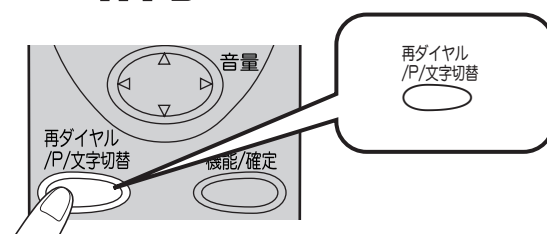
## 子機を置いたままかける

**充電器に置いたままスピーカーボタンを押し、相手の電話番号を押す**

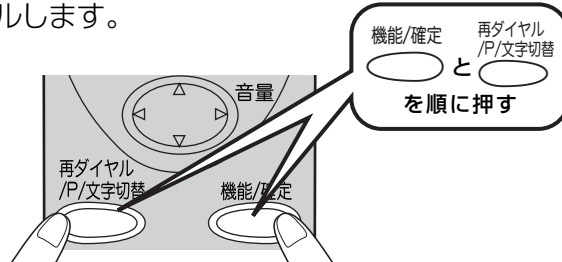
補足

- 相手が出たら、マイクを使って話します。
- まわりの騒音などによって声が聞き取りにくいときは子機をとってお話ください。
- 操作を途中でやめるとき、かけ直すときは切を押します。
- 通話が終わったら子機を充電器に戻します。（または切を押します。）



## 最後にかけた相手にかける

**充電器から子機をとり、再ダイヤル/P/文字切替を押す**
➡ 外線が点灯していないときは、押して点灯させます

## 連続再ダイヤル

チケット予約のときなどに、連続して再ダイヤルします。

**充電器から子機をとり、機能/確定と再ダイヤル/P/文字切替を順に押す**
➡ 外線が点灯していないときは、押して点灯させます

補足

相手が話し中のとき、4秒おきに15回まで繰り返しダイヤルします。

2 電話

# 最近かけた相手にかける

最近かけた電話番号を呼び出してかけます。

**1**

**外線が消灯していることを確認し、再ダイヤル/P/文字切替を押す**

**2**

**で電話番号を選ぶ**

補足

記憶している電話番号は最新の10件です。

**3**

**外線を押す**

補足

- **発信記録を個別に削除するとき**
  消去したい発信記録を選び、保留（内線/クリア）を押します。
- **発信記録を全て削除するとき**
  （機能/確定）を押し、（▼）で「発信記録クリア」を選び、（機能/確定）を押します。
  下の画面で1を押します。

# 子機を置いたまま受ける

**1**

**充電器に置いたまま を押す**

補足

- まわりの騒音などによって声が聞き取りにくいときは受話器をとってお話ください。
- 通話が終わったら切を押します。

# 優先して子機で受ける

特定の子機のベルを親機より5回分、早く鳴らします。

**1**

**優先させたい子機を充電器からとり、切を押す**

補足

外線を消灯させておきます。

**2**

**8を1秒以上押す**

➡「優先」と表示されます

- この設定は、設定後の1回の着信のみ有効です。
- 他の子機にすでに優先の設定がされているときは、その子機の設定を解除して設定し直します。

## 解除するとき

**外線が消灯した状態で8を1秒以上押す**

2 電話

# 電話帳に登録する

登録 入力 修正 削除 このボタンを示しています。

よく電話をかけるお友達や緊急時の連絡先などを「電話帳」に登録しておくと、簡単な操作で電話をかけることができます。ナンバーディスプレイをご利用いただいている場合は、着信時に電話帳に登録した名前や電話番号を表示します。さらに、迷惑電話などの受けたくない電話を、着信音が鳴らないように登録しておくことができます。

## 親機の電話帳

電話帳に名前や電話番号を登録します。ナンバーディスプレイをご利用いただいている場合は、着信音を鳴らす電話機（着信先）を指定したり、誰から電話がかかってきたかが着信音でわかるように、着信音を指定することができます。

- 電話帳には100件まで登録できます。
- 電話番号は1件につき2つの電話番号を登録できます。
- 電話帳にはあらかじめ下記の番号が登録されています。（この番号は修正、削除することができます。）
  ・ダイレクトクラブ（FAX）
- 登録できる文字数は下記のとおりです。
  ・名前:全角10文字まで
  ・読み仮名:半角12文字まで
  ・電話番号:20桁まで（数字、*、#、- のみ）
- 電話帳の内容は子機や携帯電話へ転送することができます。

### 登録する

**1**

［電話帳］を押す

**2**

［登録］を押す

**6**

〈TEL1〉を選び、電話番号を入力する

- 入力できるのは数字、*、#、- のみです。
- 同様に「TEL2」を入力します。（入力せずに次に進むこともできます。）
- ナンバーディスプレイをご利用いただいているときは手順7へ、ご利用いただいていないときは手順9へ進みます。

**7**

〈着信先〉を選び、着信先を設定する

すべて／親機／子機1/迷惑指定

### 修正する

**1**

［電話帳］を押す

- 「カナ→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。

**2**

修正したい相手先を選び、［修正］を押す

### 削除する

**1**

［電話帳］を押す

- 「カナ→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。

**2**

削除したい相手先を選び、［消去］を押す

## 電話帳を転送する

親機に登録した電話帳データを、子機や携帯電話に転送して使用できます。

### 子機へ転送する

**1**

［電話帳］を押す

- 「カナ→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。

**2**

［転送］を押す

**全件転送のとき**

**5**

終了

- 操作を中止するには（停止）を押します。（登録中のデータは破棄されます。）
- メロディ１～５には、下記のメロディが登録されています。
  ・メロディ１（TSUNAMI）JASRAC、メロディ２（Energy Flow）JASRAC、メロディ３（主よ、人の望みよ喜びよ）、メロディ４（花のワルツ）、メロディ５（別れの曲）
- 携帯電話と本機でデータのやり取りをするには、付属の専用ケーブルが必要です。（「携帯電話を接続して利用する」☞126ページ）

2 電話

2 電話

## 電話帳の転送について

メモ

- 転送する内容が、すでに転送先に登録されているときは、重複して登録はされません。
- 転送先に同じ名前があるときでも、電話番号が異なる場合は追加登録されます。
- 着信音の設定は転送されず、ベル音になります。転送後、着信音の設定をし直してください。（子機の電話帳「修正する」☞33 ページ）
- 子機への全件転送時に電話帳の残り件数以上のデータを転送すると、残りの件数に入る分のデータが転送された後に「転送エラーが発生しました　○○件のデータが未転送です」と表示されます。

## 子機の電話帳

電話帳に名前や電話番号を登録します。ナンバーディスプレイをご利用いただいている場合は、個別の着信音を指定することができます。

- 電話帳には100件まで登録できます。
- 電話番号は1件につき2つの電話番号を登録できます。
- 登録できる文字数は下記のとおりです。
  ・名前:全角10文字まで
  ・読み仮名:半角12文字まで
  ・電話番号:20桁まで（数字、*、#、ポーズのみ）
- 電話帳の内容は親機へ転送することができます。

### 登録する

1 ［機能/確定］を押す

- ［電話帳登録］が選択されています。

2 ［機能/確定］を押す

7 電話番号1を入力する

電話番号１？
052123XXXX
入力＋確定

- 電話番号入力画面で（着信記録）を押すと着信記録から電話番号を選択することができます。

8 ［機能/確定］を押す

### 修正する

1 ［機能/確定］を押す

2 「電話帳変更」を選び、［機能/確定］を押す

ブラザー花子
052123XXXX
▼▲＋確定
カナ

- 「カナ→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。

### 削除する

1 ［機能/確定］を押す

2 「電話帳変更」を選び、［機能/確定］を押す

ブラザー花子
052123XXXX
▼▲＋確定
カナ

- 「カナ→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。

## 電話帳を転送する

子機に登録した電話帳データを親機に転送して使用できます。

### 親機へ転送する

1 ［機能/確定］を押す

2 「電話帳転送」を選び、［機能/確定］を押す

転送？▼▲
全件転送
１件転送

- 「カナ→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。

- 操作を中止するには（切）を押します。（登録中のデータは破棄されます。）
- メロディ１～３には、下記のメロディが登録されています。
  ・メロディ１（TSUNAMI）JASRAC、メロディ２（Energy Flow）JASRAC、メロディ３（主よ、人の望みよ喜びよ）

2 電話

**3** 名前を入力する
- 文字の入れかた☞23ページ

名前？
ブラザー花子
入力＋確定
かな

**4** ［機能/確定］を押す

**5**
読み仮名？
ブラザーハナコ
入力＋確定
カナ

- 読み仮名は自動的に入力されます。

**6** ［機能/確定］を押す
- 読み仮名を修正するときは、名前と同様の手順で入力し直します。

着信音？▼▲
ベル音
メロディ1
メロディ2

- 着メロ1～4はダウンロードメロディ（☞69, 71ページ）があるときのみ表示され、選択できます。

**9** 着信音を選び、［機能/確定］を押す
メロディ1～3／着メロ1～4／ベル音

- ナンバーディスプレイサービスを契約していないときは手順の9の設定は無効になります。
- 同様の手順で電話番号2を設定します。
- 着信音は音を聞きながら選択します。

**10** ［機能/確定］を押す

終了

**3** 相手先を選び、［機能/確定］を押す
- ダイヤルボタンで読み仮名の最初の一文字を入力すると、その文字から検索できます。

「登録する」の2へ
- 「登録」と同様の手順で修正します。

**3** 相手先を選び、［クリア］を押す
内線/クリア 保留
- ダイヤルボタンで読み仮名の最初の一文字を入力すると、その文字から検索できます。

削除？
1.する
2.しない
番号入力
カナ

**4** ［1］を押す
- ダイヤルボタンで［1.する］を選びます。

終了

**3** 転送方法を選び、［機能/確定］を押す
全件転送／1件転送

**全件転送のとき**

**4**
全て転送？
1.はい
2.いいえ
番号入力

**5** ［1］を押す
- ダイヤルボタンで［1.はい］を選びます。

終了

**1件転送のとき**

**4**
ブラザー花子
052123XXXX
▼▲＋確定
カナ

転送したい相手先を選び、［機能/確定］を押す

**5**
転送中
≫

- 続けて転送するときは手順4を繰り返します。

終了

2 電話

**電話帳の転送について**
- 転送する内容が、すでに転送先に登録されているときは、重複して登録はされません。
- 転送先に同じ名前があるときでも、電話番号が異なる場合は追加登録されます。
- 着信音の設定は転送されず、ベル音になります。転送後、着信音の設定をし直してください。（親機の電話帳「修正する」☞31 ページ）
- 電話帳の残り件数以上のデータを転送すると、残りの件数に入る分のデータが転送された後に「転送エラー XX 件未転送です」と表示されます。

# ハンズフリーで電話を受ける

電話がかかってきたときに「はーい」と返事をすると、受話器を取らなくても電話に出て、スピーカーホンで通話できます（ハンズフリー着信）。ハンズフリーで電話を受けるときはあらかじめ親機で受けるか子機で受けるか設定しておきます。
「ハンズフリー着信」の設定は、設定を解除するまで有効です。
（FAX910CLW をお使いいただいている場合は、子機にハンズフリー着信を設定することはできません。）

## ●ハンズフリーで電話を受ける

1. **着信音が鳴ったらマイクに向かって「はーい」と言う**
➡マイクの正面 1 メートル以内から声をかけます。

2. **通話が終わったら スピーカーホン ○ を押す（子機のときは 切 を押す）**



- **「ハンズフリー着信」を設定しているときの着信音は、着信音の設定にかかわらず、次のようになります。固定メロディやダウンロードメロディを設定していても無効になることがありますのでご注意ください。**

| ハンズフリーの設定 | 着信音 | |
|---|---|---|
| | 親機 | 子機 |
| 親機にハンズフリーを設定したとき | ベル 1 | 設定されている着信音 |
| 子機にハンズフリーを設定したとき | ベル 1 | ベル音 |

- 内線電話、留守モードのときはハンズフリーで電話を受けることはできません。
- 本機がいったん着信したあとは、着信音（「トゥルッ、トゥルッ」というベル音）が鳴っていても、ハンズフリーで電話を受けることはできません。
- ハンズフリーで通話ができるのは 1 時間までです。1 時間以上通話するときは受話器を取って話してください。
- 相手の声やこちらの声が聞こえにくいときは、受話器を取ってお話しください。
- 本機のそばを離れるときや外出するときは誤作動しないように、ハンズフリー着信の設定を解除してください。
- 「はーい」の検出が可能な距離はマイクの正面約 1 メートル以内です。
- 留守モードのときは、ハンズフリー着信を設定することはできません。
- 子機を増設したときは、子機にハンズフリー着信を設定することはできません。
- 次のときはハンズフリー着信を受けられません。
  - ・着信回数を 0 回または 1 回にしているとき
  - ・着信音音量を OFF に設定しているとき
- 「はーい」という返事に本機が反応しないときは、声が小さいか返事が短い可能性があります。はっきりと大きな声で呼びかけてください。
- 「ハンズフリー着信を設定する」（☞ 36 ページ）の手順 5 で「確定」を押しても子機のディスプレイが  に戻らないときは、いったん子機のバッテリーを外してバッテリーコネクタを抜きます。そのあと、再度バッテリーを接続、収納してハンズフリー着信の設定をし直します。

# ●ハンズフリー着信を設定する

ハンズフリー着信の設定を親機、子機のどちらに設定するか、また「はーい」という返事の検出レベルを設定します。
ハンズフリー着信の設定は親機で行ないます。

## 設定する

**1** 機能　スピーカーホン

［機能］→［スピーカーホン］を押す

◆ハンズフリー着信設定
ハンズフリー着信：しない
ボタンで変更してください
戻る　確定

**2** 確定

着信先を選び、［確定］を押す

しない／親機／子機

**3**

はーい
はーい

設定したほうのマイクに向かって「はーい」と呼びかけ、「ピピッ」という音が鳴るか確認する

- 呼びかけは設定してから5分以内にしてください。

- 「親機」を選択すると親機のディスプレイに「練習してください　本機にむかって「はーい」と呼びかけてください」と表示されます。
- 「子機」を選択すると子機のディスプレイに「練習中」と表示されます。

**4**

「はーい」と言っても本機が反応しないときは、マイクの感度を調整する

◆ハンズフリー感度調整
ボタンで感度を調整します

- 3段階の調整ができます。
- 子機の感度を変更するときも、親機の（◀▶）で調整します。

**5** 確定

［確定］を押す

終了

## 解除する

**1** 機能　スピーカーホン

［機能］→［スピーカーホン］を押す

◆ハンズフリー着信設定
ハンズフリー着信：親機
ボタンで変更してください
戻る　確定

**2** 確定

「しない」を選び、［確定］を押す

しない／親機／子機

終了

2 電話

# 通話のときは

## 電話を取り次ぐ

親機で取った電話を子機に取り次ぎます。

**親機から子機へ**

1 ♫保留/子機

**電話中に［保留／子機］を押す**
- こちらの声が相手に聞こえなくなります。

2 1 2 3 4

**取り次ぐ子機の内線番号を押す**
- 呼び出している子機が出ないときなど、保留している相手ともう一度話すときは（保留/子機）を押します。
- 子機が1台のときは1を押します。

子機で取った電話を親機に取り次ぎます。

**子機から親機へ**

1 内線/クリア 保留

**電話中に［保留］を押す**
- こちらの声が相手に聞こえなくなります。

2  設定ー留守

**親機の内線番号0を押す**
- 保留している相手ともう一度話すときは切を押して呼び出しを中止して、外線を押します。

FAX-910CLWのとき、または子機を増設しているとき、子機で取った電話を別の子機にトランシーバー形式で取り次ぎます。

**子機1から子機2へ**

1 内線/クリア 保留

**電話中に［保留］を押す**
- こちらの声が相手に聞こえなくなります。

2 1 2 3 4

**取り次ぐ子機の内線番号2を押す**
- 保留している相手ともう一度話すときは切を押して呼び出しを中止して、外線を押します。

## 通話を切り替える

受話器の通話とスピーカーホンの通話を切り替えます。

**親機**

1 スピーカーホン

**通話中に［スピーカーホン］を押し、受話器を置く**
- スピーカーホンによる通話になります。

2 

**スピーカーホンの通話をやめるときは、受話器をとる**

**子機**

1

**通話中に［スピーカーホン］を押す**
- スピーカーホンによる通話になります。

2 

**スピーカーホンの通話をやめるときは、もう一度［スピーカーホン］を押す**

## 通話を録音する

通話の内容を録音できます。
- 録音時間は「機能」の「6.留守設定」で設定できます。(☞117ページ)
- スピーカーホンで通話しているときは録音できません。

1 再生/録音 

**親機で通話中に［再生／録音］を押す**

2 停止 

**録音をやめるときは［停止］を押す**

- 録音した内容は留守録メモリーに記憶されます。
- 設定した録音時間が過ぎると録音は中止されます。
- 録音した内容を聞くときは、受話器を置いて、（再生／録音）を押します。

終了

**3**

**子機に電話だということを伝えて受話器を置く**

● 取り次ぎをやめるときは子機で（切）を押すと保留している相手と親機が通話できるようになります。

**4**

● 子機に外線がつながります。

終了

**3**

**親機に電話だということを伝える**

● 取り次ぎをやめるときは親機の受話器を置くと保留している相手と子機が通話できるようになります。

**4**

**［切］を押す**

● 親機に外線がつながります。

終了

● 子機2が充電器からとられるか、内線/クリア 保留（保留）を押されると、子機1、子機2のディスプレイに「待受中」と表示されます。

**3**

**子機1の（子機間通話）を押し続けて、子機のディスプレイに「話す側」と表示されたら、取り次ぎ内容を伝える**

● 「話す側」と表示されるまで数秒かかります。
● 取り次ぎをやめるときはディスプレイに「待受中」と表示されているときに（外線）を押すと保留している相手と通話できるようになります。
● 子機1が（子機間通話）を離すと、子機1、子機2とも待ち受け中になり、子機2が（子機間通話）を押し続けて、子機2のディスプレイに「話す側」と表示されると、子機1へ話しかけることができます。

**4**

**「待受中」の表示のときに［切］を押す**

● 取り次ぎ先の子機に外線がつながります。

終了

## 通話を保留にする

相手にちょっと待って欲しいとき、通話を保留できます。

● 保留にしている間は保留メロディが流れます。

### 親機

**1**

**通話中に［保留/子機］を押し、受話器を置く**

● 通話が保留されます。

**2**

**通話に戻るときはもう一度受話器をとる**

### 子機

**1**

内線/クリア 保留

**通話中に［保留］を押す**

● 通話が保留されます。

**2**

内線/クリア 保留

**通話に戻るときはもう一度［保留］を押す**

メモ

**親機と子機の内線番号について**

親機と子機の内線番号は次のように設定されます。

| 機種 ＼ 内線番号 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|---|---|
| FAX-910CL | 親機 | 子機 1 | 増設子機 2 | 増設子機 3 | 増設子機 4 |
| FAX-910CLW | 親機 | 子機 1 | 子機 2 | 増設子機 3 | 増設子機 4 |

※ FAX910CLWの子機には、内線番号を確認するための子機判別シールがはってあります。

2 電話

# 内線で話す

親機、子機間で内線通話や呼び出しができます。

## 親機と子機で話す

親機から子機、または子機から親機へ内線電話をかけて通話します。

**親機から子機へ**

1 

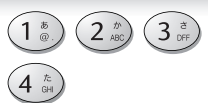

受話器をとる、または［スピーカーホン］を押す

2 


［保留／子機］を押す

**子機から親機へ**

1 


子機を充電からとり、［保留］を押し、0を押す

2 


通話をする

## 子機と子機で話す

子機を2台以上使用しているとき、子機同士でトランシーバーのように交互に通話することができます。（外線通話中でも、通話を保留にして子機間通話することができます。

☞37ページ「電話を取り次ぐ」の「子機1から子機2へ」）

**子機1**

1 内線/クリア 保留

［保留］を押す

2 

呼び出したい子機の内線番号を押す

- 子機2が内線をとると、「ピロリッ」という音が鳴ります。

3 ディスプレイに「待受中」と表示されたら（子機間通話）を押し続ける

**（子機2）**

- 子機2の内線呼出音が鳴ります。
- 子機を充電器からとります。充電器から外しているときは 保留 を押します。
- 子機2が内線を受けると、子機1、子機2とも待ち受け中になります。

## 親機から子機へ呼びかける

親機からすべての子機、または指定した子機にスピーカーを使って呼びかけます。

**親機**

1 


受話器をとる、または［スピーカーホン］を押す

2 


［保留／子機］を押し、［0］を押す

- 特定の子機に呼びかけるときは、子機の内線番号を押してから0を押します。

- 内線通話中に外線がかかってきたときは、親機の着信音が鳴ります。親機の受話器を戻して内線通話を終了させ、もう一度受話器をとると電話がつながります。
- 次のときは内線電話中に外から電話がかかってきても着信音が鳴りません。
  - ・ナンバーディスプレイの設定を「あり」にしている
  - ・着信回数を「0回」にしている
- 親機からはスピーカーホンでも内線通話ができます。子機では、子機どうしの内線通話のときのみ、スピーカーホンを使った内線電話ができます。
- 電波状態がよくない場合、子機間通話中に待ち受け状態に戻ったり、接続できないことがあります。このときは子機間通話をやり直してください。

**3**

**通話する子機の内線番号を押す**

**4**

**通話をする**

**5**

**通話をやめるときは、受話器を置く、または［スピーカーホン］、または［保留／子機］を押す**

終了

**3**

**通話をやめるときは、［切］を押す**

終了

**4**

**「ピポッ」と音が鳴り、ディスプレイに「話す側」と表示されたら、(子機間通話) を押したまま子機2へ話をする**

- 「話す側」と表示されるまで数秒かかります。
- (子機間通話) を押している間、「話す側」と表示され、話しかけることができます。(子機間通話) を離すと子機1、子機2とも待ち受け中になります。

**5**

**子機2と通話をやめるときは、「待受中」の表示のときに［切］を押す**

終了

- 子機2では「聞く側」と表示されます。
- 子機2が話をするときは、子機2側の［子機間通話］を押して、手順4と同様の手順で話をします。

**3**

**呼びかける**

**4**

**呼びかけが終わったら受話器を置く、または［スピーカーホン］を押す**

終了

**親機と子機の内線番号について**

親機と子機の内線番号は次のように設定されます。

| 機種＼内線番号 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|---|---|
| FAX-910CL | 親機 | 子機 1 | 増設子機 2 | 増設子機 3 | 増設子機 4 |
| FAX-910CLW | 親機 | 子機 1 | 子機 2 | 増設子機 3 | 増設子機 4 |

※ FAX910CLWの子機には、内線番号を確認するための子機判別シールがはってあります。

親機がスピーカーホンで内線通話をしているとき、親機と子機を近づけないでください。
近づけすぎるとハウリング（「キーン」という音がする）が発生する事があります。

2 電話

## 出かけるとき

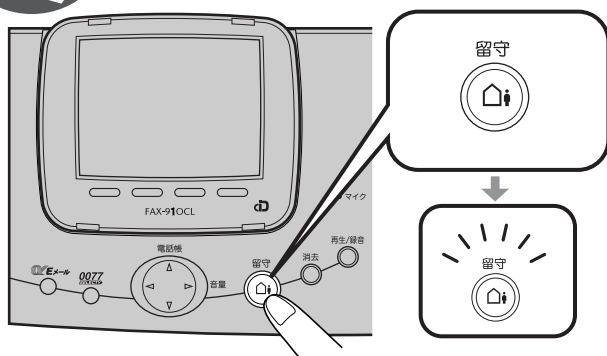
留守 ◯を押す

➡ ボタンが点灯します。

### ファクスメッセージがあるとき

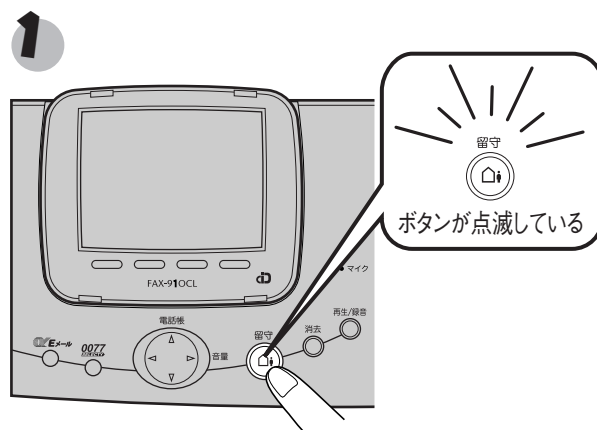
「ファクス一覧」を押す

➡ ファクス一覧が表示されます。

◯（▲▼）で見たいファクスを選んで「表示」を押す

印刷するときは「印刷」を押します。（☞50ページ）
●一度に印刷するときは「一括印刷」を押します。
●印刷したあと削除するかどうかを選択します。

## 帰ってきたとき

### 音声メッセージがあるとき

1

留守 ◯を押す

➡ 新しく録音されたメッセージが再生されます。

**補足**

再生/録音 ◯（再生／録音）を押すと、新しく録音されたメッセージが再生されます。新しいメッセージが1件もないときは、保存されているすべてのメッセージが再生されます。

### 音声メッセージを確認する

| | |
|---|---|
| **メッセージを聞き直す** | |
| 再生中のとき | ⏮ 1 を押す |
| 再生中でないとき | 再生/録音 ◯（再生／録音）を押す |
| **次のメッセージを聞く** | 再生中に 3 ⏭ を押す |
| **途中でメッセージの再生をやめる** | 再生中に 停止 ◯（停止）を押す |
| **メッセージを消去する** | |
| 再生中のとき（そのメッセージが消去される） | 消去 ◯（消去）を押し、確認してもう一度 消去 ◯（消去）を押す |
| 再生中でないとき（すべてのメッセージが消去される） | 消去 ◯（消去）を押し、確認して「はい」を押す |

# 子機から留守番機能を操作する

子機から留守番機能をセットしたり、録音されたメッセージを聞くことができます。

## ●留守モードにセットする

**1 充電器から子機をとり、（切）を押す**

➡（外線）が点灯しているときは（切）を押して消灯させます。

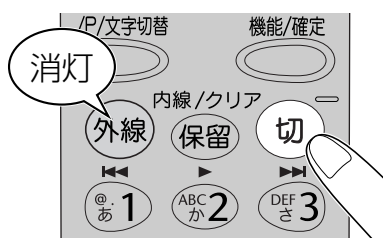
**2 （わ0）を 1 秒以上押す**

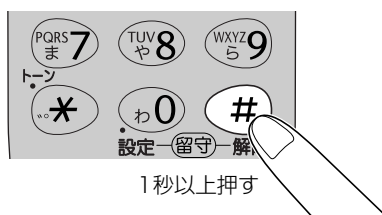
➡「留守モード設定しました」と表示されます。

1秒以上押す

## ●留守モードを解除する

**1 充電器から子機をとり、（切）を押す**

➡（外線）が点灯しているときは（切）を押して消灯させます。

**2 （#）（留守 - 解除）を 1 秒以上押す**

➡「留守モード解除しました」と表示されます。

1秒以上押す

## ●子機で音声メッセージを確認する

録音された音声メッセージやボイスメモを確認できます。

**1 充電器から子機をとり、（切）を押す**

➡（外線）が点灯しているときは（切）を押して消灯させます。

**2 （ABCか2）を 1 秒以上押す**

1秒以上押す

➡録音されたメッセージが再生されます。再生時に次のボタンを押すといろいろな再生ができます。

### ■ 再生時のメッセージ操作

| | |
|---|---|
| メッセージを聞き直す | （@あ1）を押す |
| 前のメッセージを聞く | 再生前の「ピー」という音が鳴っているときに（@あ1）を押す |
| 次のメッセージを聞く | （DEFさ3）を押す |
| 途中でメッセージの再生をやめる | （切）を押す |
| 再生中のメッセージを消去する | （保留）（内線 / クリア）を押す |

- 子機のスピーカーでメッセージを確認するときは、充電器に置いたまま（ABCか2）を 1 秒以上押します。
- 音声メッセージが録音されていないときはエラー音（ピピピピピ）が鳴り、ディスプレイに「録音メッセージはありません」と表示されます。

## 留守録転送

留守モードのときに音声メッセージが録音されると、外出先の指定した電話に転送します。

- 「ファクス転送」と同時に設定することはできません。
- NTTのボイスワープサービスとは異なります。
- 転送先の電話が話し中のときは、10分おきに5回まで再ダイヤルされます。
- 転送先の電話番号は外出先からは変更できません。
- 留守モードのときのみ転送できます。

### 留守録転送する

1

［機能］→［6.留守設定］→［5.ファクス/留守録　転送］を押す

◆ファクス/留守録　転送設定
転送：しない
ボタンで変更してください
戻る　確定

### 転送されたときの確認

1

転送先で電話を受けたら［#］を押す

2

音声ガイダンスにしたがって暗証番号を入力する

### 解除する

1

［機能］→［6.留守設定］→［5.ファクス/留守録　転送］を押す

## ファクス転送

ファクスが着信すると、本体のメモリーに受信して外出先の指定したファクシミリに転送します。

- 「留守録転送」と同時に設定することはできません。
- 転送先のファクシミリが通話中のときは、8回まで再ダイヤルされます。
- 留守モードのときのみ設定できます。

### ファクス転送する

1

［機能］→［6.留守設定］→［5.ファクス/留守録　転送］を押す

### 解除する

1

［機能］→［6.留守設定］→［5.ファクス/留守録　転送］を押す

◆ファクス/留守録　転送設定
転送：しない
ボタンで変更してください
戻る　確定

2
「留守録」を選ぶ
しない/ファクス/留守録
◆ファクス/留守録　転送設定
転送：留守録
転送先：
ボタンで変更してください
戻る
確定
転送先の電話番号を入力する。
3
確定
［確定］を押す
● 待ち受け画面に 留守録転送 と表示されます。
終了
3
お電話ください
メッセージを聞く
● 2件以上あるときは連続して再生されます。
● 再生終了後に電話は自動的に切れます。
終了
2
確定
「しない」を選び、［確定］を押す
しない/ファクス/留守録
終了
2
「ファクス」を選ぶ
しない/ファクス/留守録
3
〈転送先〉を選ぶ
4
ピッ
ファクス番号を入力する
5
確定
［確定］を押す
● 待ち受け画面に ファクス転送 と表示されます。
終了
2
確定
「しない」を選び、［確定］を押す
しない/ファクス/留守録
終了

2
電話

## リモコンアクセス

外出先からトーン信号でリモコンコードを入力し、本機を操作できます。

● あらかじめリモコンアクセスするための暗証番号を設定します。

### 暗証番号を設定する

1

［機能］→［6.留守設定］→［4.暗証番号設定］を押す

### 外出先から操作する

1 外出先から電話する

2 応答メッセージが流れてきたら［#］を押す

3 暗証番号を入力する

ピッ



## ■ リモコンコード表

| コード | 操作内容 | |
|---|---|---|
| ■音声メッセージ | | |
| 91 | 音声メッセージを再生する | 再生中に 1 メッセージを最初から再生<br>メッセージとメッセージの間で 1 前のメッセージを再生<br>再生中に 2 次のメッセージを再生<br>再生中に 9 再生を中止 |
| 92 | ボイスメモを録音する | 録音中に 9 録音を終了 |
| 93 | メモリーに録音されているすべての音声メッセージを消去する | 一度も再生されていないメッセージが残っているか、消去するメッセージがないときは「ピピピッ」という音がする |
| ■応答メッセージ | | |
| 9410 | 留守応答メッセージ１を再生し、留守応答メッセージとして設定する | 再生中に 9 再生、設定を終了 |
| 9420 | 応答メッセージ 1 を録音する | 録音中に 9 録音を終了 |
| 9411 | 留守応答メッセージ2を再生し、留守応答メッセージとして設定する | 再生中に 9 再生、設定を中止 |
| 9421 | 留守応答メッセージ2 を録音する | 録音中に 9 録音を終了 |
| 9412 | 在宅応答メッセージを再生する | 再生中に 9 再生を中止 |
| 9422 | 在宅応答メッセージを録音する | 録音中に 9 録音を終了 |

**2**

**暗証番号を入力する**

- お買い上げ時の暗証番号は「159＊」に設定されています。
- 暗証番号は(0)〜(9)、(＊)、(#)を使った3桁の番号と「＊」で構成されます。

- 暗証番号を受けつけると音声メッセージの件数を音声でお知らせします。
その後、「ポー」という音でファクス／音声メッセージの有無が確認できます。

「ポーポーポー」：ファクス、音声ともメッセージあり
「ポーポー」：音声メッセージあり
「ポー」：ファクスメッセージあり
無音：ファクス、音声ともメッセージなし

**3**

**［確定］を押す**

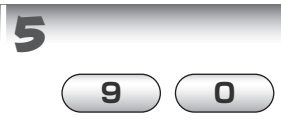
終了

**4**

**リモコンコードを入力する**

- 例）音声メッセージを再生するときは(9)(1)を入力する

**5**

**終了するときは［9］［0］を続けて押す**

終了

| コード | 操作内容 | |
|---|---|---|
| **■設定** | | |
| 951 | 留守録転送、ファクス転送の設定を「しない」にする | |
| 952 | ファクス転送を設定する<br>（番号が登録されていないときは設定不可） | |
| 953 | 留守録転送を設定する<br>（番号が登録されていないときは設定不可） | |
| 954 | ファクス転送先を設定する | (9)(5)(4)のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、(#)を2回押す。<br>ファクス転送の設定がされていないときは自動的に「ファクス転送」になります。 |
| 956 | みるだけ受信を「する」に設定する | |
| 957 | みるだけ受信を「しない」に設定する | |
| **■メモリー操作** | | |
| 961 | メモリー使用状況リストを取り出す | (9)(6)(1)のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、(#)を2回押して受話器を置く |
| 962 | メモリーに記憶された未読ファクスメッセージを取り出す | (9)(6)(2)のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、(#)を2回押して受話器を置く |
| 963 | メモリーに記憶された既読ファクスメッセージを消去する | 消去するメッセージがないときは「ピピピッ」という音がする |
| 971 | ファクスメッセージが記憶されているかを確認する | 記憶されているとき：「ピー」という音がする<br>記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする |
| 972 | 音声メッセージが記憶されているか確認する | 記憶されているとき：「ピー」という音がする<br>記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする |
| **■モード変更** | | |
| 981 | 留守モードにする | |
| 982 | 在宅モードにする（留守モードを解除する） | |
| **■リモコンアクセスの終了** | | |
| 90 | リモコンアクセスを終了する | |

# 3章

# ファクス

## ファクスだけをすぐに送る

**1**

**原稿をセットする**

補足

一度に10枚までセットできます。

**2**

画質、濃度を調整できます。
（☞114ページ）

**ダイヤルボタンを押す、または電話帳からダイヤルする**

**3**

**スタート ◇ を押す**

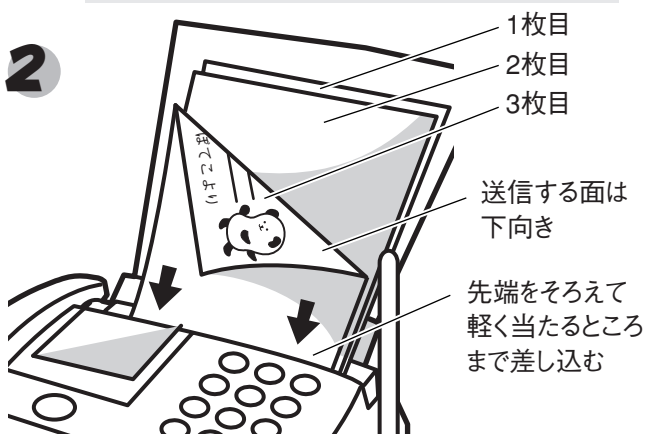
## 話しをしてから送る

相手と話しをしてファクスを送ることを伝えてから送ります。

**1** **相手に電話をかけ、話しをする**

**2**

**原稿をセットする**

補足

一度に10枚までセットできます。

**3**

**相手側のスタートボタンを押してもらう**

**4**

**受話器から音がしたら スタート ◇ を押す**

**送信できなかったときは**

- 「ファクスだけをすぐに送る」の手順でファクスを送信した場合で、相手が通話中などの理由で送信できなかったときは、自動的に8回まで「再ダイヤル」を行います。それでも送信できなかったときは、送信レポートがプリントされます。あらかじめ記録紙をセットしておくことをおすすめします。
- 「話しをしてから送る」の手順でファクスを送信したときは、自動再ダイヤルは行われません。同じ相手に再度ダイヤルするときは 再ダイヤル/ポーズ ○（再ダイヤル／ポーズ）を押します。

# ファクスを受ける

## 自動的に受ける

着信ベルが鳴ると、
ファクスの場合は
自動的に受信します。

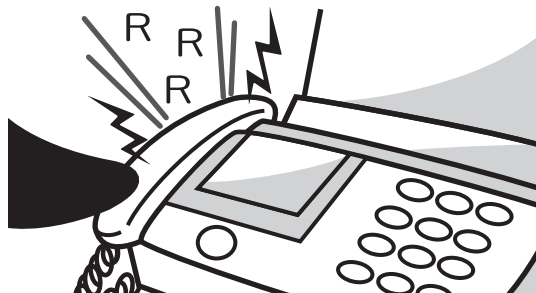
**補足**

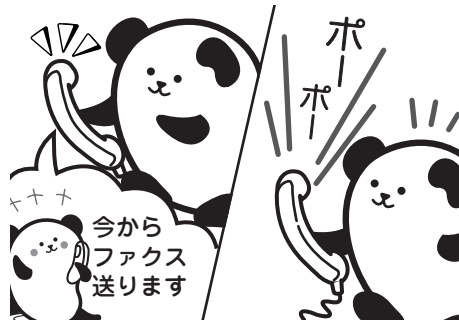
- 着信回数を「無制限」にしているときは自動的に受信しません。
- ファクスはメモリーに受信します。受信後に印刷したり、ディスプレイで内容を確認できます。記録紙で受信したいときは「みるだけ受信：しない」にしてください。（☞57ページ）
  ※ 「みるだけ受信：しない」に設定すると、ディスプレイで確認したり、後でもう一度印刷したりすることはできません。

## 電話に出てから受ける



いちど電話に出てからファクスを受信します。

**1**

電話を受ける

**2**

相手と話をしたあと、または「ポー、ポー」と音がしていたら、（スタート）を押す

**補足**

原稿がセットされているときは取り除きます。

**3**

受話器を置く



## 子機で受ける

あらかじめ「親切受信」を「する」に設定しておくと、子機を取って約7秒後に自動的に受信します。（お買い上げ時は「親切受信：する」に設定されています。☞57ページ）
親切受信を設定していないときは、親機に取り次いだ後、親機の（スタート）を押して受信します。（☞37ページ）

3 ファクス

# 受けた内容をディスプレイで見る（みるだけ受信）／印刷する

新しく届いたファクスや、以前受信したファクスの内容を確認できます。（お買い上げ時は「みるだけ受信：する」に設定されています。

**1** ファクスを受信したことが表示されたら、「ファクス一覧」を押す

補足

新着ファクスがないときは「既読ファクス一覧」が表示されます。

**2** 「新着ファクス一覧」が表示される

| 日時 | 時刻 | 枚 | 相手先名称 |
|---|---|---|---|
| 03月20日 | 17:11 | 01 | 052961XXXX |
| 03月19日 | 19:29 | 02 | 052339XXXX |
| 03月18日 | 08:54 | 01 | 052961XXXX |
| 03月15日 | 20:10 | 05 | 052465XXXX |
| 03月15日 | 11:16 | 10 | 052961XXXX |

### 既読ファクス一覧

以前受信したファクス一覧が表示されます。

### 印　刷

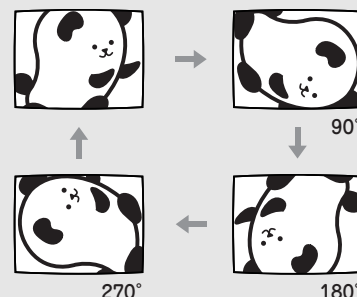
印　刷：（▲▼）で選んだファクスを印刷します。

一括印刷：表示しているすべてのファクスを印刷します。

### 表　示

ファクスの内容が表示されます。表示後、次の操作ができます。

次ページ：次のページを表示します。

回　転：表示を90°ずつ右回転させます。

印　刷：ファクスの内容を印刷します。

戻　る：一覧表示に戻ります。

：たて方向にスクロールします。

：よこ方向にスクロールします。

＊：縮小表示します。押すたびに
$\frac{1}{2} \to \frac{1}{4} \to \frac{1}{8}$
と切り替わります

＃：拡大表示します。押すたびに
$\frac{1}{8} \to \frac{1}{4} \to \frac{1}{2}$
と切り替わります

### データの消去

一覧表示やファクスの内容を表示しているときに（消去）を押し、消去するかどうかの確認メッセージにしたがって「はい」を押します。

- 保存できるファクスはA4サイズで約100枚分です。（原稿の濃度や画質によって枚数は異なります。）
- 不要なファクスのデータは削除してください。

3 ファクス

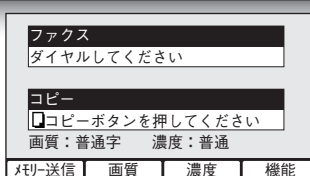
## 電話予約

ファクス送信後に相手先の呼出音を鳴らし、通話できます。

- 相手のファクシミリに電話予約機能がないときは設定できません。
- 相手が電話に出ないときは「お電話ください」という伝言メッセージをファクス送信できます。
- この機能は送信後に解除されます。
- 「タイマー送信」「一括送信」を設定すると電話予約は解除されます。

**1** 

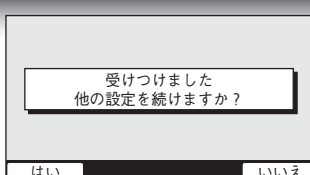

原稿を裏向きにセットする
- 原稿について☞152ページ

**2** 機能 3 5

［機能］→［3.送信設定］→［5.電話予約］を押す

**5**  確定

メッセージの有無を選び、［確定］を押す

する／しない

**6** 


［いいえ］を押す

## タイマー送信

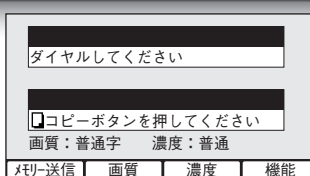
指定した時刻にファクスを送信するように設定します。

- メモリー送信を使うと3件まで設定できます。
- この機能は送信後に解除されます。
- ディスプレイに［タイマー送信待機中］の表示があるときは、セットしてある原稿を取らないでください。
  原稿を取り除くと、1分後にタイマー送信が無効になります。

**1** 

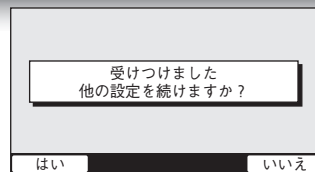
ダイヤルしてください
コピーボタンを押してください
画質：普通字　濃度：普通
メモリー送信　画質　濃度　機能

原稿を裏向きにセットする
- 原稿について☞152ページ

**2** 機能 3 6

［機能］→［3.送信設定］→［6.タイマー送信］を押す

**5** 

確定

送信する時刻を入力し、［確定］を押す

## 海外送信

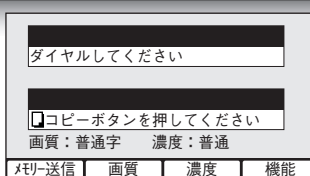
海外送信時に設定すると通信エラーを少なくできます。

- この機能は送信後に解除されます。

**1** 

ダイヤルしてください
コピーボタンを押してください
画質：普通字　濃度：普通
メモリー送信　画質　濃度　機能

原稿を裏向きにセットする
- 原稿について☞152ページ

**2** 機能 3 4

［機能］→［3.送信設定］→［4.海外送信モード］を押す

**5** 


ファクス番号を入力する
- メモリー送信を使うときはファクス番号を入力する前にここで指定します。

**6** 


［スタート］を押す
- ダイヤルします。

終了

◆タイマー送信設定
タイマー送信：しない
ボタンで変更してください
戻る　確定

**3**

「する」を選ぶ

する／しない

◆タイマー送信設定
タイマー送信：する
指定時刻：00時 00分
ボタンで変更してください
戻る　確定

**4**

〈指定時刻〉を選ぶ

**6**

いいえ

［いいえ］を押す

**7**

ピッ

ファクス番号を入力する

● メモリー送信を使うときはファクス番号を入力する前にここで指定します。

**8**

スタート

を押すと、タイマー送信待機中になる

● メモリー送信のときは、原稿の読み取り後にタイマー送信待機中になります。
● 「タイマー送信待機中」でも電話を受けたりかけたりできます。ファクスを送信するときはいったん送信設定を解除してください。
● 相手が話し中などで送信できないときは8回まで再ダイヤルします。
● 送信後、タイマー通信レポートが印刷されます。

終了

◆海外送信モード設定
海外送信：しない
ボタンで変更してください
戻る　確定

**3**

確定

「する」を選び、［確定］を押す

する／しない

受けつけました
他の設定を続けますか？
はい　いいえ

**4**

いいえ

［いいえ］を押す

3 ファクス

## 送付書送信

ファクスに自動的に送付書をつけて送信します。

- お買い上げ時は「いつも付けない」に設定されています。
- 送付書の内容はあらかじめ登録しておきます。
- 送付書には相手先名、こちらの名前、電話番号、ファクス番号、送付ページ数、コメントがプリントされます。
- 「送付書送信」を設定するときは、事前に発信元登録をしてください。（発信元登録していないときは、「送付書送信」を設定することができません。）
（「名前とファクス番号を登録する」☞16ページ）

**1**

［機能］→［3.送信設定］→［1.送付書付き送信］を押す

◆送信書付き送信設定
送付書：いつも付けない
⊙ボタンで変更してください
戻る　サンプル　確定

- ［サンプル］を押すと送付書のサンプルを印刷できます。

### 送付書を設定する

**「いつも付けない」とき**

「送付書送信」の1〜2の操作を行います

◆送付書付き送信設定
送付書：いつも付けない
⊙ボタンで変更してください
戻る　サンプル　確定

**3**

［確定］を押す

**「いつも付ける」とき**

「送付書送信」の1〜2の操作を行います

◆送付書付き送信設定
送付書：いつも付ける
コメント選択：1．コメントなし
⊙ボタンで変更してください
戻る　サンプル　確定

**3**

〈コメント選択〉を選ぶ

### 今回のみ設定を変更する

**「今回のみ付けない」とき**

「送付書送信」の1〜2の操作を行います

- あらかじめ原稿を裏向きにセットしておきます。

◆送付書付き送信設定
送付書：今回のみ付けない
⊙ボタンで変更してください
戻る　確定

**3**

［確定］を押す

**「今回のみ付ける」とき**

「送付書送信」の1〜2の操作を行います

- あらかじめ原稿を裏向きにセットしておきます。

◆送付書付き送信設定
送付書：今回のみ付ける
コメント選択：1.コメントなし
送信枚数：00
⊙ボタンで変更してください
戻る　サンプル　確定

**3**

〈コメント選択〉を選ぶ

**6**

送信枚数を入力し、［確定］を押す

- ［サンプル］を押すと送付書のサンプルを印刷できます。

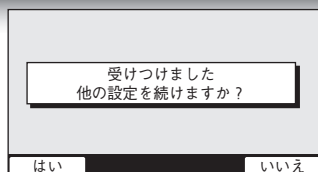
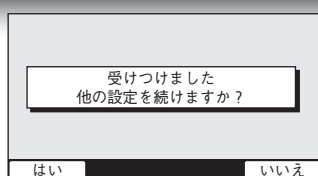
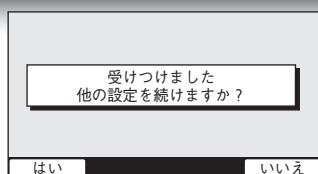
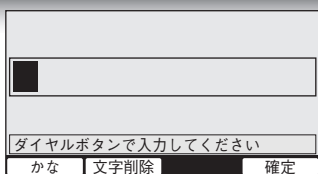
### コメントを登録する

**1**

［機能］→［3.送信設定］→［2.送付書コメント登録］を押す

**2**

コメント番号を選び、［入力］を押す

2
送付書のつけかたを選ぶ
いつも付けない／
いつも付ける／
今回のみ付けない／
今回のみ付ける
受けつけました
他の設定を続けますか？
はい
いいえ
4
いいえ
［いいえ］を押す
終了
4
コメントを選ぶ
（コメントなし）／
お電話下さい／
至急／親展／
（ユーザー設定1）／
（ユーザー設定2）
5
確定
［確定］を押す
● ［サンプル］を押すと送付書のサンプルを印刷できます。
6
いいえ
設定が終了したら［いいえ］を押す
終了
受けつけました
他の設定を続けますか？
はい
いいえ
4
いいえ
［いいえ］を押す
5
ピッ
ファクス番号を入力する
● メモリー送信を使うときはここで指定します。
6
スタート
［スタート］を押す
終了
4
コメントを選ぶ
（コメントなし）／
お電話下さい／
至急／親展／
（ユーザー設定1）／
（ユーザー設定2）
● ユーザー設定1、2は「コメントを登録する」で設定します。
5
［送信枚数］を選ぶ
受けつけました
他の設定を続けますか？
はい
いいえ
7
いいえ
［いいえ］を押す
8
ピッ
ファクス番号を入力する
● メモリー送信を使うときはここで指定します。
9
スタート
［スタート］を押す
終了
3
ダイヤルボタンで入力してください
かな
文字削除
確定
確定
ダイヤルボタンでコメントを入力し、［確定］を押す
● 文字の入れかた ☞ 21ページ
4
確定
［確定］を押す
5
いいえ
設定が終了したら［いいえ］を選ぶ
終了


3
ファクス

## メモリー送信

原稿を本体のメモリーに記憶してから送信します。
● 送信後にこの機能は解除されます。

**1**

**原稿を裏向きにセットする**
● 原稿について☞152ページ

● 読み取る画質、濃度を調整できます。

**2**

**［メモリー送信］を押す**

## 一括送信

指定した複数の相手に同じ原稿を送信します。

**1**

**原稿を裏向きにセットする**
● 原稿について☞152ページ

**2**

**［メモリー送信］を押す**

## 送信設定の解除

タイマー送信など設定している送信の内容を確認し、解除できます。

**1**

**［機能］→［4.待機一覧］を押す**

**2**

**解除したい設定を選び、［解除］を押す**

## ハンドスキャナーで読み取った内容を送信

ハンドスキャナーで読み取った内容を送信できます。
● ハンドスキャナーで原稿を読み取る☞61ページ

**1**

**ハンドスキャナーの設定を「送信」にして原稿を読み取る☞ 61ページ**
● 次の画面が表示されます。

読み取りを続けますか？
［はい］を押すと、改ページして
読み取りを続けます
はい　終了

**2**

終了

**［終了］を押す**

3 ファクス

**3 ファクス番号を入力する**

- ダイヤルボタンまたは電話帳から入力します。

**4 ［スタート］を押す**

- 原稿の読み取りが行われ、ダイヤルします。
- 送信できなかったときには送信レポートが印刷されます。

終了

**3 電話帳からファクス番号を選び、［一括送信］を押す**

- 電話帳から入力します。
- この手順を繰り返します。

**4 ［スタート］を押す**

- 原稿の読み取りが行われ、ダイヤルします。
- 送信のあとに一括送信レポートが印刷されます。

**3 ［はい］を押す**

はい

- 「中止」を選ぶともとの画面に戻ります。

終了

**3 ［送信］を押す**

**4 ダイヤルボタン、または電話帳からファクス番号を入力する**

**5 ［スタート］を押す**

- 送信後、読み取りデータは破棄されます。

終了

## 親切受信

受話器で受けたときに相手がファクスだったとき、そのまま7秒待つと自動的にファクス受信します。

● お買い上げ時は「する」に設定されています。

解除する

1

［機能］→［2.受信設定］→
［2.親切受信］を押す

## 自動縮小受信

受信した原稿がA4サイズよりも大きいとき、分割されないようにA4サイズに縮小して受信します。

● お買い上げ時は「する」に設定されています。

解除する

1

［機能］→［2.受信設定］→
［3.A4自動縮小受信］を押す

## みるだけ受信

記録紙の有無に関係なく、本体のメモリーにファクスを受信します。これを「みるだけ受信」といいます。

● お買い上げ時は「する」に設定されています。
● 「しない」を選ぶと、ファクスを受けると記録紙に印刷します。

解除する

1

［機能］→［1.初期設定］→
［5.みるだけ受信］を押す

## ポーリング受信

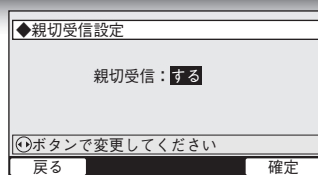
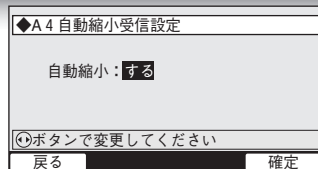
こちらから相手のファクシミリを呼び出して受信します。

● 送信側のファクシミリにポーリング機能がないときには利用できないことがあります。

1

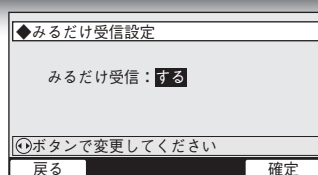
［機能］→［2.受信設定］→
［4.ポーリング受信］を押す

● 親切受信
- ファクスの受信が始まったら受話器を置いてください。子機で受けたときは子機を充電器に戻してください。
- 本機にファクスが送られてきたとき、自動受信を開始する前に電話を受けると「ポー、ポー」という音が聞こえます。このとき、親切受信を設定していない場合は、親機の スタート（スタート）を押さないとファクスを受信することができません。
- 回線の状態により、「ポー、ポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しないときがあります。このようなときは、スタート（スタート）を押して手動でファクスを受信してください。
- 通話中、または外部からの音が入ったとき突然ファクスに切り替わってしまう場合は、「親切受信」の設定を「しない」にしてください。この場合は、スタート（スタート）を押してファクスを受信します。

● 自動縮小受信
- 原稿の長さが 550mm 以上のとき、複数枚の記録紙に分割して印刷されます。

「しない」を選び、［確定］を押す

する／しない

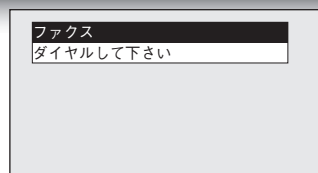
● 設定したいときは、「する」を選びます。

「しない」を選び、［確定］を押す

する／しない

● 設定したいときは、「する」を選びます。

「しない」を選び、［確定］を押す

する／しない

● 設定したいときは、「する」を選びます。

ファクス番号を入力する

［スタート］を押す

● ダイヤルし、ポーリング受信を開始します。

**ファクス情報サービスを利用する**

このファクスでは、各種のファクス情報サービスを利用できます。

- ファクス情報サービスにはガイダンス方式（音声が聞こえるもの）とポーリング方式（ピーと音がするもの）があります。各種サービスに合わせて操作してください。
- ダイヤル回線をお使いのお客様は、サービスセンターに電話をしたあと、＊を押してから入力します。
- 情報サービスの情報番号を電話帳に登録する場合、ダイヤル回線をお使いのお客様は登録する番号の前に＊を入力してください。

3 ファクス

# 4章 コピー

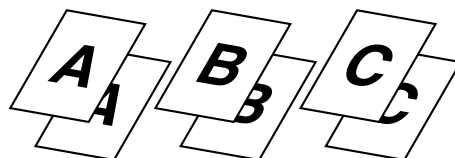
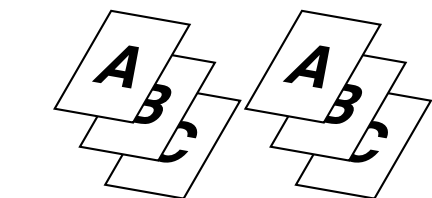


## こんなコピーができます

これをコピーするとき

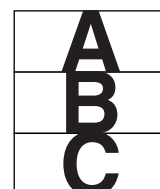
そのままコピー

拡大・縮小コピー

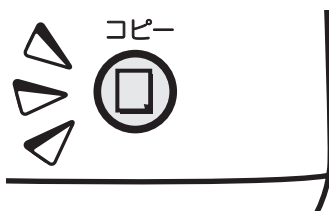
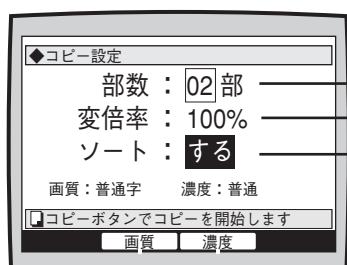
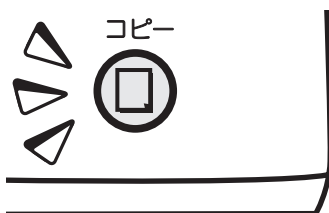
マルチコピー（複数枚コピー）

（スタック）

（ソート）

原稿ページの順にソート（並べ替え）できます。

詰め込みコピー

※ハンドスキャナー使用時

# コピーする

原稿をセットするとセットされた原稿がA4かB4かを自動で検知します。

## 1 原稿と記録紙をセットする

補足
- 原稿は一度に10枚までセットできます。
- 本体にハンドスキャナーがセットされていることを確認してください。

この画面でも画質、濃度を調整できます。(☞ 114ページ)

## 2 (コピー)を押す

## 3 コピー内容を設定する

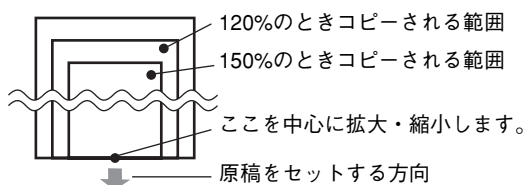
この画面でも画質、濃度を調整できます。

- **コピーする枚数**
  (0)～(9)で入力します。
- **拡大・縮小率**
  (◀▶)で選びます。
  自動、100%、120%、125%、150%、50%、75%、B4→A4縮小（83%相当）、87%、93%
- **並べ替え（ソート）**
  複数枚の原稿を2部以上コピーするとき、原稿のページ順にコピーするかどうかを選びます。

## 4 (コピー)を押す

補足

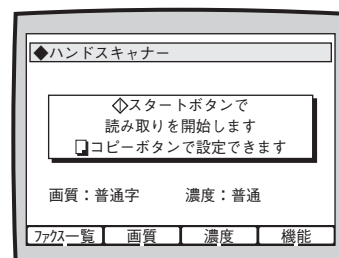
コピーが始まります。ソートを「する」にしているときは原稿を読み取ったあとにコピーが出てきます。途中でやめるときは(停止)を押します。

拡大・縮小は原稿を差し込んだ辺の中央を基準に行います。
拡大したときは画像の一部が欠けることがあります。

## こんなときは

1枚目の原稿を読み取っているときに「メモリーがいっぱいです」と表示されたときは(停止)を押してコピーを中止し、不要なメモリーを削除します。
すでに1枚以上原稿を読み取っているときはそのページだけコピーできます。続けるときは(コピー)を押してください。

# ハンドスキャナーで原稿を読み取る

読み取りできる原稿枚数は約30枚までです。

1

ハンドスキャナーを取り出す

2

● 画質／濃度
ボタンを押すと設定できます。
（☞ 114ページ）

コピーを押して、ハンドスキャナーの設定をする

● ハンドスキャナーの設定　（◀▶）で選びます。
- シングルコピー（1枚のコピー）
- マルチコピー（複数枚のコピー）
- 送信（読み取った内容をファクス送信）
- 詰め込みコピー（読み取り内容を詰めてコピー）

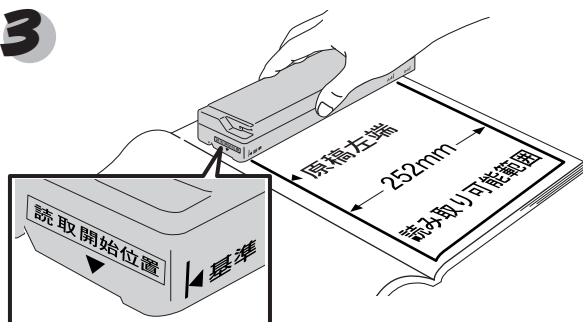
● 部数
印刷する枚数を設定します。

● 拡大･縮小率
（◀▶）で選びます。

補足

選択したデータに応じて設定できる項目は下記のとおり

| ハンドスキャナーの設定 | 部数 | 変倍率 |
|---|---|---|
| シングルコピー | ー | 100%, 150%, 75%, B4→A4縮小 |
| マルチコピー | あり | 100%, B4→A4縮小 |
| 詰め込みコピー | ー | 100%, B4→A4縮小 |
| 送信 | ー | A4 100%送信, B4 100%送信, B4→A4縮小送信 |

3

ハンドスキャナーを原稿の上に置き、基準と読取開始位置を合わせる

4

を押して、ハンドスキャナーを動かす

5

ハンドスキャナーを止めてを押す

補足

● 読み取り中にハンドスキャナーを動かす速度が早すぎると、ディスプレイに「スピードが早すぎます」とメッセージが表示され、音が鳴ります。
「ピピピッ」と鳴るとき:読み取れる限界です。もう少しゆっくり動かしてください。
「ピー」と鳴るとき:読み取れませんでした。停止を押してもう一度読み取り直してください。

● 「メモリーがいっぱいです」と表示されたときは本体内部のメモリーがいっぱいになっているか、読み取り可能な枚数を超えています。停止を押すと、読み取った部分を破棄します。

# ハンドスキャナーで読み取った内容を印刷する（画面で確認する）

**1**

（前ページ手順5のつづき）
ハンドスキャナーで原稿を読み取り終えると、「読み取りを続けますか？」と表示される

**2**

「終了」を押す

➡ 読み取りを続けるときは「はい」を押して、前ページの手順3へ。

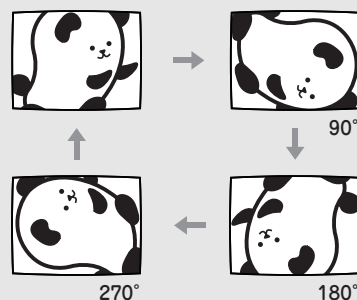
**3**

「印刷」を押す

➡ 印刷が終了すると手順2の画面に戻ります。

**表　示**

次ページ ：次のページを表示します。

回転 ：表示を90°ずつ右回転させます。

印　刷 ：読み取った内容を印刷します。

送　信 ：表示中の画面をファクス送信できます。（56ページの「ハンドスキャナーで読み取った内容を送信」の手順3と同じ操作になります。）※

※61ページの手順2の“設定”で送信を選んだときのみ表示されます。

**4**

ハンドスキャナーを本体に戻す

4 コピー

# 5章
# オプションサービス

# 「77 セレクティ」を利用する

## ●「77 セレクティ」とは

「77 セレクティ」は KDDI の電話回線を使って提供される機能です。おトクな電話回線を自動で選ぶ機能の他に、着信メロディの登録（ダウンロード）や E メールの送受信などがご利用いただけます。

### 「77 セレクティ」

#### 0077 市外電話自動選択機能

市外へ電話をかけたり FAX を送る場合、ダイヤルした相手先電話番号と、曜日、時間帯により、KDDI の市外電話サービスと NTT（*1）回線のうち、通常通話料金（*2）のおトクな回線を本機が自動的に選択してくれる機能です。
電話をかけたり、FAX を送るとき、「0077」をダイヤルする必要がありません。
これまで通り市外局番からダイヤルするだけで、そのままKDDIの0077 市外電話サービスがご利用いただけます（*3）。

・本機をつなぐだけで、通常約 1 時間後にはそのままご利用いただけます。
・登録料、定額料などは一切不要です。（KDDI をご利用になった通話料金などは、KDDI から請求されます。）
・NTT と同額の場合は KDDI（「0077」）を選択します。

#### オプション機能

**えらんでメロディ機能（☞ 69 ページ）**
**JOYSOUND メロディ機能（☞ 71 ページ）**

多数の人気曲の中から、お好きな曲を着信メロディとして本機に登録することができます。

・メニューの内容によっては、途中で操作を中止した場合でも通話料が発生することがあります。
・ご利用には KDDI 通話料がかかります。
・通話明細書には「0077- ××××」などと記載されます。

**α-E メール機能（☞ 73 ページ）**
**（ご利用には月額基本料金と接続料がかかります。）**

本機を使って、E メール（電子メール）の送受信ができます。

・送信： 漢字、アルファベット、数字、ひらがな、カタカナによる文字メッセージを最大半角 1000 文字まで送信することができます。
・受信： 受信した E メールは本機で印刷したり、ディスプレイで読むことができます。

また、本機で読み取らせた原稿を α-E メールの添付ファイルとして送信［手書き送信］したり、相手から送られたメールの添付ファイルを本機で出力することができます。

*1：NTT 東日本、NTT 西日本、NTT コミュニケーションズをいいます。
*2：電話会社（NTT、KDDI）の割引サービス適用前の料金です。
*3：INS64などのダイヤルイン子番号に本機を設置された場合、KDDI とのご契約番号はダイヤルイン親番号となります。

現在、NTT のエリアプラス、テレホーダイ、テレチョイスなどの割引サービスにご加入の客様は、市外への通話が KDDI 通話となることにより割引が適用されなくなる場合がありますので、ご注意ください。
**ご不明な点がございましたら、KDDI カスタマサービスセンターまでお問い合わせください。**

**KDDIカスタマサービスセンター**

**0077-772（無料）**
受付時間　9:00 ～ 21:00
（土・日・祝日も受付中）

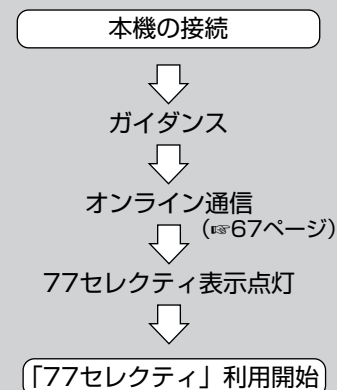
# ●「77 セレクティ」を利用する

「77 セレクティ」は本機を接続するだけでご利用できます。

**1 本機（親機）を接続する （☞ 9 ページ）**

**2 本機のスピーカーから案内が再生される**

「このファクシミリは、お申し込みをしなくても、KDDI のおトクな 0077 市外電話を自動的に選択します。ご利用を希望されないお客様は次の操作を行ってください。
77 セレクティボタン (#記号) 77 セレクティボタンと押して、「77 セレクティ表示」が消灯したことを確認してください。」

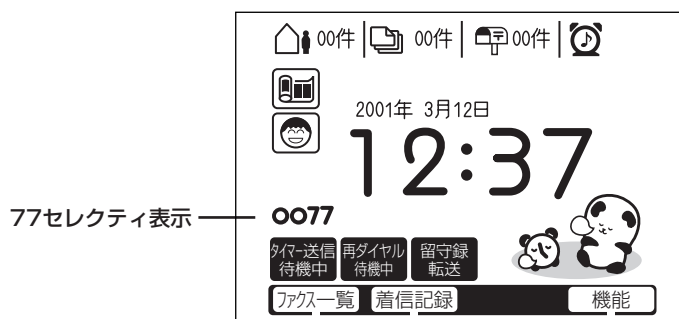
➡案内中は、「77 セレクティ　ご案内中」が表示されます。

**3 約 1 時間後、本機が自動的に KDDI に電話をかけ、「77 セレクティ」のデータを受信する（通信料は無料）**

➡「オンライン通信中です」と表示されます。

**4 77 セレクティ表示が点灯する**

➡77 セレクティ表示が点灯したら、「77 セレクティ」がご利用できます。

➡しばらくすると、KDDI から電話によるご利用開始のお知らせがあります。
「こちらは KDDI です。おトクな 0077 市外電話の自動選択機能、「77 セレクティ」が設定されました。77 セレクティ表示が点灯していることをご確認ください。」

本機の接続
⇩
ガイダンス
⇩
オンライン通信
（☞67ページ）
⇩
77セレクティ表示点灯
⇩
「77セレクティ」利用開始

- 次の場合には、「77 セレクティ」が正しくご利用できないことがあります。**KDDI カスタマサービスセンター**へご連絡ください。
  - ・ホームテレホン、構内交換機、ピンク電話、共同電話、着信専用電話などに接続したとき。
  - ・移転などにより電話番号を変更したとき。
- 次の場合には、「77 セレクティ」が正しくご利用できないことがあります。正しく設定してください。
  - ・時計が正しく設定されていないとき。（時刻を正しく設定してください。☞ 15 ページ）
  - ・回線種別が正しく設定されていないとき。（回線種別を正しく設定してください。☞ 11 ページ）

- KDDI からの電話による「77 セレクティ」のご利用開始のお知らせは、翌日になる場合があります。
- 話し中などでご利用開始のお知らせをお聞きできなかった場合でも、77　セレクティ表示が点灯していれば、「77 セレクティ」をご利用いただけます。
- 「77 セレクティ」ご利用開始後、KDDI からご利用確認の連絡が入ることがあります。
- 特定の通話に限り「77　セレクティ」を利用せず、ＮＴＴ　回線で市外通話をかけるときは、市外局番の前に「0000」をダイヤルします。
- NTT　エリアプラスなどを使って電話をかける場合は、番号の先頭に「0000」をつけて電話帳に登録すると便利です。

# ●「77 セレクティ」の停止／再開／0077表示が点灯したとき

## 「77セレクティ」の停止

0077市外電話をご利用にならない場合、または、ホームテレホンや構内交換機、ピンク電話、共同電話などのため、「77セレクティ」をご利用できない場合は、次の操作を行います。

1. 0077 SELECTY ［0077］を押す
2. ＃ 記号2 ［#］を押す
3. 0077 SELECTY ［0077］を押す

終了

- KDDI の割引サービスや「α-E メール」などをご利用されている場合は、別途 KDDI とのご解約手続きが必要です。
- 途中から「ご利用しない」に設定を変更した場合、KDDI にご利用停止を知らせるオンライン通信が行われます。
- 停止操作を行うと、操作後に 77 セレクティ表示が消灯します。

- KDDI の割引サービスなどをご利用の場合は、KDDI カスタマサービスセンターへご連絡ください。
- 77 セレクティ表示点灯後、何らかの理由により0077と表示された場合は、上記操作を行わないと「77 セレクティ」は正常に動作しません。
- 上記操作により、現在、NTT のエリアプラス、テレホーダイ、テレチョイスなどの割引サービスご加入のお客様は、市外通話がすべて KDDI 通話となるため、割引が適用されない場合がございますのでご注意ください。ご不明な点は、KDDI カスタマサービスセンターまでお問い合わせください。
- 日付と時刻を確認し、正しくないときは再設定してください。正しく再設定しても 77 セレクティ表示が0077と表示されているときは、上記操作を行って「77 セレクティ」のデータを受信してください。
- 「77 セレクティ」のデータは、電源を抜いても消えません。また、**ダウンロードしたメロディや α-E メールの送受信履歴のデータは、電源を抜いてから約 6 時間後に消去されます。**

5 オプションサービス

## ● オンライン通信について

オンライン通信とは、お客様の地域の料金データなどが、電話回線を通じてKDDIから本機に送信されることをいいます（通信料は無料です）。
オンライン通信は次の場合に自動で行われます。

·電源コードを接続したとき（「77セレクティ」の案内の後、約1時間後に開始）
·「0077表示の点灯時」（☞66ページ）の操作をしたとき（約1分後に開始）
·「77セレクティの再開」（☞66ページ）の操作をしたとき（約1分後に開始）
·停電などで時計のデータが消えたとき（電源復帰後、2時間以内に開始）
·ご利用を停止したとき

「在宅モード」で着信回数を「無制限」に設定していると、上記の場合でもオンライン通信が自動で行われないことがあります。

- お客様の電話番号などの情報は、KDDIのご利用サービスのみに利用するもので、他の目的では利用しません。
- オンライン通信の際、NTTの発信者番号表示サービスによりお客様の電話番号がKDDIに通知されます。「通常非通知（回線ごと非通知）」でNTTと契約されていても「186」が付加され、KDDIへ電話番号が通知されますのでご了承ください。
- ご購入後、電源コードを接続してすぐに、「77セレクティの停止」（☞66ページ）の操作を行った場合は、オンライン通信が行われない場合があります。
- データが正常に受信できなかったときは、再度オンライン通信が行われることがあります。
- オンライン通信終了後は、西暦、日付、時刻が、正しいものに更新されます。
- 「77セレクティ」ご利用開始後も料金改定などに際し、必要に応じてKDDIより自動的にオンライン通信を行う場合があります。
  - ·オンライン通信の電話がかかってきたとき、本機で電話を受けると“ピポパ”音の後に、KDDIからのメッセージが聞こえます。
  - ·同じ回線につないでいる他の電話機（並列接続など）でオンライン通信の電話を受けたときは、“ピポパ”音を繰り返し電話が切れます。KDDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。
- 「77セレクティ」ご利用開始後、KDDIからご利用確認の電話が入ることがあります。

## ● ご利用に関するお願い

- 「77セレクティ」のご利用に基づき、KDDIから提供される電話サービスなどは、「KDDIの電話サービス等契約約款」によります。
- 本機の示す時刻を定期的に確認してください。
  - ·「KDDI市外電話自動選択機能」は、本機の示す時刻を基準に機能しますので、設定時刻（☞15ページ）が間違っていると、正常に作動しないことがあります。
  - ·数時間以上の停電後は、本機の示す日付と時刻がご購入時の設定に戻り、正常に作動しないことがあります。その場合は、0077が表示されます。日付と時刻を再設定すると、0077が表示されます。
  - ·日付と時刻を再設定しても、0077が表示されている場合は、「0077表示の点灯時」（☞66ページ）を参照してください。
- 以下のような場合は、KDDIカスタマサービスセンターにご連絡ください。
  - ·NTTを除く他の電話会社とご契約されている場合
  - ·NTTや他の電話会社の料金割引サービスをご契約されている場合
  - ·既にKDDIをご利用されている場合
  - ·0077が表示された後、何らかの理由により、0077が表示された場合
  - ·移転等により住所、電話番号に変更があった場合
  - ·ダイヤルイン子番号に本機を設置した場合
  - ·本機を他機種と取り替えた場合
  - ·本機を電話回線に接続後、数日たっても0077が点灯しないとき
  - ·通話料金、サービスなどに関してのお問い合わせ

## ●「77 セレクティ」のご利用料金について

- KDDI の 0077 市外電話サービス、およびその他のサービスをご利用された料金は、KDDI から請求されます（NTT ご利用分は、NTT から請求されます）。
- えらんでメロディをご利用する際は、以下の点にご注意ください。
  - ・ご利用には KDDI 通話料がかかります。
  - ・メニュー内容によっては、途中で操作を中断した場合でも通話料が発生することがあります。
  - ・メニュー内容は予告なく変更される場合があります。
- KDDI のご利用料金の請求および支払いについて
  - ・窓口振り込み（コンビニなどを含む）か、口座振替にてお支払い可能です。口座振替はお手続きが必要ですので、KDDI カスタマサービスセンターにご連絡ください。
  - ・利用料金は利用した電話会社からそれぞれ請求されます。なお、料金に関する異議が生じた場合、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
  - ・通話料金などのご請求のため、必要に応じ、お客さまの電話番号、住所、氏名などについて KDDI が NTT から情報提供を受けることがあります。

## ●マイラインについて

「マイライン」「マイラインプラス」をご利用いただいている場合は、77 セレクティのご利用状況に応じて下記のように電話会社が選択されます。

| 77 セレクティ／マイライン※1 | 77 セレクティをご利用の場合 | 77 セレクティを解除された場合※2 |
|---|---|---|
| **マイライン（電話会社選択サービス）をご利用の場合** | ・同一県内の市外通話<br>・県外通話<br>→ KDDI (0077) またはマイラインにご登録の電話会社<br>・市内通話<br>・国際通話<br>→ マイラインにご登録の電話会社 | マイラインにご登録の電話会社 |
| **マイラインプラス（電話会社固定サービス）をご利用の場合** | マイラインプラスにご登録の電話会社※3 | マイラインプラスにご登録の電話会社 |

※ 1：「マイライン」「マイラインプラス」は、NTT 東日本、NTT 西日本のサービスです。
※ 2：えらんでメロディ、α-E メールなど、77 セレクティの付加サービスはご利用できません。
えらんでメロディ、α-E メールなどをご利用になる場合は、77 セレクティのご利用が必要となります。
※ 3：電話をかけるときに「ピピピ」という音がする場合は、KDDI カスタマサービスセンターまでお問い合わせください。

77 セレクティをご利用いただいている場合は、市外への通話が KDDI 通話となることにより、NTT や「マイライン」にご登録の電話会社など他社の割引サービスが適用されなくなることがあります。

- **マイライン（電話会社選択サービス）とは**

マイラインとは、あらかじめご利用になる電話会社を登録していただくことにより、通話の際に電話会社の識別番号をダイヤルせずにその電話会社をご利用できるサービスです。

- **マイラインプラス（電話会社固定サービス）とは**

マイラインプラスとは、いつも登録した電話会社をご利用になりたい方、特定の電話会社の通話料金割引サービスをご利用の方などにおすすめのサービスです。電話会社選択機能（77 セレクティ、ACR など）付きの電話機をご利用の場合でも、マイラインプラスで登録した電話会社をご利用いただけます。

**ご不明な点がございましたら、KDDI カスタマサービスセンターまでお問い合わせください。**

KDDIカスタマサービスセンター

0077-772（無料）
受付時間　9:00 ～ 21:00
（土・日・祝日も受付中）

5 オプションサービス

# えらんでメロディを利用する

本機では「77セレクティ」からメロディを受信(ダウンロード)し、着信音、保留音、またはモーニングメロディとして利用することができます。ダウンロードは1曲ずつ行い、JOYSOUNDメロディからダウンロードしたものと合わせて最大12曲まで登録できます。えらんでメロディは77セレクティ表示が点灯している場合に、ご利用できます。

0077 SELECTY を押す

(▲▼)で「えらんでメロディ」を選び、「確定」を押す

➡「接続中」と表示されます

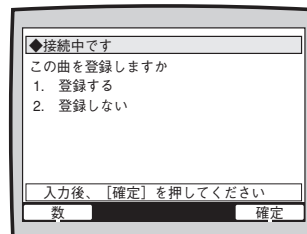
ここから通信料がかかります。

(▲▼)でダウンロードしたいメロディを確認する

4

0わ〜9らWXYZでメロディ番号(2桁)を入力し、「確定」を押す

➡「接続中」と表示され、メロディがダウンロードされます

- ダウンロードが完了すると、自動的に再生されます。
- 再生を中断するときは停止(停止)を押します。)

「1.登録する」の1あ@.を押し「確定」を押す

「既に12曲登録されています。登録するときは、上書きする曲番号を選択してください。」と表示されたらで登録されているメロディを確認し上書きするメロディの番号を入力し、「確定」を押します。

選択したメロディが保存されます

- ダウンロードしたメロディを着信音、保留音、モーニングメロディとして使用できるよう、それぞれ設定してください。
(着信音☞ 115ページ、保留音☞115ページ、モーニングメロディ☞120ページ)

メロディを一括消去する ☞115ページ

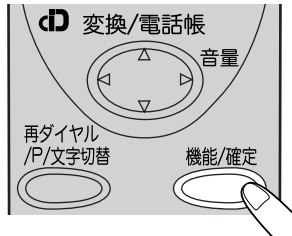
曲目のお問い合わせは
KDDIカスタマサービスセンター

0077-772(無料)
受付時間 9:00 〜 21:00
(土・日・祝日も受付中)

- 着信音にダウンロードしたメロディを設定した場合でも、いったん本機が自動受信した後は、「トゥルッ、トゥルッ」というベル音で相手が電話であることをお知らせします。
- 登録したメロディはメロディ用のメモリーに保存され、メモリー使用状況リストに印刷されます。
- 未入力状態が約60秒以上続いたときは、自動的に設定を終了します。このときはダウンロードされたメロディは保存されません。
- 通信状況などにより、メロディのダウンロードに時間がかかるときは、自動的に設定が終了することがあります。
- 楽曲は予告なく変更することがあります。

# 子機にメロディを登録する

「えらんでメロディ」、「JOYSOUNDメロディ」から親機に登録したメロディを、4曲まで子機の着信音として使用するために子機に登録（保存）できます。
登録は1曲ずつ行ないます。

**1**

機能/確定 を押す

**2**

（▲▼）で「メロディ読込」を選び、機能/確定 を押す

**3**

（▲▼）で登録したいメロディを選び、機能/確定 を押す

補足
選んだ曲が再生されます。

**4**

登録する場合はメロディ再生中に 機能/確定 を押す

補足
登録しない場合は 切 を押します。

**5**

メロディデータが読み込まれます
メロディデータの読み込みが終了すると、読み込んだメロディが再生されます

補足
すでに4曲以上登録しているときは、上書きする曲名を選びます。

**6**

機能/確定 を押す

➡ 設定を終了します

補足
子機に登録したメロディを着信音として使用できるよう、着信音の設定をしてください。（☞115ページ）

メモ
着信音として設定されているメロディが上書き（更新）されたときは、設定されていたメロディの代わりに上書きされたメロディが着信音として設定されます。

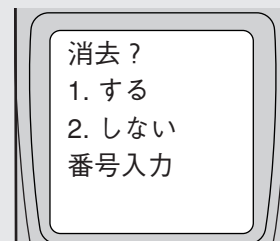
## メロディを消去する

**1**

機能/確定 を押し、（▲▼）で「着信音選択」を選ぶ

**2**

（▲▼）で消去したいメロディを選び、内線/クリア 保留 を押す

**3**

1 を押すと、メロディが消去されます

メモ
- 着信音として設定されているメロディが消去されたときは、消去されたメロディの変わりに着信音「ベル」が設定されます。
- 親機から読みこんだメロディ以外の着信音は消去できません。
- 消去されたメロディなど、子機に登録されていないメロディは着信音の選択メニューには表示されません。

# JOYSOUNDメロディを利用する

通信カラオケでおなじみのJOYSOUNDでは、幅広いジャンルから人気の高い曲を厳選し、ブラザーのオリジナルとして、200曲の和音メロディ（JOYSOUND200曲メロディ）を作成しました。
本機は、「JOYSOUND200曲メロディ」の中からお好みの曲を読みこみ（ダウンロードし）、着信音（メロディ）、保留音（メロディ）、モーニングメロディとして登録できます。

## 曲目一覧を印刷する（メロディを登録する前に）

「JOYSOUND200曲メロディ」の曲目一覧を印刷できます。「JOYSOUND200曲メロディ」を登録するとき、登録したいメロディ番号を曲目一覧で確認しますので、あらかじめ曲目一覧を印刷しておくことをおすすめします。

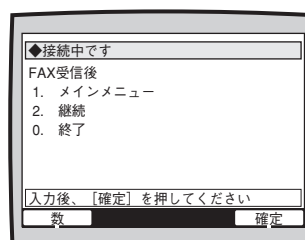
**記録紙を3枚以上セットして、0077 SELECTY を押す**

**(▲▼)で「ブラザーメニュー」を選び、「確定」を押す**

➡「接続中」と表示されます

補足
ここから通信料がかかります。

**「JOYSOUNDメロディ」の中の「1.曲目一覧プリント」の、1 を押し、「確定」を押す**

➡「接続中」と表示されます

**曲目一覧を受信（印刷）した後の状態を選び、0 ～ 2 で選択番号を入力し、[確定]を押す**

➡ 曲目一覧を受信します

補足
- 選択肢の意味は次のようになります。
  1.メインメニュー:印刷後ブラザーメニューに戻る
  2.継続:印刷後ブラザーメニューに戻る
  0.終了:印刷後「77セレクティ」を終了する

補足
曲目一覧受信後は、手順3の画面に戻ります。

- 登録方法は「77セレクティ」の「えらんでメロディ」と同じで、簡単に登録し、お楽しみいただけます。登録は1曲ずつ行い、えらんでメロディと合わせて、最大12曲まで可能です。JOYSOUNDメロディは、77セレクティ表示が点灯している場合にご利用できます。
- 「ブラザーメニュー」に新規メニューが追加された場合は、「1.メインメニュー」を選択すると、「ブラザーメニュー」の中のメニュー選択画面に戻ります。
  （平成13年2月現在は「ブラザーメニュー」の提供メニューは「JOYSOUNDメロディ」のみです。）

## JOYSOUNDメロディを登録する

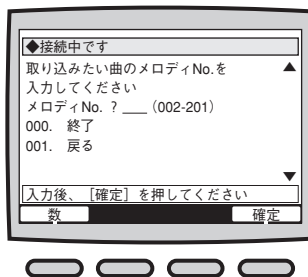
0077 SELECTY を押す

(▲▼)で「ブラザーメニュー」を選び、「確定」を押す

➡「接続中」が表示されます

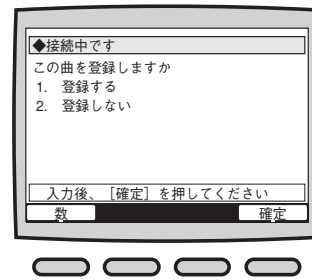
補足

ここから通信料がかかります。

「JOYSOUNDメロディ」の「2.メロディの取り込み」の、2 を押し、「確定」を押す

先に印刷しておいた曲目一覧の中から、ダウンロードしたいメロディを選び、0 ～ 9 でメロディ番号（3桁）入力し、「確定」を押す

➡「接続中」と表示され、メロディがダウンロードされます

補足

- ダウンロードが完了すると自動的に再生され、ディスプレイに曲名が表示されます。
- 曲名がないときはダウンロード日が表示されます。
- 再生中のメロディの音量は変更できません。
- メロディの再生を中止するときは、停止（停止）を押します。

1 を押して「1.登録する」を選び、「確定」を押す

補足

- 「既に12曲登録されています。登録するときは、上書きする曲番号を選択してください。」と表示されたら で登録されているメロディを確認し上書きするメロディの番号を入力し、「確定」を押します。
- ダウンロードしたメロディを登録しないときは、2（「2.登録しない」）→「確定」を押し、メロデを選び直すか、メニューから「終了」を選び、終了します。
（「000.終了」と表示されたときは、0 0 0 と入力し、「確定」を押します。）

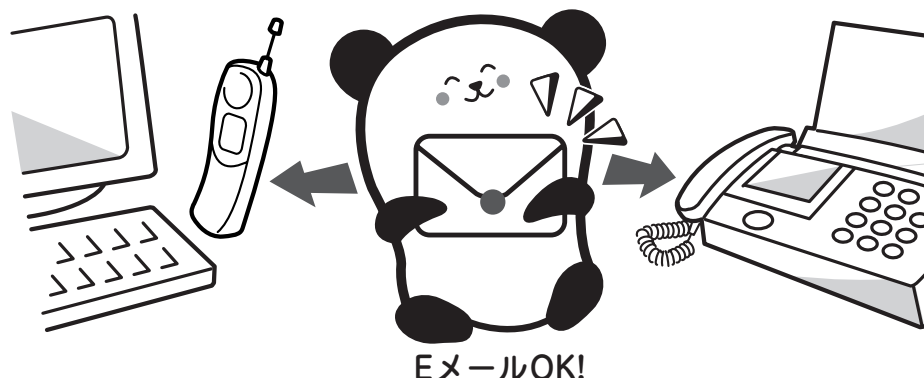
選択したメロディが保存されます

補足

「えらんでメロディ」と同様に、子機に登録することができます。
（「子機にメロディを登録する」☞ 70ページ）

# α-E メールを利用する

## ● α-E メールサービスとは

α-E メールサービスは「77 セレクティ」のオプション機能の 1 つで、パソコンがなくても本機を使って、パソコンや携帯電話（E メール対応）、E メール端末などと E メール（電子メール）の送受信ができます。

### ■ こんなことができます

| | |
|---|---|
| **メールを送信、受信する**<br>親機でも子機でも、メールの送受信ができます。 | ・親機で受信する（☞ 79 ページ）<br>・子機で受信する（☞ 80 ページ）<br>・親機で送信する（☞ 81 ページ）<br>・子機で送信する（☞ 82 ページ） |
| **メールの履歴を利用する**<br>メールの送受信履歴を利用して、アドレス登録、返信、転送、再送信などができます。（送受信履歴は、親機と子機で共通です。） | ・親機で受信履歴を利用する（☞ 83 ページ）<br>・親機で送信履歴を利用する（☞ 84 ページ）<br>・子機で受信履歴を利用する（☞ 85 ページ）<br>・子機で送信履歴を利用する（☞ 87 ページ） |
| **メールアドレス帳を作成する**<br>メールの送信先を、親機 40 件、子機 40 件まで登録できます。 | ・親機のアドレス帳（☞ 89 ページ）<br>・子機のアドレス帳（☞ 91 ページ） |
| **いろいろな登録をする**<br>メールで使用する署名や定型文、パスワードを登録できます。また添付ファイルを受信するかどうかも登録できます。 | ・いろいろな登録をする（☞ 93 ページ）<br>（署名、定型文、パスワード、添付受信、署名（子機）） |
| **ユーザー設定をする**<br>メールの自動受信やメールアドレスの変更などができます。 | ・ユーザー設定をする（☞ 95 ページ）<br>（着信通知、メールの自動受信、メールアドレスの変更、パスワード変更、拒否メールアドレス、メールの転送設定、メールの拒否時間設定、現在の設定） |
| **メールアドレスを追加する**<br>オンラインでメールアドレスを追加登録できます。 | ・メールアドレスを追加する（☞ 101 ページ） |

●α-E メールサービスをご利用いただくには、「77 セレクティ」の稼動と、KDDI への「α-E メールサービス」のお申し込みが必要です。

●α-E メールサービスの契約は、KDDI の「総合オープン通信網サービス契約約款」によります。
- ・「α-E メールサービス」は、KDDI と「77 セレクティ」のご利用契約をしている電話番号でのみご利用いただけます。
- ・ダイヤルインサービス、二重電話番号サービスをご利用の場合は、本機を主番号（契約者回線番号）に設定してご利用ください。

●次のようなときは、必ず KDDI カスタマサービスセンターにご連絡ください。
- ・移転などにより、ご利用の電話番号に変更があるとき
- ・「77 セレクティ」のご利用を一時中止するとき（「α-E メール」もご利用いただけなくなりますが、「α-E メールサービス」のご解約は別途必要です）
- ・ダイヤルイン子番号に本機を設置したとき
- ・本機をブランチ接続してご利用になるとき
- ・複数のメールアドレスを利用しているとき、アドレスの一部を変更／削除するとき
- ・本機を譲渡、貸与、処分するとき
- ・その他、紛失や盗難などにあったとき

# ● α-E メールサービス開始のながれ（お申し込み）

## ■ お申し込み手順

1. 「77 セレクティ」を稼動させます。（☞ 65 ページ）

2. 本機に同梱されている「α-E メールご利用申込書」を送付します。
   ➡店頭でお申し込みがお済みの場合は不要です。
   **ご不明な点がございましたら、KDDI カスタマサービスセンターまでお問い合わせください。**

   KDDIカスタマサービスセンター
   フリーコール 0077-772（無料）
   受付時間　9:00 ～ 21:00
   （土・日・祝日も受付中）

   ➡お申し込みからオンライン通信まで、約２～３週間かかる場合があります。
   ➡KDDI メールセンターからの電話回線を通じたオンライン通信（無料）により、自動的に本機にメールアドレスが登録されます。

3. α-E メールが開始されます。
   ➡KDDI メールセンターから開通メールが届き、「α-E メールサービス」が使用できるようになります。

- KDDI と α-E メールサービスの契約をしていない場合は、α-Eメール ○（α-E メール）を押すと拒否音が鳴ります（α-E メールモードへ移行できません）。
- オンライン通信時には、本機の着信音が鳴ります。
- オンライン通信を行うときは、着信回数を「無制限」以外に設定してください。

**ご不明な点がございましたら、KDDI カスタマサービスセンターまでお問い合わせください。**

KDDIカスタマサービスセンター〈α-Eメール係〉

0077-23-110096（無料）
イイメールオクロウ
受付時間　9:00 ～ 21:00
（土・日・祝日も受付中）

■お客様サポートアドレス
e-mail: support@ae2.dion.ne.jp

## ■ α-E メールサービスのご利用を中止するには

必ず KDDI カスタマサービスセンター「α-E メール」係へご連絡ください。本機の操作によって、サービスを解約することはできません。
ご利用を中止する際は、KDDI にて「α-E メールサービス」を解約する必要があります。ご連絡いただけない場合は、引き続き月額料がかかってしまいますので、ご注意ください。

## ● メールアドレスについて

郵便物と同様、E メールを受け取る場合もお客様の住所を示すアドレス（メールアドレス）が必要になります。KDDI の「α-E メールサービス」にご加入いただきますと、KDDI からお客様のメールアドレスが 1 つ提供されます。また、メールアドレスは合わせて 3 つまで持つことができます。2 つ目以降のアドレスについては、本機から KDDI のセンターにオンラインで追加登録することができます。（「メールアドレスを追加する（サインアップ）」☞ 101 ページ）

### (1)電話番号アドレス

初めて α-E メールサービスにご加入いただいた場合は、下記の「電話番号アドレス」が自動的に設定されます。

0312345678aaa　@　ae2.dion.ne.jp

お客様のご契約電話番号 +3 文字のアルファベット

ドメイン名（この部分は、当サービスにご登録いただいたお客様に KDDI から自動設定されます。）

### (2)ニックネームアドレス

お好きなアルファベットのアドレスを設定することができます。「電話番号アドレス」は 1 回に限り、「ニックネームアドレス」に変更できます。（「メールアドレスの変更」☞ 95 ページ）

abc-brother　@　ae2.dion.ne.jp

アルファベット小文字（数字を含む)4～15文字

@

ドメイン名（この部分は、当サービスにご登録いただいたお客様に KDDI から自動設定されます。）

- 記号は「＿（アンダーバー)」、「－（ハイフン)」のみ、上記内で合計 2 回まで使用できます。
- 1 文字目は必ずアルファベット小文字としてください。
- アルファベット大文字はご使用できません。

## ● α-E メールサービスのご利用料金について

α-E メールサービスをご利用いただくには、下記のご利用料金がかかります。（登録料は無料です。）

・ 月額基本料金　100 円／ 1 メールアドレス
・ 接続料　10 円／ 30 秒

- α-E メールサービスのお申込者と、その電話番号ですでに KDDI 電話サービスを契約されているご契約者が異なる場合、当サービスにかかる料金は KDDI ご契約者に請求されます。
- α-E メールサービスのご利用料金は、KDDI 電話サービスのご利用料金と合算して請求されます。ただし、お支払いの方法などにより合算請求とならない場合があります。
- 毎月の料金計算の締切日は、KDDI 電話サービスと異なる場合があります。

# ● α-E メールのメニューと機能について

本機では通常のE メールの送受信だけでなく、履歴を利用したメールの編集、返信なども行えます。また、「各種登録」では、署名、定型文、着信通知サービスなども設定することができます（「着信通知サービス」は、お買い上げ時は「ON」に設定されています）。

| α-E メールモードへの移行 | 機能選択 | | | 内容 | ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| α-E メール ○ | 1. メール受信 | | | メールを受信する | 79 ～ 80 ページ |
| | 2. 受信履歴 | アドレス登録 | | 受信したメールアドレスをアドレス帳に登録する | 83 ～ 88 ページ |
| | | 表示 | 返信 | 返信のメールを作成する | |
| | | | 転送 | 転送のメールを作成する | |
| | | | 印刷 | 受信したメールを印刷する | |
| | 3. 送信履歴 | 送信 | | メールを送信する | |
| | | 表示 | 編集 | 送信したメールを編集する | |
| | | | 印刷 | 送信したメールを印刷する | |
| | 4. 新規メール作成 | 入力 | | メールの宛先、件名、本文を入力する | 81 ～ 82 ページ |
| | | 送信 | | メールを送信する | |
| | | 印刷 | | メールを印刷する | |
| | 5. 設定 | 署名登録 | | 登録した署名を自動的に送信メールに挿入する | 93 ～ 94 ページ |
| | | 定型文作成 | | 使用頻度の高い文章を定型文として登録する | |
| | | パスワード設定 | | パスワードを設定する | |
| | | 添付受信設定 | | 添付ファイルを受信するかどうかを設定する | |
| | | オンライン ユーザー設定 | | 本機からセンターに接続してオンライン通信で設定する | 95～100 ページ |
| | 6. アドレス帳 | 登録 | | 新規のメールアドレスをアドレス帳に登録する | 89 ～ 92 ページ |
| | | 転送 | | アドレス帳データを子機へ転送する | |
| | | 修正 | | アドレスを修正する | |
| | | 印刷 | | アドレス帳リストを印刷する | |

## ●E メールの受信について

α-E メールサービスによるE メールの送受信は、KDDI のメールセンターを通して行われます。受信したE メールは印刷して紙面で確認したり、画面に表示することができます。E メールの受信のながれは下記のようになります。

例）親機で受信する場合

**着信通知設定：ONのとき（お買上げ時の設定）**

**着信通知設定：OFFのとき**

**KDDIのメールセンターにメールが着信する**

（着信通知設定：ONのとき）

**KDDIから本機に電話がかかる**

- 受話器をとると「こちらはKDDIです。メールセンターにメールが届いています。メールの取りだし操作を行なってください。」という案内が聞こえます。
- 受話器をとらないと、自動的にスピーカーホンに切り換わります。

**KDDIから本機に着信通知が届く**

- 待ち受け画面に着信通知マークと「メール受信をしてください」というメッセージが表示されます。

**αEメール を押す**

（着信通知設定：OFFのとき）

**メールを受信しているか確認したいときに αEメール を押す**

**メールを確認したいアドレスを選ぶ**

●着信通知を受け取ったアドレスには「＊」が表示されます。

補足：親機と子機のどちらでも確認できます。

**「確定」を押す**

**1（メール受信）を押す**

**<<メールを受信します>>**

補足：受信したメールは「受信履歴」として親機に記憶されますが、親機でも子機でも見ることができます。

**受信履歴からメールを選んで、「表示」で画面に表示させる**

- 着信通知は、「着信通知設定」(☞ 95 ページ）が ON のときにだけ働きます。本機には「メールの自動受信」(☞ 95 ページ）など、ユーザ設定による便利な機能があります。
- 着信通知設定を ON に設定していても、「メール受信をしてください」と表示されず、KDDI のセンターに着信したメールが残っている場合がありますので、定期的に αEメール ① （メール受信）を押してメールを受信してください。
- 添付ファイルを受信しないように設定することもできます。(☞ 93 ページ）
- KDDI のセンターに着信したメールは、受信しなくても 30 日を過ぎると自動的に消去されます。
- KDDI のセンターに接続した際に着信メールが無かった場合でも、接続料がかかります。
- KDDI のセンターのメールボックスがいっぱいになると、新規メールを受信できないことがあります。センターにメールを溜めないよう、定期的に受信してください。
- 受信したメールがメールボックスの容量を超える場合は、正常にメールを受信できません。
- 次の場合は、正常にメールを受信できないことがあります。
  - ・留守設定時に録音された留守録メッセージや受信した E メールが残っているために、メモリが不足している場合
  - ・受信したメールの容量が、メモリの蓄積許容量を越えている場合

  また、メモリの容量が少ない場合、一度に受信できるメールの件数が少なくなります。
- 海外からのメールなど、送信相手の状況によっては、正確に受信できない場合があります。
- 添付ファイルのファイル形式によっては受信できないことがあります。その場合は、受信できないという内容の文章が印刷されます。

## ■ 受信できる添付ファイルについて

**受信できる添付ファイルの形式は下記のとおりです。**

| | |
|---|---|
| ・ビットマップイメージファイル（*.bmp）<br>・JPEG イメージファイル（*.jpg/jpeg）<br>・TIFF イメージファイル（*.tif/tiff） | * 非圧縮タイプに限ります。LZW 圧縮タイプは利用できません。 |
| ・MS-WORD 文書ファイル（*.doc） | 「Microsoft® Word for Windows® 98」で読込み／印刷可能なものに限ります。 |
| ・MS-EXCEL ワークシートファイル（*.xls） | 「Microsoft® Excel for Windows(r) 97」で読込み／印刷可能なものに限ります。 |
| ・PDF ファイル（*.pdf） | 「Adobe® Acrobat® Reader4.0J」で読込み／印刷可能なものに限ります。 |

- Microsoft®、Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe® Acrobat® は、Adobe System Incorporated（アドビ　システムズ社）の登録商標または商標です。

●上記の形式以外の添付ファイルは受信できません。
●ファイルのデータサイズやメールボックスの空き容量により着信できない場合もあります。
●上記の形式の添付ファイルであっても、回線の状態などによっては受信できない場合があります。
●添付ファイルの用紙サイズが A4 より大きい場合、正しく印刷できないことがあります。

5 オプションサービス

## 親機で受信する

受信

**1**

**メールが届いていることが表示されたら Eメール を押す**

**補足**

メールの自動受信（☞95ページ）の契約をしているときは、「メールが届いています」と表示されます。

**2**

**補足**

複数のメールアドレスをお持ちの場合は、メールが届いているアドレスには「＊」が表示されます。

**（▲▼）で自分のアドレスを選び、「確定」を選ぶ**

**補足**

パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。

**3**

**（▲▼◀▶）で「1.メール受信」を選び、「確定」を選ぶ**

**4**

**本文受信中画面が表示されます**

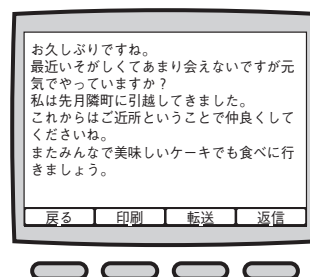
➡ 受信し終わると、受信履歴画面が表示されます

**補足**

添付ファイルがある場合は、この後「ファクス受信中」の画面になります。

**5**

**（▲▼）で見たいメールを選び、「表示」を選ぶ**

**6**

**受信メール表示画面が表示されます**

- 戻る ： 待ち受け画面に戻る
- 印刷 ： メールの内容を印刷する
- 転送 ： 転送メールを作成する
- 返信 ： 返信メールを作成する

**補足**

親機でメールを受信したときは、子機のディスプレイにメールピクト ✉ が残ることがあります。

メモ

**受信を中止するには**

- 停止（停止）を押します。受信途中のメールはKDDIのメールセンターに残り、停止（停止）を押す前までにすでに受信したメールが受信履歴に表示されます。

**受信中にメモリーが足りなくなったときは**

- 受信中にメモリーが足りなくなったときは、本機はいったん通信を終了します。既読メールや留守録メッセージなど不要なデータを削除した後で、もう一度メールの受信操作を行います。

**添付ファイルを受信したら**

- 受信した添付ファイルは、ファクス一覧で見ることができます。また、添付ファイルは、待ち受け画面で［ファクス一覧］を押して新着ファクス一覧を表示させたとき、相手先名称に「α-Eメール」と表示されます。

# 子機で受信する

**1**

が表示されたら 機能/確定 を押す

補足

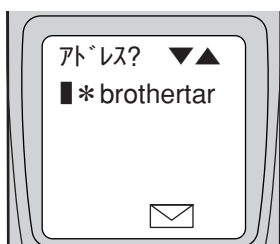
メールの自動受信（☞95ページ）の契約をしているときは、「メールが届いています」と表示されます。

**2**

（▲▼）で「Eメール」を選び 機能/確定 を押す

**3**

（▲▼）で「メール受信」を選び 機能/確定 を押す

**4**

- メールが届いているアドレスには「＊」が表示されます。
- すでに親機でメールを確認しているときは、 が消灯します。このときは 切 を押して終了してください。

（▲▼）で自分のアドレスを選び、機能/確定 を選ぶ

補足

パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。

**5**

受信中画面が表示されます

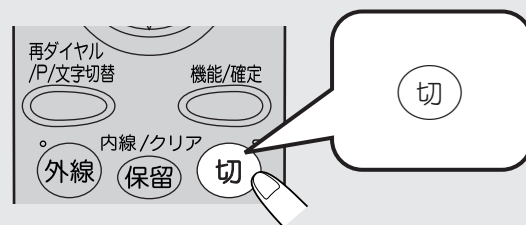
➡ 受信し終わると、受信履歴画面が表示されます

**6**

（▲▼）で受信したメールを選び、機能/確定 を押し、受信メールの内容を確認する

補足

添付ファイルがある場合は、メール本文の最後に、「ファイル名XXXX　このファイルはFAX出力されました」と表示されます。
この場合は、親機のファクス一覧から選んで添付ファイルの内容を確認してください。

**待ち受け画面に戻るには**

切 を押す



- 特殊文字など、本機で扱っていない文字は、スペースに置き換えて表示／印刷されます。
- 添付ファイルを受信中にメモリーが足りなくなった場合、添付ファイルが受け取れないことがあります。
- 受信したメールに添付ファイルがあっても、添付ファイルを受信しないように設定できます。（☞93ページ）
- 添付ファイルを受信した場合、「通信管理レポート」の相手先名称欄には「α-Eメール」と記載されます。

**受信したメールを削除するには**

- 「削除する」を参照してください。（親機☞83ページ、子機☞85ページ）

通信管理レポート

2001年01月15日　15:37

| 日付 | 時刻 | 相手先名称 | 通信時間 | ページ | 結果 | コメント |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 01月14日 | 12:34 | 123 | 11 | 00 | エラー | 送 |
| 01月14日 | 12:34 | α-Eﾒｰﾙ | 52 | 01 | OK | 受 |
| 01月15日 | 15:26 | ﾀｶﾊ ﾖｳｺ | 51 | 01 付 | OK | 送　ECM |
| 01月15日 | 15:31 | ﾀｶﾊ ﾖｳｺ | 00 | 00 | 話し中 | 送 |
| 01月15日 | 15:32 | ｽｽﾞｷ ﾏｺﾄ | 20 | 01 | OK | 送　ECM |
| 01月15日 | 15:33 | ﾜﾀﾅﾍﾞ ｽｽﾑ | 29 | 00 | エラー | 送　ECM |
| 01月15日 | 15:35 | α-Eﾒｰﾙ | 19 | 01 | OK | 受 |

付：送付書
伝：伝言メッセージ
ポ：ポーリング
送：送信
受：受信

## 親機で送信する

**1**

待ち受け画面で  を押す

**2**

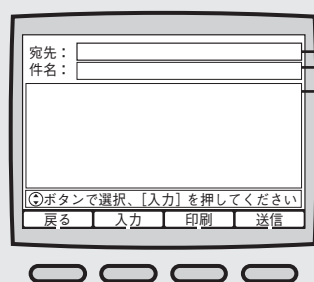
(▲▼ ◀▶)で自分のアドレスを選び、「確定」 を押す

補足

パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。

**3**

(▲▼ ◀▶)で「4.新規作成」を選び、「確定」を押す

**4**

### メールを作成する

宛先、件名、本文を入力する

- [入力]を押し、宛先を入力する。複数の宛先を入力する場合は続けて入力し、入力し終わったら[終了]を押す。

補足

宛先の入力では「アドレス帳」を押すとアドレス帳から宛先を選ぶことができます。

- [入力]を押し、件名を入力する。入力し終わったら[確定]を押す。
- [入力]を押し、本文を入力する。入力し終わったら[確定]を押す。

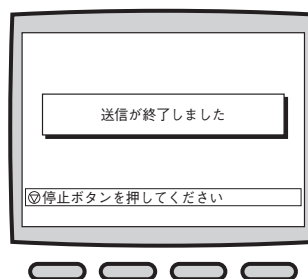
補足

- メールに原稿を添付するときは、「送信」を押す前に原稿をセットしておきます。(複数ページ可)[**手書き送信**]
- 文字の入れかた ☞21ページ

**5**

「送信」を押す

➡ 作成したメールが送信されます

**6**

送信が終了したら(停止)を押す

- メールの内容を確認するときは、「印刷」を押すと、メールを印刷できます。
- 原稿の読み取り解像度を設定したいときは、(α-Eメール)を押す前に設定しておきます。
- メールの作成を中断したいときは、「戻る」や(停止)を押すと途中のメールを「未送信メール」として保存することができます。
- メール作成中に着信があったときは、自動的に「未送信メール」として保存されます。
- メール送信ができなかったときは、「Eメール不達レポート」が印刷されます。もう一度送信履歴から選んで送信し直してください。

# 子機で送信する

**1**

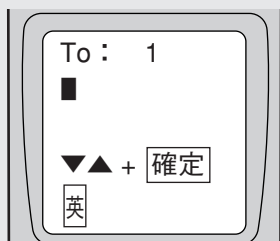
待ち受け画面で（機能/確定）を押す

**2**

（▲▼）で「Eメール」を選び、（機能/確定）を押す

**3**

（▲▼）で「新規作成」を選び、（機能/確定）を押す

**4**

（▲▼）で宛先を選び、（機能/確定）を押す

補足

アドレス帳に登録されていないときは、（0）〜（9）、（#）でアドレスを入力します。
（子機のアドレス帳登録 ☞91ページ）

**5**

件名を入力し、（機能/確定）を押す

補足

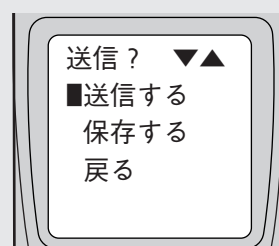
文字の入れかた ☞23ページ

**6**

本文を入力し、（機能/確定）を押す

補足

- メールの作成を中断したいときは、（切）を1回押し、「保存する」を選び（機能／確定）を押します。続けて、保存したいアドレスを選び（機能／確定）を押すと、「送信履歴」に保存されます。
- メール作成中に着信があったときは、自動的に「作成中メール」として保存されます。

**7**

（▲▼）で「送信する」を選び、（機能/確定）を押す

補足

メールを保存するときは、「保存する」を選びます。

**8**

（▲▼）で自分のアドレスを選び、（機能/確定）を押す

➡「メール送信中」と表示したあと、送信終了画面が表示されます

補足

- パスワードが設定されているときは、パスワードを入力します。
- 「通信エラーもう一度操作してください」と表示されたときは、親機との間の通信でエラーが発生したため、メールは送信できませんでした。このメールは「作成中メール」として保存されているので、もう一度送信し直してください。（「作成中メール」は「Eメール」を選んだ後、「送信メール」を選び、その中から選択できます。）

## ● メールの履歴を利用する

### 親機で受信履歴を利用する

受信メールは、1アドレスにつき20件まで記憶されます。記憶されているメールは、表示、印刷、送信元アドレスのアドレス帳への登録、メールの返信や転送などができます。

● 受信メールが20件以上になったら、不要なメールを削除してください。

#### アドレス帳に登録する

1 受信履歴表示画面でメールを選び、［宛先登録］を押す

2 ［入力］を押し、名前を入力し、［確定］を押す
● 文字の入れかた☞ 21ページ

3 ［確定］を押す
● 受信履歴画面に戻ります。

#### 表示する

1 受信履歴表示画面でメールを選び、［表示］を押す

太郎君、メールありがとう。
4月7日のお花見是非参加させてもらいます。
ところで当日は何を持って行ったらいいのかな？
詳しくはまたメールで教えてください。
戻る 印刷 転送 返信

● 「戻る」を押すと受信履歴画面に戻ります。

#### 印刷する

1 受信履歴表示画面でメールを選び、［表示］を押す

2 ［印刷］を押す

3 ［開始］を押す
● 印刷終了後、そのデータを削除するかどうかを選びます。

#### 返信する

1 受信履歴表示画面でメールを選び、［表示］を押す

2 ［返信］を押す

宛先： tanaka ichiro@XXX.ne.jp
件名： Re：メールありがとう
ボタンで選択、［入力］を押してください
戻る 入力 印刷 送信

● メール作成画面（81ページ）が表示されます。
● 宛先、タイトルが表示されています。

#### 転送する

1 受信履歴表示画面でメールを選び、［表示］を押す

2 ［転送］を押す

宛先：
件名： Fw：メールありがとう
こんにちは。
メールありがとう。お元気そうですね。
戻る 入力 印刷 送信

● メール作成画面（81ページ）が表示されます。
● タイトル、本文が表示されています。

#### 削除する

1 受信履歴表示画面でメールを選び、［消去］を押す

消去

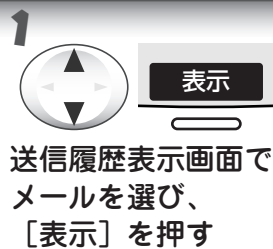
削除しますか？
はい いいえ

2 ［はい］を押す
● 受信履歴画面に戻ります。

## 親機で送信履歴を利用する

送信メールは、1アドレスにつき20件まで記憶されます。記憶されているメールは、表示、印刷、メールの再送信などができます。

● 送信メールが20件をこえる場合は、古い履歴から自動的に削除されます。

### 表示する

1 送信履歴表示画面でメールを選び、［表示］を押す

From: brothertaro@ae1.dion.ne.jp
To: tanaka ichiro@XXX.ne.jp
Subject: お花見のお知らせ
Content-type: text/plain

そろそろ暖かくなってきましたがいかがお

戻る　印刷　編集

### 印刷する

1 送信履歴表示画面でメールを選び、［表示］を押す

From: brothertaro@ae1.dion.ne.jp
To: tanaka ichiro@XXX.ne.jp
Subject: お花見のお知らせ
Content-type: text/plain

そろそろ暖かくなってきましたがいかがお

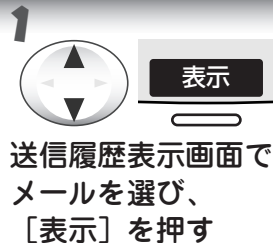
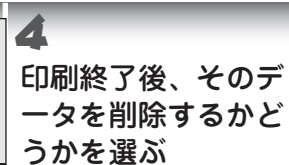
戻る　印刷　編集

2 ［印刷］を押す

3 ［開始］を押す

印刷した内容を削除しますか？

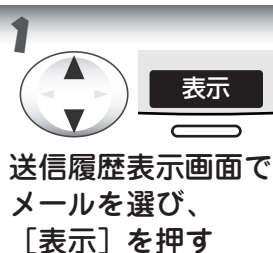
はい　いいえ

4 印刷終了後、そのデータを削除するかどうかを選ぶ

はい／いいえ

● 手順1のメールの内容画面に戻ります。

### 編集する

1 送信履歴表示画面でメールを選び、［表示］を押す

2 ［編集］を押す

宛先：tanaka ichiro@XXX.ne.jp
件名：お花見のお知らせ
そろそろ暖かくなってきましたがいかがお過ごしですか？
さて、4月7日（土）○○高校の仲間でお花
ボタンで選択、［入力］を押してください
戻る　入力　印刷　送信

● メール作成画面（81ページ）が表示されます。
● 宛先、タイトル、本文が表示されています。

### 送信する

1 送信履歴表示画面でメールを選び、［送信］を押す

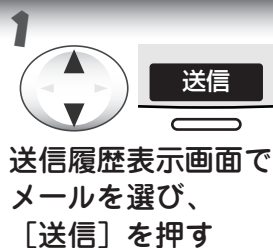
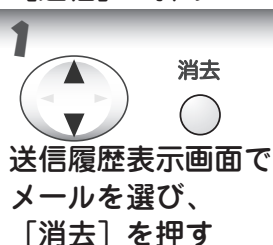
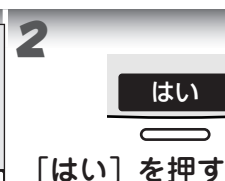
● メールが送信されます。

### 削除する

1 送信履歴表示画面でメールを選び、［消去］を押す

削除しますか？

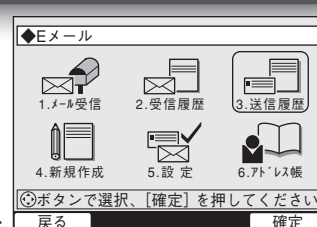
はい　いいえ

2 ［はい］を押す

● 送信履歴画面に戻ります。

## ■ 受信履歴、送信履歴を表示させるには

1 ［α-Eメール］を押す

2 自分のアドレスを選び［確定］を押す

● パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。

3 〈2.受信履歴〉または〈3.送信履歴〉を選び、［確定］を押す

● 受信履歴画面または送信履歴画面が表示されます。

5 オプションサービス

## 子機で受信履歴を利用する

受信メールは、1アドレスにつき20件まで記憶されます。記憶されているメールは、表示、削除、送信元アドレスのアドレス帳への登録、メールの返信や転送などができます。

- 受信メールが20件以上になったら、不要なメールを削除してください。
- メールを返信するときや転送するときは、件名を20文字以下（Re:、Fw:含めて）に編集してください。

### メールを選ぶ

**1**

機能/確定

［機能/確定］を押す

メニュー？ ▼▲
■電話帳登録
電話帳変更
電話帳転送

**4**

自分のアドレスを選び、［機能/確定］を押す

- パスワードを設定しているときは、ここでパスワードを入力します。

8) ▼▲
Sat, 7 Jul
hanako@xxx.
今日はセタ

### 返信する

「メールを選ぶ」の1～6の操作を行います

**7**

「返信」を選び、［機能/確定］を押す

**8**

アドレス→件名→本文の順に入力する

### 転送する

「メールを選ぶ」の1～6の操作を行います

**7**

「転送」を選び、［機能/確定］を押す

**8**

アドレス→件名→本文の順に入力する

### 削除する

「メールを選ぶ」の1～6の操作を行います

**7**

「削除」を選び、［機能/確定］を押す

削除？
1.する
2.しない
番号入力

### アドレス帳に登録する

「メールを選ぶ」の1～6の操作を行います

**7**

「アドレス帳」を選び、［機能/確定］を押す

**8**

名前？
■
入力＋確定

名前→読み仮名の順に入力する

2
機能/確定
「Eメール」を選び、
［機能/確定］を押す
Eﾒｰﾙ？▲▼
■メール受信
受信履歴
送信メール
3
機能/確定
「受信履歴」を選び、
［機能/確定］を押す
ｱﾄﾞﾚｽ？▼▲
taro@ae1.dio
kentaro@ae1
miyoko@ae1.
5
機能/確定
メールを選び、
［機能/確定」を押す
今日は七夕の
日だよ。天気
はどうかな？
▼▲機能？
● メールの本文が表示されます。
6
機能/確定
［機能/確定］を押す
ﾒﾆｭｰ？ ▼▲
■返信
転送
アドレス帳
9
機能/確定
［機能/確定］を押す
●文字の入れかた ☞23ページ
送信？ ▲▼
■送信する
保存する
戻る
10
機能/確定
「送信する」を選び、
［機能/確定］を押す
終了
9
機能/確定
［機能/確定］を押す
●文字の入れかた ☞23ページ
送信？ ▲▼
■送信する
保存する
戻る
10
機能/確定
「送信する」を選び、
［機能/確定］を押す
終了
8
［1.する］を押す
1.する／2.しない
終了
9
機能/確定
［機能/確定］を押す
終了

## 子機で送信履歴を利用する

送信メールは、1アドレスにつき20件まで記憶されます。記憶されているメールは、表示、メールの再送信などができます。

● 送信メールが20件をこえる場合は、古い履歴から自動的に削除されます。

### メールを選ぶ

**1**

機能/確定

［機能/確定］を押す

メニュー？ ▼▲
■電話帳登録
電話帳変更
電話帳転送

**4**

機能/確定

［送信履歴］を選び、［機能/確定］を押す

アドレス？ ▼▲
█hanako@xxx.

### 編集・再送信する

「メールを選ぶ」の1～6の操作を行います

**7**

機能/確定

［機能/確定］を押す

メニュー？ ▼▲
■編集
削除
戻る

### 保存する

「メールを選ぶ」の1～6の操作を行います

**7**

機能/確定

［機能/確定］を押す

メニュー？ ▼▲
■編集
削除
戻る

### 削除する

「メールを選ぶ」の1～6の操作を行います

**7**

機能/確定

［機能/確定］を押す

メニュー？ ▼▲
■編集
削除
戻る

操作を中止するには 停止（停止）を押します。

2
機能/確定
Eﾒｰﾙ？ ▼▲
■送信メール
新規作成
登録
「Eメール」を選び、
［機能/確定］を押す
3
機能/確定
送信ﾒｰﾙ？▼▲
■送信履歴
作成中ﾒｰﾙ
戻る
「送信メール」を選び、
［機能/確定］を押す
5
機能/確定
20)* ▼▲
08/19 20:00
taro@ae1.dio
今日の予定
自分のアドレスを選び、［機能/確定］を押す
● パスワードが設定されているときは、ここでパスワードを入力します。
6
機能/確定
こんにちは。
お元気ですか
？私は元気で
▼▲ 機能？
メールを選び、
［機能/確定］を押す
● メールの本文が表示されます。
8
機能/確定
「編集」を選び、
［機能/確定］を押す
9
機能/確定
送信？ ▼▲
■送信する
保存する
戻る
宛先、件名、本文を編集し、［機能/確定］を押す
● 文字の入れかた ☞23ページ
10
機能/確定
終了
「送信する」を選び、
［機能/確定］を押す
8
機能/確定
送信？ ▼▲
■保存する
戻る
送信する
「編集」を選び、宛先、件名、本文を編集せず、
［機能/確定］を押す
9
機能/確定
終了
「保存する」を選び、
［機能/確定］を押す
8
機能/確定
削除？
1.する
2.しない
番号入力
「削除」を選び、
［機能/確定］を押す
9
1
終了
［1.する］を押す

# ●メールアドレス帳を作成する

本機では「メールアドレス帳」に、Ｅメールの送信先を 40 件まで登録することができます。登録されたアドレスは読み仮名順（ひらがな→カタカナ→アルファベット→数字→記号）に整理されます。

## 親機のアドレス帳

親機のメールアドレス帳には最大40件のアドレスが登録できます。

- 子機への全件転送時にアドレス帳の残り件数以上のデータを転送すると、残りの件数に入る分のデータが転送された後に「転送エラーが発生しました　○○件のデータが未転送です」と表示されます。
- 転送する内容が、すでに転送先に登録されているときは、重複して登録はされません。
- 転送先に同じ名前があるときでも、メールアドレスが異なる場合は追加登録されます。

### アドレス帳を開く

**1** ［αＥメール］を押す

◆自局アドレス選択
brothertaro@ae1.dion.ne.jp
brotherkentaro@ae1.dion.ne.jp
brothermiyoko@ae1.dion.ne.jp
ボタンで選択、［確定］を押してください
戻る　サインアップ　確定

**2** 確定
自分のアドレスを選び、［確定］を押す

- パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。

### 登録する

「アドレス帳を開く」の1～3の操作を行います

**4** ［登録］を押す

◆アドレス帳登録　残り：35件
ｱﾄﾞﾚｽ：
名前：
ﾖﾐｶﾞﾅ：
［入力］を押すと、入力画面になります
戻る　入力　連続登録　確定

### 検索する

「アドレス帳を開く」の1～3の操作を行います

**4** アドレスを検索する

終了

### 変更する

「アドレス帳を開く」の1～3の操作を行います

**4** アドレスを検索する

**5** ［修正］を押す

### 削除する

「アドレス帳を開く」の1～3の操作を行います

**4** アドレスを検索する

**5** 消去
［消去］を押す

### 印刷する

「アドレス帳を開く」の1～3の操作を行います

**4** ［印刷］を押す

**5** ［開始］を押す

終了

### 転送する

「アドレス帳を開く」の1～3の操作を行います

**4** 

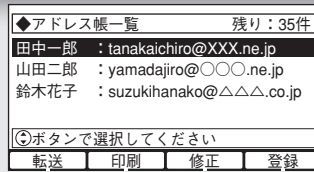
［転送］を押す

- 子機2、子機3、子機4（FAX-910CLW の場合は、子機3、子機4）は、子機を増設している場合だけに表示されます。

◆Eメール
1.メール受信　2.受信履歴　3.送信履歴
4.新規作成　5.設 定　6.アドレス帳
ボタンで選択、[確定]を押してください
戻る　確定

**3**

6 は MNO

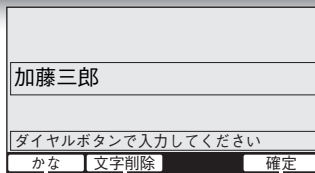
［6.アドレス帳］を押す

◆アドレス帳一覧　残り：35件
田中一郎　：tanakaichiro@XXX.ne.jp
山田二郎　：yamadajiro@○○○.ne.jp
鈴木花子　：suzukihanako@△△△.co.jp
ボタンで選択してください
転送　印刷　修正　登録

**5**

入力

アドレス、名前、読み仮名などを選び［入力］を押す

**6**

加藤三郎
ダイヤルボタンで入力してください
かな　文字削除　確定

アドレス、名前、読み仮名などを入力し、［確定］を押す

**7**

確定

［確定］を押す

- 文字の入れかた ☞21ページ

- ［連続登録］を押すと、続けて次のアドレスが登録できます。
- ［戻る］を押すと、入力したデータを捨てて、入力前の画面に戻ります。

終了

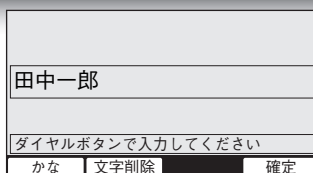
◆アドレス帳登録　残り：35件
アドレス：tanakaichiro@XXX.ne.jp
名前：田中一郎
ヨミガナ：タナカイチロウ
［入力］を押すと、入力画面になります
戻る　入力　確定

**6**

入力

アドレス、名前、読み仮名を選び［入力］を押す

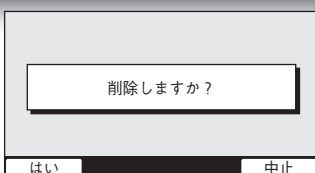
**7**

田中一郎
ダイヤルボタンで入力してください
かな　文字削除　確定

アドレス、名前、読み仮名などを入力し、［確定］を押す

**8**

確定

［確定］を押す

- 文字の入れかた ☞21ページ
- ［戻る］を押すと、入力したデータを捨てて、入力前の画面に戻ります。

終了

削除しますか？
はい　中止

**6**

はい

［はい］を押す

終了

## 子機のアドレス帳

子機のメールアドレス帳には、最大40件のアドレスが登録できます。

### アドレス帳を開く

**1** ［機能/確定］を押す

メニュー？ ▲▼
■電話帳登録
電話帳変更
電話帳転送

### 登録する

「アドレス帳を開く」の1～3の操作を行います

**4** 「アドレス帳登録」を選び、［機能/確定］を押す

**5** アドレス→名前→読み仮名の順に入力する

アドレス？
■
入力＋確定
英

### 変更する

「アドレス帳を開く」の1～3の操作を行います

**4** 「アドレス帳変更」を選び、［機能/確定］を押す

**5** アドレスを検索し、［機能/確定］を押す

### 削除する

「アドレス帳を開く」の1～3の操作を行います

**4** 「アドレス帳変更」を選び、［機能/確定］を押す

**5** アドレスを検索し、［クリア］を押す

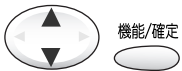
### 親機に転送する

「アドレス帳を開く」の1～3の操作を行います

**4** 「アドレス帳転送」を選び、［機能/確定］を押す

Eメール？ ▼▲
■アドレス帳転送
署名
戻る

5 オプションサービス

2
機能/確定
「Eメール」を選び、
［機能/確定］を押す
Eﾒｰﾙ ? ▼▲
■登録
戻る
メール受信
3
機能/確定
「登録」を選び、
［機能/確定］を押す
Eメール ? ▼▲
■ｱﾄﾞﾚｽ帳登録
ｱﾄﾞﾚｽ帳変更
ｱﾄﾞﾚｽ帳転送
6
機能/確定
各項目を入力したら
［機能/確定］を押す
● 文字の入れかた ☞23ページ
終了
● ダイヤルボタンで読み仮名の最初の文字を入力し、機能/確定（機能/確定）を押すと、検索文字以降の登録内容が表示されます。
6
ｱﾄﾞﾚｽ ?
ichiro@XXX.n
入力 + 確定
英
アドレス→名前→読み仮名の順に修正する
7
機能/確定
各項目を入力したら
［機能/確定］を押す
● 文字の入れかた ☞23ページ
終了
● ダイヤルボタンで読み仮名の最初の文字を入力し、機能/確定（機能/確定）を押すと、検索文字以降の登録内容が表示されます。
削除 ?
1.する
2.しない
番号入力
6
［1.する］を押す
終了
5
機能/確定
転送件数を選び、
［機能/確定］を押す
全件転送／1件転送
● ［1件］の場合は、続けてアドレスを選び、機能/確定（機能/確定）を押します。
● ［全件］の場合は、続けて［はい］を選びます。
終了

5
オプションサービス

## ●いろいろな登録をする

### Eメール設定画面を表示する

**1**

αEメール

［αEメール］を押す

◆自局アドレス選択
brothertaro@ae1.dion.ne.jp
brotherkentaro@ae1.dion.ne.jp
brothermiyoko@ae1.dion.ne.jp
戻る　サインアップ　確定

**2**

自分のアドレスを選び、［確定］を押す

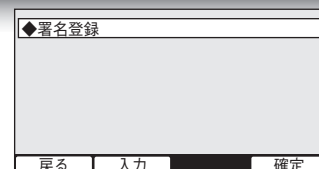
● パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。

### 署名を登録する

自分の名前などを署名として登録しておくと、送信メール作成時に本文に自動的に署名が挿入されます。

「Eメール設定画面を表示する」の1～3の操作を行います

**4**

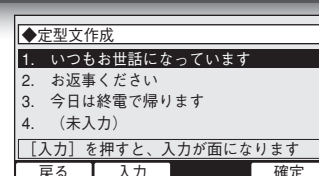
〈署名登録〉を選び、［確定］を押す

### 定型文を登録する

よく使う文章を定型文として10個まで登録して何度でも使用できます。

「Eメール設定画面を表示する」の1～3の操作を行います

**4**

〈定型文作成〉を選び、［確定］を押す

◆定型文作成
1. いつもお世話になっています
2. お返事ください
3. 今日は終電で帰ります
4. （未入力）
［入力］を押すと、入力が面になります
戻る　入力　確定

● 消去（消去）を押すと、登録されている定型文を削除できます。

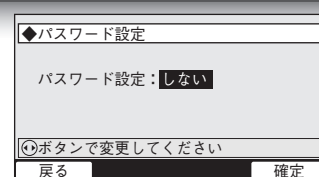
### パスワードを設定する

Eメール機能に関してパスワードを設定しておくことができます。パスワードを設定しておくと、パスワードを知っている本人以外がメール機能を使用できなくなります。

「Eメール設定画面を表示する」の1～3の操作を行います

**4**

〈パスワード設定〉を選び、［確定］を押す

◆パスワード設定
パスワード設定：しない
ボタンで変更してください
戻る　確定

### 添付受信の設定をする

Eメール受信時に添付ファイルを受け取るかどうかを設定しておくことができます。

「Eメール設定画面を表示する」の1～3の操作を行います

**4**

〈添付受信設定〉を選び、［確定］を押す

◆添付受信設定
添付受信：しない
ボタンで変更してください
戻る　確定

### 署名を登録する（子機）

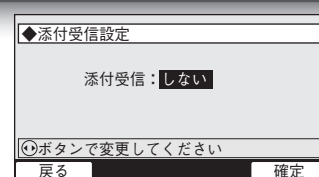
子機でも親機と同様に署名を登録しておくことができます。

**1**

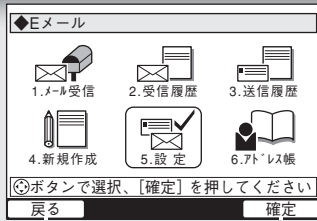
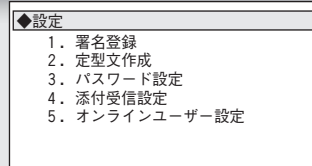
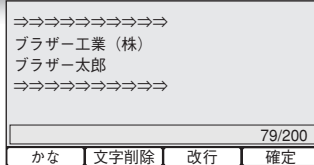
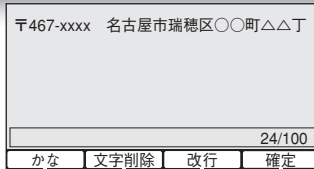
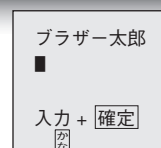
機能/確定

［機能/確定］を押す

ﾒﾆｭｰ？ ▲▼
■電話帳登録
電話帳変更
電話帳転送

**4**

「署名」を選び、［機能／確定］を押す

Eﾒｰﾙ？▼▲
■署名
戻る
ｱﾄﾞﾚｽ帳登録

5 オプションサービス

◆Eメール
1.ﾒｰﾙ受信
2.受信履歴
3.送信履歴
4.新規作成
5.設 定
6.ｱﾄﾞﾚｽ帳
ボタンで選択、[確定]を押してください
戻る
確定
3
［5.設定］を押す
◆設定
1．署名登録
2．定型文作成
3．パスワード設定
4．添付受信設定
5．オンラインユーザー設定
5
入力
［入力］を押す
● 最大入力文字数は全角100文字以内です。
6
⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒
ブラザー工業（株）
ブラザー太郎
⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒
79/200
かな 文字削除 改行 確定
確定
署名を入力し、［確定］を押す
● 文字の入れかた ☞ 21ページ
7
確定
［確定］を押す
終了
5
入力
［入力］を押す
● 最大入力文字数は全角50文字以内です。
6
〒467-xxxx 名古屋市瑞穂区○○町△△丁
24/100
かな 文字削除 改行 確定
確定
定型文を入力し、［確定］を押す
● 定型文はメール本文中で ◯（保留/子機）を押すと挿入することができます。
7
確定
［確定］を押す
終了
5
確定
「する」を選び、［確定］を押す
しない／する
● 自局アドレス（最大3つ）それぞれにパスワード設定ができます。
● パスワードはサービス開始時は「0000」に設定されていますが、お好きな番号に変更できます。
（パスワードを変更する ☞ 97ページ）
終了
5
確定
「する」を選び、［確定］を押す
しない／する
終了
2
機能/確定
「Eメール」を選び、［機能/確定］を押す
Eﾒｰﾙ？ ▼▲
■登録
戻る
メール受信
3
機能/確定
「登録」を選び、［機能/確定］を押す
Eメール？▼▲
■ｱﾄﾞﾚｽ帳登録
ｱﾄﾞﾚｽ帳変更
ｱﾄﾞﾚｽ帳転送
5
機能/確定
アドレスを選び、［機能/確定］を押す
● パスワードが設定されているときは、ここで入力します。
● 署名入力画面が表示されます。
6
ブラザー太郎
入力 + 確定
かな
機能/確定
署名を入力し、［機能/確定］を押す
● 文字の入れかた ☞23ページ
● 入力文字数は全角99文字以内です。
終了


5
オプションサービス

## ●ユーザー設定をする

α-E メールでは、さらにメールの自動受信やメールアドレスの変更など、いろいろな設定をすることができます。（ユーザー設定には接続料がかかります。）ユーザー設定をすると、KDDI より“「α-E メール」設定変更完了のご案内”がメールで届きます。

ユーザー設定をするためにKDDIのセンターに接続します。

**1**

α-Eメールを押す

◆自局アドレス選択
brothertaro@ae1.dion.ne.jp
brotherkentaro@ae1.dion.ne.jp
brothermiyoko@ae1.dion.ne.jp
戻る　サインアップ　確定

● アドレスを選択する画面が表示されます。

**2**

アドレスを選び、［確定］を押す

● 複数のアドレスを設定しているときは、自分のアドレスを選択します。

**4**

〈5.オンラインユーザー設定〉を選び、［確定］を押す

接続中です

● KDDIのα-Eメールサービスに接続されます。

◆接続中
パスワードを入力してください。
（設定していない場合は0000です。）

### 着信通知

KDDIのセンターから、着信通知メールを受け取れます（通信料無料）。※1

● お買い上げ時は「ON」に設定されています。

センターへ接続する の1～5の操作を行います

**6**

「1.着信通知」を確認し、［1］→［確定］を押す

◆接続中
着信通知の設定を行ないます。
ご確認のうえ、番号を選択してください。
1．ON
2．OFF
0．メニューに戻る

### メールの自動受信

KDDIのセンターが受け取ったメールを、自動で本機にダウンロードします。※2

● お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

センターへ接続する の1～5の操作を行います

**6**

「2.メール自動受信」を確認し、［2］→［確定］を押す

◆接続中
メール自動受信の設定を行ないます。
…
番号を選択してください。
1．ON
2．OFF
0．メニューに戻る

### メールアドレスの変更

メールアドレスにニックネームを使用していないときに、電話番号アドレスをニックネームアドレスに変更できます。（変更できるのは1回のみ）

● 登録できるニックネームの文字数は15文字以内です。

センターへ接続する の1～5の操作を行います

**6**

「3.メールアドレス変更」を確認し、［3］→［確定］を押す

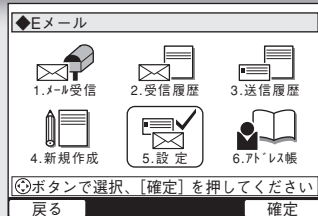
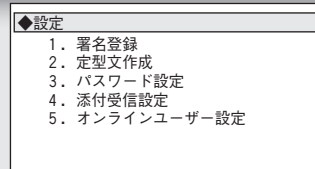
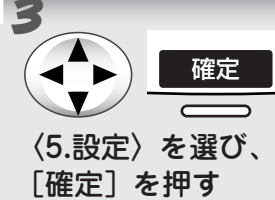
◆接続中
メールアドレスの変更を行ないます。
…
ご確認のうえ、番号を選択してください。
1．変更する
0．メニューに戻る

**10**

［1.登録する］を選び、［確定］を押す

● ニックネームを訂正するときは、［2.訂正する］を選びます。
● 登録をやめるときは、［0.メニューに戻る］を選びます。

※1 着信通知を「OFF」に設定した場合は、定期的にメールの受信動作（☞ 79 ～ 80 ページ）をしてメールが届いているかどうかを確認してください。

※2 メールの自動受信を設定すると、KDDI のメールセンターからメールを受信する動作（☞ 79 ～ 80 ページ）が不要になります。（メール自動受信時の通信料は有料です。）

● α-Eメール機能を選択する画面が表示されます。

**3**

〈5.設定〉を選び、［確定］を押す

◆設定
1．署名登録
2．定型文作成
3．パスワード設定
4．添付受信設定
5．オンラインユーザー設定

● α-Eメールの設定項目が表示されます。

**5**

パスワードを入力し、［確定］を押す

● パスワードを設定していないときは、「0000」と入力します。
● 「0000」は、［0］を押すごとにの（▶）を押してカーソルを移動させ、入力します。
● 間違えたときはの（◀）を押してカーソルを戻して入力し直します。

◆接続中
設定するサービス番号を選択してください
1．着信通知
2．メール自動受信
3．メールアドレス変更
4．パスワード設定
5．拒否メールアドレスの登録

各種の設定へ

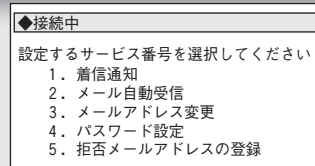
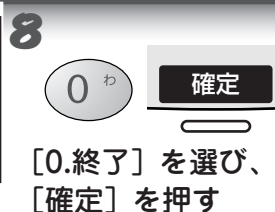
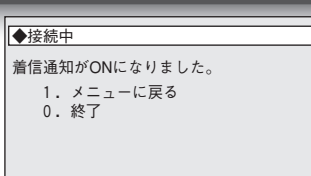
**7**

［1.ON］を選び、［確定］を押す

● 着信通知を解除するときは、［2.OFF］を選びます。

◆接続中
着信通知がONになりました。
1．メニューに戻る
0．終了

**8**

［0.終了］を選び、［確定］を押す

● 話し中などで本機が応答できなかった場合や、ブランチ接続の他機種などで応答をした場合には、次回のメール着信時に、着信通知が送られます。

終了

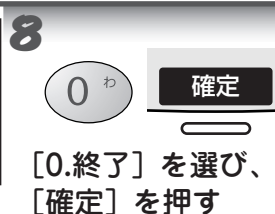
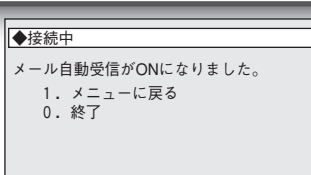
**7**

［1.ON］を選び、［確定］を押す

● メール自動受信を解除するときは、［2.OFF］を選びます。

◆接続中
メール自動受信がONになりました。
1．メニューに戻る
0．終了

**8**

［0.終了］を選び、［確定］を押す

● 話し中などで本機が応答できなかった場合や、ブランチ接続の他機種などで応答をした場合には、次回のメール着信時に、着信受信します。

終了

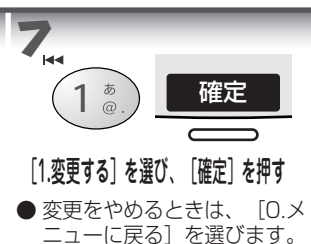
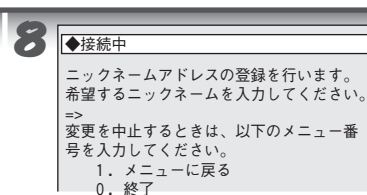
**7**

確定

［1.変更する］を選び、［確定］を押す

● 変更をやめるときは、［0.メニューに戻る］を選びます。

**8**

◆接続中
ニックネームアドレスの登録を行います。
希望するニックネームを入力してください。
=>
変更を中止するときは、以下のメニュー番号を入力してください。
1．メニューに戻る
0．終了

ニックネームを入力する

● 文字の入れかた ☞21ページ

**9**

確定

［確定］を押す

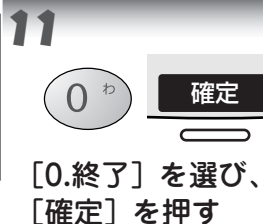
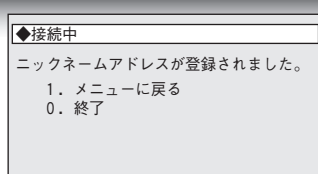
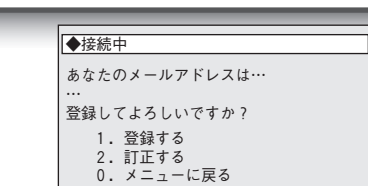
◆接続中
あなたのメールアドレスは…
…
登録してよろしいですか？
1．登録する
2．訂正する
0．メニューに戻る

◆接続中
ニックネームアドレスが登録されました。
1．メニューに戻る
0．終了

**11**

確定

［0.終了］を選び、［確定］を押す

終了

● 操作を中止するには 停止（停止）を押します。
● ユーザー設定で設定できる機能の内容や表示内容は、予告なく追加、変更されることがあります。
● 「着信通知」と「メールの自動受信」は同時にはご利用できません。

**5 オプションサービス**

## センターへ接続する

ユーザー設定をするためにKDDIのセンターに接続します。

**1** α-Eメールを押す

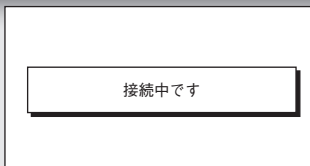
◆自局アドレス選択
brothertaro@ae1.dion.ne.jp
brotherkentaro@ae1.dion.ne.jp
brothermiyoko@ae1.dion.ne.jp
戻る　サインアップ　確定

● アドレスを選択する画面が表示されます。

**2** アドレスを選び、［確定］を押す

● 複数のアドレスを設定しているときは、自分のアドレスを選択します。

**4** 〈5.オンラインユーザー設定〉を選び、［確定］を押す

接続中です

● KDDIのα-Eメールサービスに接続されます。

◆接続中
パスワードを入力してください。
（設定していない場合は0000です。）

## パスワードの変更

パスワードを変更できます。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

センターへ接続する の1〜5の操作を行います

**6** 「4.パスワード設定」を確認し、[4]→[確定]を押す

◆接続中
パスワードの設定を行ないます。1度も設定していない場合は、「0000」になっています。ご確認の上、番号を選択してください。

**9** ［0.終了］を選び、［確定］を押す

終了

## 拒否メールアドレスの登録

受信したくないメールアドレスを登録（最大10件）しておき、メールの受信を拒否できます。※1

センターへ接続する の1〜5の操作を行います

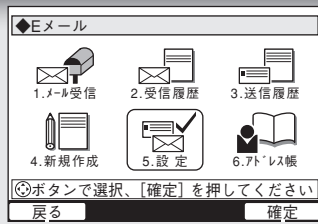
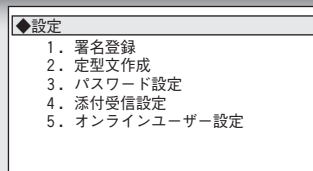
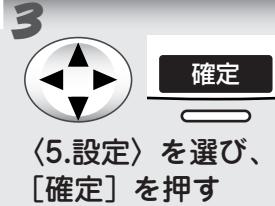
**6** 「5.拒否メールアドレス」を確認し、[5]→[確定]を押す

◆接続中
拒否メールアドレスの設定を行ないます。
…
ご確認のうえ、番号を選択してください
1．設定する
0．メニューに戻る

**9** ［0.終了］を選び、［確定］を押す

終了

● 操作を中止するには (停止)（停止）を押します。

※1 着信拒否に設定したメールアドレスには、KDDIのセンターから、「受信できない」という内容のメールが自動で送られます。

5 オプションサービス

● α-Eメール機能を選択する画面が表示されます。

**3**

確定

**〈5.設定〉を選び、［確定］を押す**

◆設定
1．署名登録
2．定型文作成
3．パスワード設定
4．添付受信設定
5．オンラインユーザー設定

● α-Eメールの設定項目が表示されます。

**5**

**パスワードを入力し、［確定］を押す**

● パスワードを設定していないときは、「0000」と入力します。
● 「0000」は、［0］を押すごとにの（▶）を押してカーソルを移動させ、入力します。
● 間違えたときはの（◀）を押してカーソルを戻して入力し直します。

◆接続中
設定するサービス番号を選択してください
1．着信通知
2．メール自動受信
3．メールアドレス変更
4．パスワード設定
5．拒否メールアドレスの登録

**各種の設定へ**

**7**

**現在のパスワードを入力し、［確定］を押す**

**8**

確定

**新しいパスワードを入力し、［確定］を押す**

◆接続中
パスワードが更新されました。
1．メニューに戻る
0．終了

**7**

**［1.設定する］を選び、［確定］を押す**

● 設定をやめるときは、［0.メニューに戻る］を選びます。

◆接続中
拒否メールアドレスを設定する場合は、メールアドレスを入力してください。
…

**8**

確定

**拒否したいアドレスを入力し、［確定］を押す**

● 文字の入れかた ☞21ページ

5 オプションサービス

## センターへ接続する

ユーザー設定をするためにKDDIのセンターに接続します。

**1** α-Eメールを押す

◆自局アドレス選択
brothertaro@ae1.dion.ne.jp
brotherkentaro@ae1.dion.ne.jp
brothermiyoko@ae1.dion.ne.jp
戻る サインアップ 確定

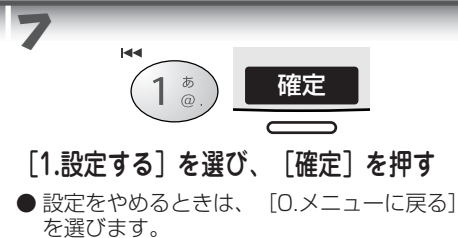
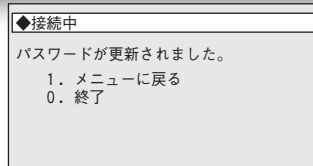
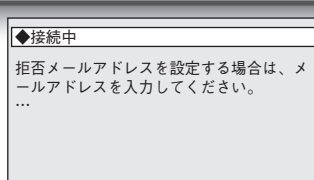
● アドレスを選択する画面が表示されます。

**2** アドレスを選び、［確定］を押す

● 複数のアドレスを設定しているときは、自分のアドレスを選択します。

**4** 〈5.オンラインユーザー設定〉を選び、［確定］を押す

接続中です

● KDDIのα-Eメールサービスに接続されます。

◆接続中
パスワードを入力してください。
（設定していない場合は0000です。）

## メールの転送設定

KDDIのセンターが受け取ったメールを、ある特定のアドレス（1件）に転送できます。※1

センターへ接続するの1〜5の操作を行います

**6** 「6.メール転送」を確認し、[6]→[確定]を押す

◆接続中
転送先を設定・変更する場合は、メールアドレスを入力してください。
転送を止める場合、または変更を中止する場合には、以下のメニュー番号を入力してください。
1．転送先解除
0．メニューに戻る

## メールの拒否時間設定

「着信通知」や「メール自動受信」を利用している場合に、センターからの通信を拒否する時間帯を設定します。
※2

センターへ接続するの1〜5の操作を行います

**6** 「7.着信拒否時間設定」を確認し、[7]→[確定]を押す

◆接続中
番号を選択してください。
1．設定
2．解除
0．メニューに戻る

**9** [0.終了］を選び、［確定］を押す

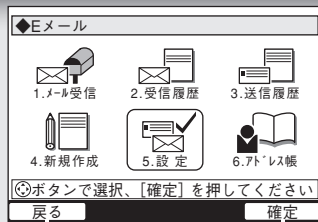
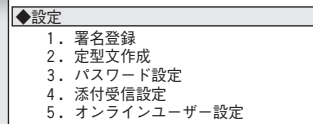
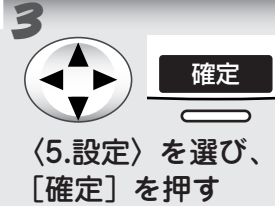
## 現在の設定

現在の設定内容をディスプレイに表示できます。

センターへ接続するの1〜5の操作を行います

**6** 「8.現在の設定確認」を確認し、[8]→[確定]を押す

◆接続中
現在の設定を表示します。
☆メールアドレス
☆パスワード
☆着信通知

● 操作を中止するには（停止）を押します。
※１ 外出中、旅行中など、本機でメールを確認できないときに便利です。
※２ 夜間など特定の時間帯に、メールの着信通知や自動受信を受けたくない場合に設定してください。「着信拒否時間」で設定した時間内にセンターに着信したメールは、次回のメール着信時に着信通知または自動受信されます。

● α-Eメール機能を選択する画面が表示されます。

**3**

〈5.設定〉を選び、［確定］を押す

◆設定
1．署名登録
2．定型文作成
3．パスワード設定
4．添付受信設定
5．オンラインユーザー設定

● α-Eメールの設定項目が表示されます。

**5**

パスワードを入力し、［確定］を押す

● パスワードを設定していないときは、「0000」と入力します。
● 「0000」は、［0］を押すごとにの（▶）を押してカーソルを移動させ、入力します。
● 間違えたときはの（◀）を押してカーソルを戻して入力し直します。

◆接続中
設定するサービス番号を選択してください
1．着信通知
2．メール自動受信
3．メールアドレス変更
4．パスワード設定
5．拒否メールアドレスの登録

各種の設定へ

**7**

転送先のアドレスを入力し、［確定］を押す

◆接続中
メールが転送されました。
番号を選択してください。
1．メニューに戻る
0．終了

**8**

［0.終了］を選び、［確定］を押す

終了

**7**

［1.設定］を選び、［確定］を押す

● 解除するときは、［2.解除］を選びます。

◆接続中
着信拒否の開始時刻と終了時刻を8桁の数字で入力してください。
時：00〜23
分：00〜59

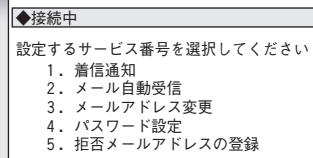
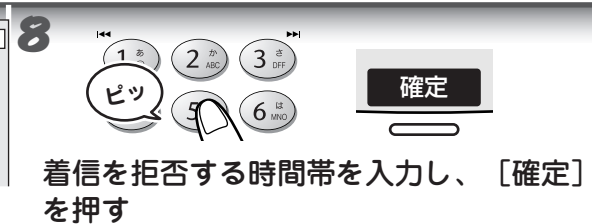
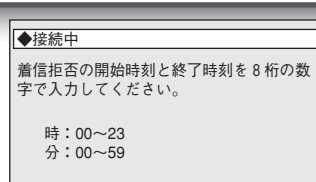
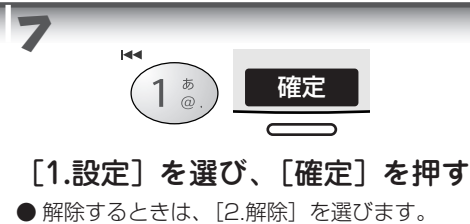
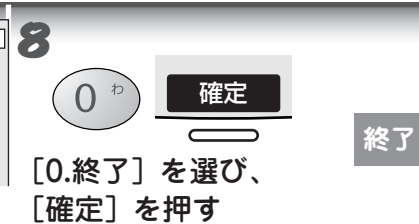
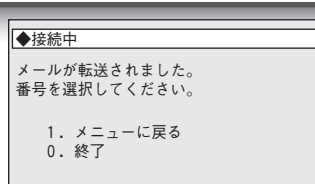
**8**

着信を拒否する時間帯を入力し、［確定］を押す

**7**

停止

［停止］を押す

終了

ユーザー設定についてご不明な点がございましたら、KDDI カスタマサービスセンターまでお問い合わせください。

KDDIカスタマサービスセンター〈α-Eメール係〉

0077-23-110096（無料）
イイメールオクロウ
受付時間　9:00 〜 21:00
（土・日・祝日も受付中）

■お客様サポートアドレス
e-mail: support@ae2.dion.ne.jp

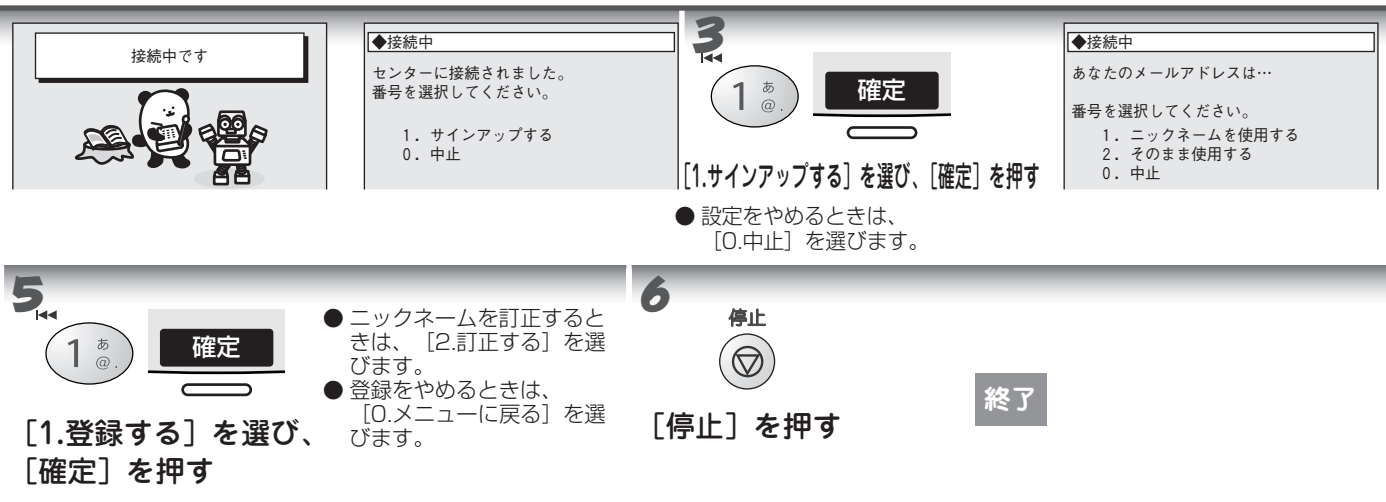
# ● メールアドレスを追加する（サインアップ）

## サインアップする

KDDIのセンターに接続し、オンラインでメールアドレスを追加登録（サインアップ）します。

● メールアドレスは2件まで追加できます。

● 本機でα-Eメールをご利用いただくには、KDDIとα-Eメールサービスの契約をする必要があります。
・登録料　100円／1メールアドレス（月額）
・接続料　10円／30秒

● 「電話番号アドレス」は1回に限り、「ニックネームアドレス」に変更できます。（☞ 95ページ）
● メールアドレスを追加すると、開通メール（Eメール）が届きます。
● 他のお客様がすでに設定しているニックネームアドレスは登録できません。ディスプレイの表示に従って、再度別のアドレスで登録してください。
● サインアップによってニックネームアドレスを取得した場合、「ユーザー設定」によるアドレスの変更（☞ 95ページ）はできません。

メールアドレスは、電源を抜いても保存されます。

abc-brother @ ae2.dion.ne.jp

アルファベット小文字（数字を含む）4〜15文字 @ ドメイン名（この部分は、当サービスにご登録いただいたお客様にKDDIから自動設定されます。）

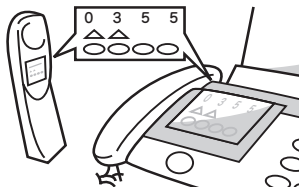
- 記号は「＿（アンダーバー）」、「ー（ハイフン）」のみ、上記内で合計2回まで使用できます。
- 1文字目は必ずアルファベット小文字としてください。
- アルファベット大文字はご使用できません。

# ナンバーディスプレイを利用する

## ●ナンバーディスプレイサービスとは

NTT が行っているサービスで、電話がかかってきたときに相手の電話番号をディスプレイに表示します。サービスの詳細についてはNTT（116 番）にお問い合わせください。

●本機の設定だけでは、「ナンバーディスプレイサービス」は利用できません。**NTT との契約が必要です。（有料）**
●ISDN 回線を利用するときは、TA（ターミナルアダプタ）のデータ設定が必要です。

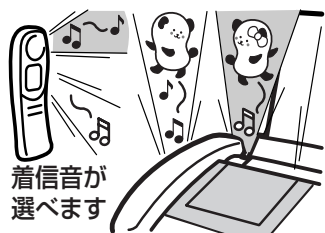
**■電話番号表示機能**
電話がかかってくると、相手の電話番号がディスプレイに表示されます。

**■名前表示機能**
親機と子機の電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前がディスプレイに表示されます。

**■着信記録機能**
電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。
記録した電話番号は次のように活用できます。
- ディスプレイに表示する
- 「着信記録」として印刷する
- 親機または子機の電話帳に登録する
- 記録した電話番号に電話をかける

着信記録は 30 件まで記録できます。31 件以上になると、古い順に消去されます。

**■迷惑電話防止機能**
迷惑電話などの受けたくない電話を、着信音が鳴らないようにすることができます。（受けたくない電話を、親機の電話帳に「着信先：迷惑指定」として登録します。☞ 31 ページ）

**■非通知着信拒否／公衆電話拒否機能**
相手の電話番号が非通知、または公衆電話の場合、着信を拒否し、お断りメッセージを流します。

**■着信音指定機能**
電話番号ごとに着信音を指定できます。
親機または子機の電話帳に電話番号を登録するときに、次の中から着信音を指定して登録します（親機：21 曲、子機 8 曲）。
- 記憶されているベル音（親機 4 種類、子機 1 種類）
- 固定メロディ（親機 5 種類、子機 3 種）
- 「えらんでメロディ」（☞ 69 ページ）や「JOYSOUND メロディ」（☞ 71 ページ）でダウンロードした曲（親機 12 種類、子機 4 種）

# ●ナンバーディスプレイサービス／着信拒否を設定する

ナンバーディスプレイサービスを利用しない時、または、利用を一時的に中止する時など下記の手順で本機の設定をします。また、ナンバーディスプレイサービスを利用しているときは、電話番号非通知の電話や公衆電話からの電話を着信しないように設定することができます。[ 着信拒否 ]
お買い上げ時は、ナンバーディスプレイ「あり」、非通知着信拒否「しない」に設定されています。

## 設定

ナンバーディスプレイサービスや着信拒否の設定をする。

- 「非通知着信拒否」はナンバーディスプレイの設定が「あり」のときのみ設定できます。
- 「公衆電話拒否」は非通知着信拒否の設定が「する」のときのみ設定できます。

**1**

［機能］→［8.各種サービス］→［1.ナンバーディスプレイ］を押す

◆ナンバーディスプレイ設定
ナンバーディスプレイ：あり
非通知着信拒否：する
公衆電話拒否：しない
⊙ボタンで変更してください
戻る　確定

**2**

- ナンバーディスプレイ あり／なし
- 非通知着信拒否 しない／する
- 公衆電話拒否 しない／する

各項目を選択、設定し、［確定］を押す

終了

## 電話がかかってくると

電話がかかってくると、相手の名前や電話番号を表示する。

### 親機の場合

**着信音が鳴り、ディスプレイに相手の名前が表示される。**

- 名前を登録していないときは、電話番号が表示されます。

田中一郎

### 子機の場合

**着信音が鳴り、ディスプレイに相手の名前が表示される。**

- 名前を登録していないときは、電話番号が表示されます。

【外線】
着信中
ブラザー花子
052123XXXX

**その他の表示**

- “非通知”：相手が電話番号非通知契約のとき、電話番号の先頭に「184」を付けて電話をかけてきたとき
- “公衆電話”：公衆電話からかけてきたとき
- “表示圏外”：相手がサービス対象地域外から電話をかけてきたとき、サービス未実施の携帯電話やPHSからかけてきたとき

## 着信拒否のとき

非通知着信拒否のときや公衆電話着信拒否のときは本機が自動的に対応し電話を切る。

- 「着信拒否」はナンバーディスプレイの設定が「あり」のときのみ設定できます。

**着信否定設定の電話がかかってくると、親機が着信音を鳴らさずに電話を受ける。**

下記のメッセージを3回再生した後、自動的に電話を切る。
・非通知着信拒否のとき：「恐れ入りますが、電話番号の前に186をつけて電話番号を通知しておかけ直しください。」
・公衆電話拒否のとき：「お客様の都合によりお受けできません。」

- ファクスの場合は、ファクスの信号を受信すると自動的に電話を切ります。

- ナンバーディスプレイサービスを利用されるときは着信音の回数を３回以上に設定してください。２回以下に設定している場合は、子機のディスプレイに相手先の電話番号が表示できないことがあります。
- ダイヤルイン（モデムダイヤルインを除く）、転送電話など同時に利用できないサービスがあります。
- ISDN回線を利用されているときは､ナンバーディスプレイ対応のTA(ターミナルアダプタ)が必要になります。
- 構内交換器に接続しているときは、ナンバーディスプレイサービスを利用できません。
- 着信モード、着信音の回数などの着信の設定に関係なく、自動的に対応します。

## ●着信記録を利用する

### 着信記録（親機）

着信記録を利用して電話をかけたり、電話帳に登録することができます。

- 操作を中止するには停止（停止）を押します。

#### 履歴を見る

**1** 
［着信記録］を押す

**2** 
着信記録を確認する

**3** 停止 
元の表示に戻すには［停止］を押す

終了

#### 電話帳に登録する

**1** 着信記録
［着信記録］を押す

◆着信記録
20）01月15日　21：40　田中一郎
19）01月15日　14：38　031234XXXX
18）01月15日　09：08　公衆電話
17）01月15日　20：15　非通知
ボタンで選択、スタートでダイヤル
印刷　登録

**2**  登録
着信記録を選び［登録］を押す

#### 履歴を削除する

**1** 着信記録
［着信記録］を押す

◆着信記録
20）01月15日　21：40　田中一郎
19）01月15日　14：38　031234XXXX
18）01月15日　09：08　公衆電話
17）01月15日　20：15　非通知
ボタンで選択、スタートでダイヤル
印刷　登録

**2** 消去
着信記録を選び［消去］を押す

#### 履歴を印刷する

**1** 着信記録
［着信記録］を押す

◆着信記録
20）01月15日　21：40　田中一郎
19）01月15日　14：38　031234XXXX
18）01月15日　09：08　公衆電話
17）01月15日　20：15　非通知
ボタンで選択、スタートでダイヤル
印刷　登録

**2** 印刷
［印刷］を押す

### 着信記録（子機）

着信記録を利用して電話をかけたり、電話帳に登録することができます。

- 操作を中止するには切を押します。
- 子機の着信履歴は印刷できません。

#### 履歴を見る

**1** キャッチ 着信記録
［着信記録］を押す

**2**
着信記録を確認する

**3** 切
元の表示に戻すには［切］を押す

終了

#### 電話帳に登録する

**1** キャッチ 着信記録
電話帳登録の電話番号入力画面で、［着信記録］を押す

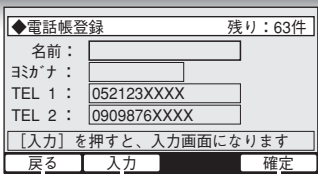
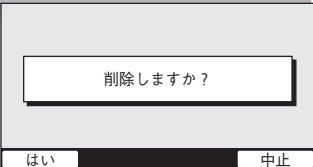
**2**  機能/確定
着信記録を選び、［機能/確定］を押す

**3**
電話帳登録を続ける

● 電話帳登録 ☞33ページ

終了

#### 履歴を全削除する

**1** 機能/確定
［機能/確定］を押す

**2**  機能/確定
「着信記録クリア」を選び、［機能/確定］を押す

全て削除？
1. する
2. しない
番号入力

5 オプションサービス

電話する
1
着信記録
［着信記録］を押す
2
着信記録を選ぶ
3
スタート
受話器をあげて［スタート］を押す
● 電話がかかります。
終了
3
◆電話帳登録
残り：63件
名前：
ﾖﾐｶﾞﾅ：
TEL 1：
052123XXXX
TEL 2：
0909876XXXX
［入力］を押すと、入力画面になります
戻る
入力
確定
登録内容を入力する
● 電話帳登録 ☞31ページ
4
確定
［確定］を押す
終了
削除しますか？
はい
中止
3
はい
［はい］を押す
終了
3
記録紙をセットする
4
開始
［開始］を押す
終了
電話する
1
キャッチ
着信記録
［着信記録］を押す
2
着信記録を選ぶ
3
外線
［外線］を押す
● 電話がかかります。
終了
履歴を削除する
1
キャッチ
着信記録
［着信記録］を押す
2
内線/クリア
保留
着信記録を選び、［クリア］を押す
終了
3
1
［1.する］を選ぶ
終了

# キャッチホンを利用する

キャッチホン／キャッチホンⅡは、NTTが行っているサービスの１つで外線通話中に別の電話やファクスを受けるためのサービスです。サービスの詳細についてはNTT（116番）にお問い合わせください。

- 「キャッチホン／キャッチホンⅡ」をご利用いただくためには、**NTTとの契約が必要です。（有料）**
- 「ダイヤルインサービス」と同時に契約することはできません。
- ISDN回線を利用されているときは、TA（ターミナルアダプタ）のデータ設定が必要です。

## キャッチホンを受ける（親機）

キャッチホンで電話やファクスを受けられます。

- 通話中の相手には保留メロディが流れます。
- （キャッチ）を押すごとに、通話相手が変わります。
- 通話中にファクスが入ったときは通話を終えてから、ファクス受信します。

### 電話の場合

**1** 声がきこえたとき

「プップッ」と聞こえたら［キャッチ］を押す

**2** 新しくかかってきた相手と通話する

### ファクスの場合

**1** 「ポーポー」ときこえたとき

「プップッ」と聞こえたら［キャッチ］を押す

**2**

［キャッチ］を押す

## キャッチホンを受ける（子機）

キャッチホンで電話やファクスを受けられます。

- 通話中の相手には保留メロディが流れます。
- （キャッチ）を押すごとに、通話相手が変わります。

### 電話の場合

**1** 声がきこえたとき

キャッチ
着信記録

「プップッ」と聞こえたら［キャッチ］を押す

**2** 新しくかかってきた相手と通話する

### ファクスの場合

**1** 「ポーポー」ときこえたとき

キャッチ
着信記録

「プップッ」と聞こえたら［キャッチ］を押す

**2**

着信記録

［キャッチ］を押す

**3**

キャッチ

**最初の相手にもどるときは［キャッチ］を押す**

終了

**3**

**最初の相手につながるので手短に通話を終える**

**4**

キャッチ

**通話が終わったら、受話器をあげたまま［キャッチ］を押す**

**5**

スタート

**［スタート］を押す**

終了

**3**

**最初の相手にもどるときは［キャッチ］を押す**

終了

**3**

**最初の相手につながるので手短に通話を終える**

**4**

**通話が終わったら［キャッチ］を押す**

- 約7秒後に、自動的にファクスを受信します。
- 親切受信が「しない」のときは、親機に電話を取り次いで、親機の受話器をあげて（スタート）を押します。

終了

- キャッチホンを受けなかったときは、相手が電話を切った後もしばらくキャッチホンの呼出音が鳴り続けることがあります。
- ファクスを受ける場合は、最初の相手に戻ってから、なるべく手短に話を終えてください。会話が長くなるとファクスが受信できなくなることがあります。
- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンを受けると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像の乱れが気になる場合は「キャッチホンII」のご利用をおすすめします。

# ダイヤルインサービスを利用する

## ● ダイヤルインサービスとは

ダイヤルインサービスは、NTT が行っているサービスの 1 つで、1 本の電話回線で、いくつかの電話番号を持つことができるサービスです。本機では 2 つの電話番号を扱うことができ、「ダイヤルインサービス」の契約を行うと、「ダイヤルインサービス」用の番号を追加指定されます。（以下、最初に NTT と契約した番号を「主番号」、追加された番号を「副番号」と呼びます。）サービスの詳細については NTT（116 番）にお問い合わせください。
お買い上げ時は「しない」に設定されています。（設定方法 ☞ 110 ページ）

- ●「ダイヤルインサービス」をご利用いただくためには、**NTT との契約が必要です。（有料）**
- ●「ダイヤルインサービス」または「i・ナンバーサービス」加入後は、サービス開始と同時に本機の「ダイヤルインサービスの設定」を行ってください。サービス開始前に本機の設定を行ったり、サービスが開始されているのに本機の設定が行われていない場合、電話が受けられないときがあります。
- ●ISDN 回線をご利用いただいている場合は、アナログポートへ着信番号データを送出できる TA（ターミナルアダプタ）が必要です。また、この場合は TA のデータ設定を行った後、本機の設定（本項）を行います。

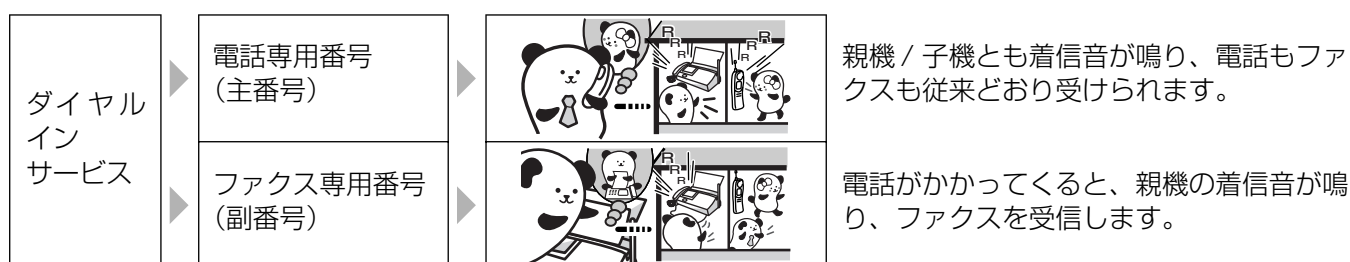
## ● ダイヤルインサービスの使いかた

本機では、この 2 つの電話番号を下記の設定で使用できます。

**■電話とファクスで別々の番号を使う**

| | | |
|---|---|---|
| ダイヤルインサービス | 電話専用番号（主番号） | 親機 / 子機とも着信音が鳴り、電話もファクスも従来どおり受けられます。 |
| | ファクス専用番号（副番号） | 電話がかかってくると、親機の着信音が鳴り、ファクスを受信します。 |

**■親機と子機で別々の番号を使う**

| | | |
|---|---|---|
| ダイヤルインサービス | 親機専用番号（主番号） | 親機のみ着信音が鳴り、電話もファクスも従来どおり受けられます。 |
| | 子機専用番号（副番号） | 子機のみ着信音が鳴り、電話を受けられます。 |

- ●ダイヤルインサービスは 1 本の電話回線を使用していますので、一方の電話番号が使われている時はもう一方の電話番号を使うことはできません。
- ●ダイヤルインサービスをご利用いただいているときは、以下に示すサービスは同時にご利用いただけません。（キャッチホン / 三者通話 / 転送電話 / 電話会議 / トーキ案内 / 二重番号）詳しくは、NTT にお問い合わせください。
- ●契約の際、PB 方式を選択した場合、電話番号（副番号）は、4 桁を指定してください。
- ●受信モードが在宅モードの着信回数「無制限」に設定されているとき、着信音は 25 回鳴ります。また、相手が通話する前に電話を切ったときでも、こちら側が受話器を取るまでは 25 回着信音が鳴り続けます（PB 方式のダイヤルインサービスのみ）。
- ●ISDN 回線をご利用いただいている場合は、アナログポートへ着信番号データを送出することができる TA が必要です。
- ●ダイヤルイン番号にかけるときは、相手につながるまでに多少の時間がかかります。（呼出音が鳴るまでに無音状態が約 8 〜 10 秒続きます。）

# ● ダイヤルインサービスの設定

ダイヤルインサービスを利用するときは、次の手順で本機の設定をします。
お買い上げ時は、ダイヤルイン「しない」に設定されています。

## ●キャッチホンディスプレイサービスを利用する

キャッチホンディスプレイサービスは、ＮＴＴ が行っているサービスの１つで、外線通話中にかかってきた相手先の電話番号をディスプレイに表示させるサービスです。サービスの詳細については ＮＴＴ（116 番）にお問い合わせください。
お買い上げ時は、キャッチホンディスプレイ「なし」に設定されています。

●本機の設定だけでは、ディスプレイに相手の電話番号は表示されません。「キャッチホンディスプレイサービス」をご利用いただくためには、「キャッチホン」または「キャッチホン II」（☞107 ページ）と「ナンバーディスプレイサービス」（☞103 ページ）を契約した上で、別途 **ＮＴＴ との契約が必要です。（有料）**
●ISDN 回線を利用されているときは、TA（ターミナルアダプタ）のデータ設定が必要です。

停止（停止）を押すと、設定をキャンセルして待ち受け画面に戻ります。

5 オプションサービス

## ● トーン信号によるサービスを利用する

本機では、トーン（PB）信号による各種サービス（銀行 ＡＮＳＷＥＲ、クレジット通話サービス、ポケットサービス、照会案内サービス案内、ホームテレホンサービスにおけるテレコントロール、留守番電話におけるリモート操作など）を利用することができます。
具体的なサービスの詳細については各種サービスの提供先にお問い合わせください。

# 6章

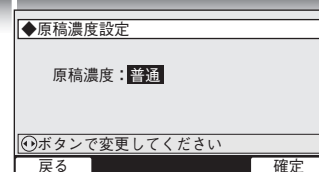
# 活用する

# 原稿に合わせて調整する

ファクス送信やコピーするときの画質や濃度を調整します。

## 濃度の調整

ファクス送信、コピーの濃度を設定します。

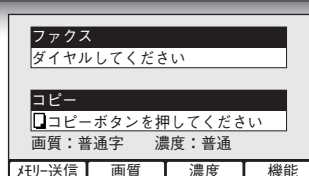
**1** ［機能］→［3.送信設定］→［3.原稿濃度］を押す

**2** 原稿濃度を選び、［確定］を押す

普通／濃く／薄く

## 原稿に合わせて画質を調整

原稿の文字の大きさや種類によって読み取る画質を選択します。

● ファクス送信、またはコピー終了後は元の設定に戻ります。

**1** 原稿を裏向きにセットする

● 原稿について　☞152ページ

**2** ［画質］を選ぶ

● 読み取る細かさを選択します。

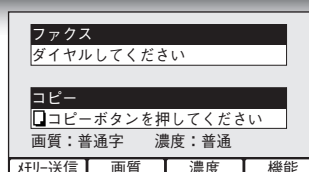
普通字／細かい字／精細字／写真

## 原稿に合わせて濃度を調整

原稿の濃さによって読み取る濃度を選択します。

● ファクス送信、またはコピー終了後は元の設定に戻ります。

**1** 原稿を裏向きにセットする

● 原稿について　☞152ページ

**2** ［濃度］を選ぶ

● 読み取る濃さを選択します。

濃く／普通／薄く

**画質調整について**

- 画質のお買い上げ時の設定は「普通字」です。
- 画質を選ぶめやすは次のとおりです。
  - ・普通字：　大きくはっきりと見える文字
  - ・細かい字：雑誌のように小さな文字
  - ・精細字：　新聞のように細かい文字
  - ・写真：　　写真やカラーの原稿
- シングルコピーのときは、「普通字」「細かい字」に設定しても「精細字」でコピーされます。
- マルチコピーのときは、「普通字」に設定しても「細かい字」でコピーされます。

# 着信音と保留音を設定する

着信したときのベル音（メロディ）と保留音を設定します。

## 着信音

着信音の鳴りかたを設定します。

● お買い上げ時は、親機「ベル1」、子機「ベル音」に設定されています。

**親機**

1 機能 7 ま PQRS 1 あ @.

［機能］→［7.メロディ設定］→［1.着信音設定］を選ぶ

◆着信音設定
着信音：メロディ4
ボタンで変更してください
戻る　確定

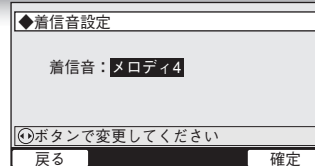
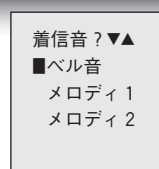
**子機**

1 機能/確定

［機能／確定]を押す

2 機能/確定

「着信音選択」を選び、［機能/確定］を押す

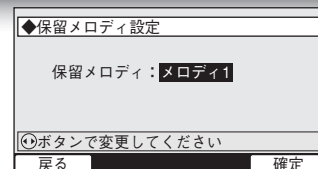
着信音？▼▲
■ベル音
メロディ 1
メロディ 2

## 保留音

保留音の鳴りかたを設定します。

● ここで設定する保留音は親機、子機共通です。
● お買い上げ時の設定は「メロディ1」です。

1 機能 7 ま PQRS 2 か ABC

［機能］→［7.メロディ設定］→［2.保留メロディ設定］を選ぶ

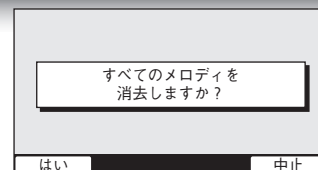
◆保留メロディ設定
保留メロディ：メロディ1
ボタンで変更してください
戻る　確定

## メロディ一括消去

ダウンロードしたすべての着信メロディを消去します。

1 機能 7 ま PQRS 4 た GHI

［機能］→［7.メロディ設定］→［4.メロディ一括消去］を選ぶ

すべてのメロディを
消去しますか？
はい　中止

**2**

**着信音を選び、［確定］を押す**

ベル1～4／メロディ1～5／曲名
（曲名はダウンロードメロディがあるときのみ）

終了

**3**

**着信音を選び、［機能／確定］を押す**

ベル音／メロディ1～3／曲名
（曲名はダウンロードメロディがあるときのみ）

終了

**2**

**保留メロディを選び、［確定］を押す**

メロディ1～5／曲名
（曲名はダウンロードメロディがあるときのみ）

終了

**2**

**すべて消去するときは［はい］を押す**

終了

- ハンズフリー着信を設定していると、着信音はお買い上げ時のベル音が鳴ることがあります。（「ハンズフリーで電話を受ける」☞ 35 ページ）
- 使用できるメロディ

| | 親機 | 子機 |
|---|---|---|
| ベル音 | ベル 1 ／ベル 2 ／ベル 3 ／ベル 4 | ベル音 |
| 固定メロディ | メロディ 1：(TSUNAMI) JASRAC<br>メロディ 2：(Energy Flow) JASRAC<br>メロディ 3：(主よ、人の望みの喜びよ)<br>メロディ 4：(花のワルツ)<br>メロディ 5：(別れの曲) | メロディ 1：(TSUNAMI) JASRAC<br>メロディ 2：(Energy Flow) JASRAC<br>メロディ 3：(主よ、人の望みの喜びよ) |
| ダウンロードメロディ（＊） | 曲名（＊） | 曲名（＊） |

（＊）「えらんでメロディ」や「JOY SOUND メロディ」からダウンロードします。親機では 12 曲、子機では 4 曲まで登録できます。（「ダウンロードメロディを利用する」☞69 ページ）

- ディスプレイには曲名が表示されます。曲名がないときはダウンロードした日付が表示されます。
- 着信音または保留音として設定されたメロディが消去されたときは、自動的にお買い上げ時のベル音、保留音に戻ります。

このボタンを示しています。

## 着信回数の設定

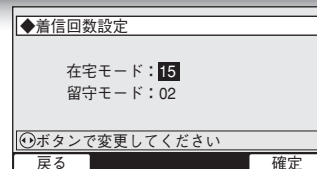
着信してから本機が応答するまでに鳴る着信回数を設定します。

● お買い上げ時は「在宅モード」15回に設定されています。

**1**

機能  

［機能］→［2.受信設定］→［1.着信回数］を押す

◆着信回数設定
在宅モード：15
留守モード：02
ボタンで変更してください
戻る　確定

## 応答メッセージの設定

留守モードのときの応答メッセージを選択します。また、在宅応答、留守応答のメッセージを再生して確認したり、新しく録音できます。

**1**

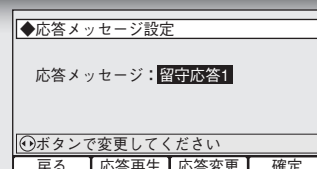
［機能］→［6.留守設定］→［1.応答メッセージ］を押す

◆応答メッセージ設定
応答メッセージ：留守応答1
ボタンで変更してください
戻る　応答再生　応答変更　確定

### 設定する

**メッセージを設定する**

「応答メッセージの設定」の1～2の操作を行います

**3** 確定

［確定］を押す

終了

### 確認する

**メッセージを確認する**

「応答メッセージの設定」の1～2の操作を行います

**3** 応答再生

［応答再生］を押す

**4**

● メッセージが再生されます。

終了

### 変更する

**メッセージを変更する**

「応答メッセージの設定」の1～2の操作を行います

**3** 応答変更

［応答変更］を押す

◆応答メッセージ編集
戻る　応答再生　応答録音　応答消去

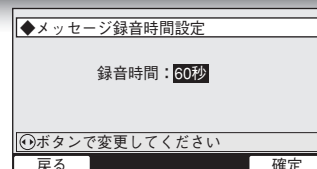
## メッセージの録音時間の設定

留守モードや通話を録音するとき、1回あたりの長さを設定します。

**1**

  2

［機能］→［6.留守設定］→［2.メッセージ録音時間］を押す

◆メッセージ録音時間設定
録音時間：60秒
ボタンで変更してください
戻る　確定

## 留守録モニターの設定

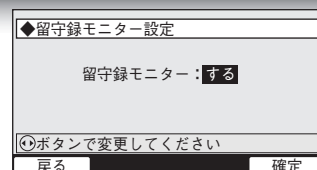
録音中の音声メッセージを本機のスピーカーホンで聞く（モニターする）かどうかを設定します。

● お買い上げ時は「する」に設定されています。

**1**

機能  3

［機能］→［6.留守設定］→［3.留守録モニター］を押す

◆留守録モニター設定
留守録モニター：する
ボタンで変更してください
戻る　確定

2
在宅モードの着信回数を選ぶ
00～15／無制限
3
〈留守モード〉を選ぶ
4
留守モードの着信回数を選ぶ
00～07／トールセーバー
5
確定
［確定］を押す
終了
2
応答メッセージの種類を選ぶ
留守応答1／留守応答2／在宅応答
● メッセージを再生して確認するときは［応答再生］を選びます。
● メッセージを消去するときは［応答消去］を選びます。
4
応答録音
［応答録音］を押す
5
受話器をとり、メッセージを録音する
6
終了したら受話器を戻す
● 録音内容が自動的に再生されます。
終了
2
録音時間を選ぶ
30秒／60秒／120秒／180秒
3
確定
［確定］を押す
終了
2
「する」を選ぶ
する／しない
3
確定
［確定］を押す
終了

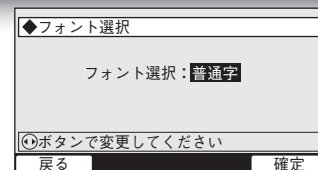
# 表示の設定をする

本体のディスプレイの設定をします。

## フォントの選択

ディスプレイと一部の印刷の書体を変更します。

- 変更できるのは全角ひらがな、全角かたかなです。
- メールを印刷するときも変更した書体で印刷されます。

1 ［機能］→［1.初期設定］→［6.フォント選択］を選ぶ

2 フォントの種類を選び、［確定］を押す

普通字／丸文字

終了

## ディスプレイの表示濃度を調整

ディスプレイの液晶を調整します。

- 親機は8段階、子機は7段階の調整ができます。

### 親機

1 ［機能］→［1.初期設定］→［8.液晶濃度］を選ぶ

◆液晶濃度設定
ボタンで変更してください
戻る　確定

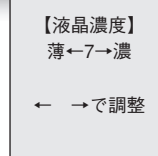
2 液晶濃度を調整する

3 ［確定］を押す

終了

### 子機

1 ［機能／確定］を押す

2 液晶濃度を選び、［機能／確定］を押す

【液晶濃度】
薄←7→濃
← →で調整

3 液晶濃度を調整する

4 ［機能／確定］を押す

終了

# モーニングメロディを設定する

## モーニングメロディ

毎日決まった時刻に指定したメロディを鳴らします。

- お買い上げ時は［しない］に設定されています。
- モーニングメロディは親機で設定します。（子機では設定できません。）

### 設定する

**1** 機能 7 3

［機能］→［7.メロディ設定］→［3.モーニングメロディ設定］を選ぶ

◆モーニングメロディ設定
設定：する
指定時刻：06時 30分
曲名：メロディ5
ボタンで変更してください
戻る　確定

**2** 「する」を選ぶ

する／しない

**3** 〈指定時刻〉を選ぶ

**4** ピッ

メロディを鳴らす時刻を指定する

- 時間は24時間制で入力します。

**5** 〈曲名〉を選ぶ

**6** 確定

メロディの種類を選び、［確定］を押す

ベル1／メロディ1〜5／曲名
（曲名はダウンロードメロディがあるときのみ）

終了

### 解除する

**1** 機能 7 3

［機能］→［7.メロディ設定］→［3.モーニングメロディ設定］を選ぶ

◆モーニングメロディ設定
設定：しない
ボタンで変更してください
戻る　確定

**2** 確定

「しない」を選び、［確定］を押す

終了

## ■ モーニングメロディ

- 指定した時刻になるとメロディが3分間鳴ります。途中でやめるときは（停止）を押します。
- モーニングメロディの指定時刻に電話、通信、設定などをしているときは操作が終了してからメロディが鳴ります。
- 電源コードを抜いたり停電になると、モーニングメロディの設定は「しない」になります。もう一度設定しなおしてください。
- 選択できるメロディ

  ベル1／メロディ1（TSUNAMI）JASRAC／メロディ2（Energy Flow）JASRAC／メロディ3（主よ、人の望みの喜びよ）／メロディ4（花のワルツ）／メロディ5（別れの曲）／曲名（＊）

  （＊）「えらんでメロディ」や「JOYSOUND メロディ」からダウンロードします。親機では12曲まで登録できます。（「ダウンロードメロディを利用する」☞ 69ページ）

# レポート、リストを印刷する

このボタンを示しています。

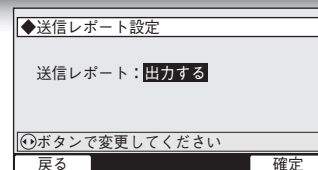
送受信の結果や設定の内容などを印刷して確認できます。

## 送信レポート

送信結果を印刷します。

1

［機能］→［5.リスト出力］→［1.送信レポート］を押す

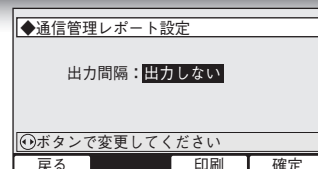
◆送信レポート設定
送信レポート：出力する
ボタンで変更してください
戻る　確定

## 通信管理レポート

最近送受信した30件分の通信結果を印刷します。

● ナンバーディスプレイ契約時は、着信先や着信音も登録できます。

1

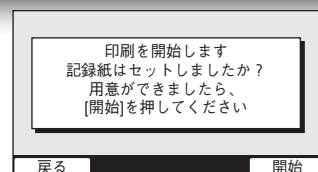
［機能］→［5.リスト出力］→［2.通信管理レポート］を押す

◆通信管理レポート設定
出力間隔：出力しない
ボタンで変更してください
戻る　印刷　確定

## 電話帳リスト

電話帳に登録された内容を印刷します。

1

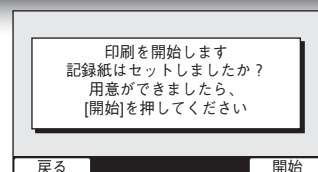
［機能］→［5.リスト出力］→［3.電話帳リスト］を押す

印刷を開始します
記録紙はセットしましたか？
用意ができましたら、
[開始]を押してください
戻る　開始

## 設定内容リスト

現在設定されている内容を印刷します。

1

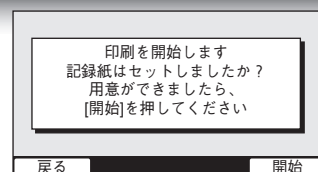
［機能］→［5.リスト出力］→［4.設定内容リスト］を押す

印刷を開始します
記録紙はセットしましたか？
用意ができましたら、
[開始]を押してください
戻る　開始

## メモリー使用状況リスト

本体のメモリー使用状況を印刷します。

1

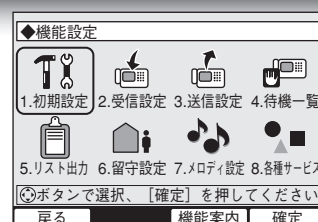
［機能］→［5.リスト出力］→［5.メモリー使用状況リスト］を押す

印刷を開始します
記録紙はセットしましたか？
用意ができましたら、
[開始]を押してください
戻る　開始

## 機能案内リスト

機能の解説や文字入力表を印刷できます。

1

機能

［機能］を押す

2 「出力する」を選ぶ

出力する／出力しない

● 「出力しない」を選ぶと、通信にエラーが起きた時だけレポートを印刷します。

3 確定 ［確定］を押す

終了

2 通信管理レポートの出力間隔を選ぶ

出力しない／6時間ごと／12時間ごと／24時間ごと／2日ごと／4日ごと／1週間ごと

3 出力する時は、開始時間を指定する

(午前7時30分)

● 時間は24時間制で入力します。

4 確定 ［確定］を押す

● すぐに出力する時は、［印刷］を選び、記録紙をセットして［開始］を押します。

終了

**1週間ごとに出力するとき**

◆通信管理レポート設定
出力間隔：1週間ごと
開始時間：00時 00分
毎週日曜日に出力します
ボタンで変更してください
戻る　印刷　確定

3 出力する曜日を選ぶ

4 確定 ［確定］を押す

● すぐに出力する時は、［印刷］を選び、記録紙をセットして［開始］を押します。

終了

2 記録紙をセットする

3 開始 ［開始］を押す

終了

2 記録紙をセットする

3 開始 ［開始］を押す

終了

2 記録紙をセットする

3 開始 ［開始］を押す

終了

2 機能案内 ［機能案内］を押す

印刷を開始します
記録紙はセットしましたか？
用意ができましたら、
[開始]を押してください
戻る　開始

3 記録紙をセットする

4 開始 ［開始］を押す

終了

6 活用する

# ユーザー辞書に登録する

## ユーザー辞書登録

変換してもすぐに出てこない単語などを登録すると、すばやく入力することができます。

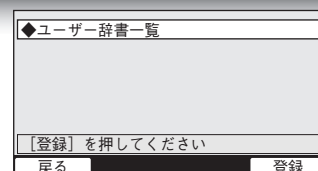
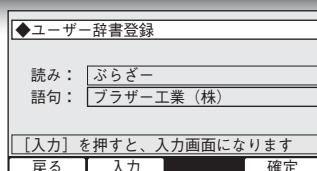
### 登録する

**1**

［機能］→［1.初期設定］→［7.ユーザー辞書登録］を押す

◆ユーザー辞書一覧
［登録］を押してください
戻る　登録

**5**

◆ユーザー辞書登録
読み：ぶらざー
語句：ブラザー工業（株）
［入力］を押すと、入力画面になります
戻る　入力　確定

［入力］を押して語句を入力し、［確定］を押す

● 文字の入れかた
☞ 21ページ

**6**

［確定］を押す

● 語句を修正するときは、読みと同様の手順で入力し直します。

### 修正する

**1**

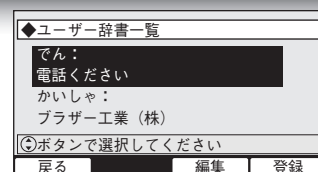
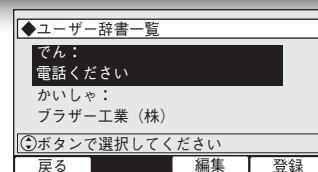
［機能］→［1.初期設定］→［7.ユーザー辞書登録］を押す

◆ユーザー辞書一覧
でん：
電話ください
かいしゃ：
ブラザー工業（株）
ボタンで選択してください
戻る　編集　登録

### 削除する

**1**

［機能］→［1.初期設定］→［7.ユーザー辞書登録］を押す

◆ユーザー辞書一覧
でん：
電話ください
かいしゃ：
ブラザー工業（株）
ボタンで選択してください
戻る　編集　登録

2
登録
［登録］を押す
3
◆ユーザー辞書登録
読み：
語句：
［入力］を押すと、入力画面になります
戻る
入力
確定
［入力］を押して読みを入力し、［確定］を押す
● 全角ひらがなが使用できます。
● 文字の入れかた ☞21ページ
4
〈語句〉を選ぶ
終了
2
編集
修正したい語句を選び、［編集］を押す
◆ユーザー辞書登録
読み： でん
語句： 電話ください
［入力］を押すと、入力画面になります
戻る
入力
確定
● ［読み］入力枠が選択されています。
「登録する」の3へ
● 修正したい項目を選び、「登録する」と同様の手順で修正します。
2
消去
消去したい語句を選び、［消去］を押す
削除しますか？
はい
中止
3
はい
［はい］を押す
● 選択した語句が削除されます。
終了

# 携帯電話を接続して利用する

## ●こんなことができます

本機は、付属の専用ケーブルを使って携帯電話と接続することで、携帯電話と電話帳データをお互いに転送（やりとり）したり、携帯電話のＥメール本文を本機に読み込んで印刷したりすることができます（特定機種のみ）。

| できること ＼ 転送方向 | 本機から携帯電話へ | 携帯電話から本機へ |
|---|---|---|
| 電話帳データの転送、表示、登録 | ○ | ○ |
| メールデータの転送、表示、印刷 | × | ○（NTT DoCoMo の特定機種のみ） |

※子機は使用できません。

## ●使用できる携帯電話一覧

本機に接続して電話帳の転送ができる携帯電話は、下記のとおりです。なお、下記のリストの＊**印のついているNTT DoCoMoのｉモード対応機種**はＥメールのデータ転送もすることができます。

| メーカー | 印 | 機種 |
|---|---|---|
| **NTT DoCoMo** | | |
| DENSO | | DE207 |
| JRC | | R203 |
| | | R206 |
| | | R207 |
| | | R208 |
| | | R209i |
| NEC | | N153 |
| | | N157 |
| | | N158 |
| | | N203 |
| | | N206 |
| | | N206s |
| | | N207 |
| | | N207S |
| | | N208 |
| | | N208s |
| | ＊ | N209i |
| | | N210i |
| | ＊ | N501i |
| | ＊ | N502i |
| | ＊ | N502it |
| | | N503i |
| | | N601ps |
| | | N811 |
| | ＊ | N821i |
| NOKIA | | NM156 |
| | | NM157 |
| | | NM206 |
| | | NM207 |
| | | NM502i |
| エリクソン | | ER207 |
| | | ER209i |
| SANYO | | SA207 |
| SONY | | SO201 |
| | | SO206 |
| | | SO207 |
| | | SO502i |
| | | SO503i |
| | | SO601ps |

| メーカー | 印 | 機種 |
|---|---|---|
| 国　際 | | KO206 |
| | | KO207 |
| | | KO208 |
| シャープ | | SH811 |
| | | SH206 |
| | | SH601em |
| | | SH821i |
| 富士通 | | F201 |
| | | F203 |
| | | F206 |
| | | F207 |
| | | F208 |
| | ＊ | F209i |
| | ※1 | F210i |
| | | F156 |
| | ＊ | F501i |
| | ＊ | F502i |
| | ＊ | F502it |
| | | F503i |
| | | F601ps |
| | | F601ev |
| 松　下 | | EB-PD500 |
| | | EB-PD365S |
| | | EB-PD370S |
| | | EB-PD375S |
| | | P153 |
| | | P156 |
| | | P157 |
| | | P158 |
| | | P201 |
| | | P202 |
| | | P203 |
| | | P205 |
| | | P206 |
| | | P207 |
| | | P208 |
| | ＊ | P209i |

| メーカー | 印 | 機種 |
|---|---|---|
| 松　下 | ＊ | P209is |
| | | P301 |
| | ＊ | P501i |
| | ＊ | P502i |
| | | P503i |
| | | P503is |
| | | P601es |
| | | P811 |
| | | P821i |
| | | P601ev |
| 三　菱 | | D201 |
| | | D203 |
| | | D206 |
| | | D207 |
| | | D208 |
| | ＊ | D209i |
| | | D210i |
| | ＊ | D501i |
| | ＊ | D502i |
| | | D503i |
| | | D601ps |
| | | D-802DH |
| 東　芝 | | TS206 |
| モトローラ | | M206 |
| **DDIセルラー** | | |
| DENSO | | HD-50DE |
| | | HD-60DE |
| SANYO | | D204SA |
| | | HD-50SA |
| | | HD-60SA |
| SONY | | D205S |
| | | HD-60S |
| 京セラ | | D201K |
| | | D206K |
| | | D207K |
| | | HD-50K |
| | | HD-51K |
| | | HD-60K |
| | | HD-61K |

| メーカー | 機種 |
|---|---|
| 東　芝 | HD-50T |
| 松　下 | D101P |
| | HD-50P |
| | HD-60P |
| | HD-61P |
| **J-PHONE** | |
| DENSO | DP194 |
| | J-DN01 |
| | J-DN02 |
| NEC | DP-114 |
| | J-N01 |
| | J-N02 |
| | J-N03 |
| NOKIA | DP-154 |
| SANYO | J-SA01 |
| | J-SA02 |
| SONY | J-SY01 |
| ケンウッド | DP-134 |
| | J-K01 |
| | J-K02 |
| | J-K03 |
| シャープ | DP203 |
| | J-SH01 |
| | J-SH02 |
| | J-SH03 |
| | J-SH04 |
| 東　芝 | DP-174 |
| | J-T01 |
| | J-T02 |
| | J-T03 |
| | J-T04 |
| パイオニア | DP-212 |
| | J-PE01 |
| | J-PE02 |
| | J-PE03 |
| 松　下 | DP-145 |
| | J-P01 |
| | J-P01 II |
| | J-P02 |

| メーカー | 機種 |
|---|---|
| 三　菱 | DP222 |
| | J-D01 |
| | J-D02 |
| | J-D03 |
| **Tu-Ka** | |
| SONY | TH271 |
| 松　下 | TH081 |
| | TK053 |
| **デジタルツーカー** | |
| DENSO | ND3 |
| | ND4 |
| SONY | S02 |
| ケンウッド | K3 |
| パイオニア | CA3 |
| | CA4 |
| 松　下 | P2 |
| | P3SW |
| | P4 |
| | P3 |
| 東　芝 | T3 |
| | T4 |
| **IDO** | |
| SANYO | 506G |
| | 525G |
| | 532G |
| SONY | 511G |
| | 534G |
| 京セラ | 508G |
| | 510G |
| | 533G |
| 松　下 | 521G |
| | 531G |
| | 537G |

※１：富士通のF210iをお使いの方は、Ｅメールデータの転送設定の機種名の選択時にF209iを選択するとＥメールのデータ転送をすることができます。

# ● 本機に携帯電話を接続する

## ⚠警告

●携帯電話接続ケーブルの接続端子部分には異物（水や金属など）が入らないようにしてください。異物が入ったまま携帯電話に接続すると、故障や火災、感電の原因になります。

●携帯電話接続ケーブルを分解、改造したり、傷つけたりしないでください。故障や火災、感電の原因になります。

●携帯電話接続ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったりすると携帯電話ケーブルの破損や故障、火災、感電の原因になります。

## ⚠注意

●携帯電話接続ケーブルは、確実に携帯電話に接続してください。しっかり接続されていないと、故障や火災、感電の原因になります。

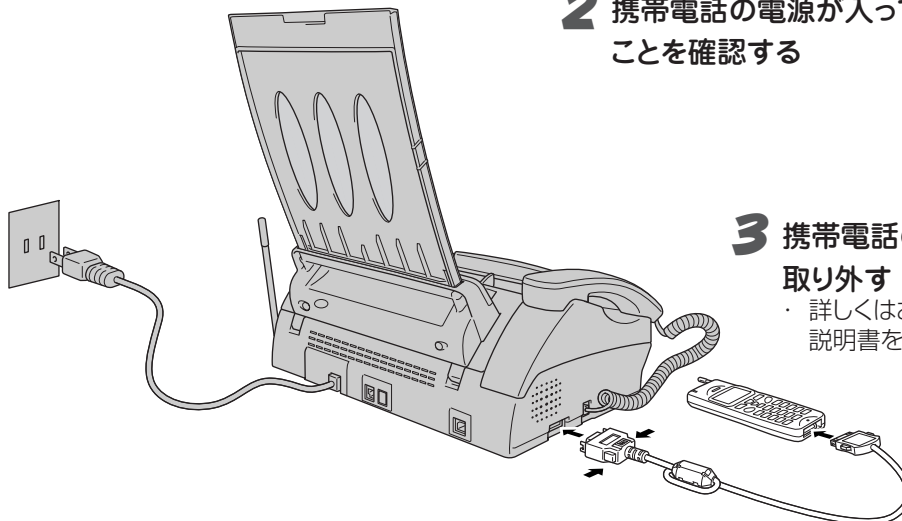
●携帯電話接続ケーブルを携帯電話から取り外すときは、携帯電話接続ケーブルのケーブル部分を引っ張らないでください。携帯電話接続ケーブルの破損や故障、火災、感電の原因になります。

●ファクス本体を動かすときは、必ず本体から携帯電話接続ケーブルと携帯電話を取り外してください。携帯電話接続ケーブルの破損や故障、火災感電の原因となります。

**1** ファクスが待ち受け画面であることを確認する

**2** 携帯電話の電源が入っていることを確認する

**3** 携帯電話の接続端子カバーを取り外す
- 詳しくはお使いの携帯電話の取扱説明書をご確認ください。

**4** 携帯電話の接続端子に、携帯電話接続ケーブルを接続する
- 携帯電話接続ケーブルの方向を間違えないようにしてください。
- 携帯電話接続ケーブルは、カチッと音がするまで差し込んでください。

**5** ファクスの接続端子に、携帯電話接続ケーブルを接続する
- 携帯電話接続ケーブルの方向を間違えないようにしてください。
- 携帯電話接続ケーブルは、奥までしっかり差し込んでください。

6 活用する

## ● 電話帳データを転送する

### 電話帳データの転送（携帯電話→親機）

携帯電話から親機へ、電話帳データを転送します。

**転送する**

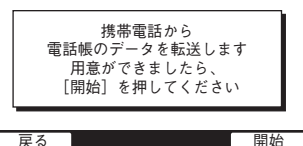
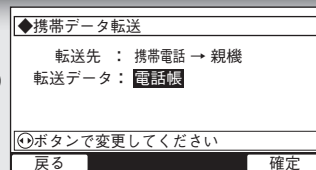
**1** 本機に携帯電話を接続する。
（☞126ページ）

**2** 機能 8 4

[機能]→[8.各種サービス]→[4.携帯データ転送]を押す

◆携帯データ転送
転送先 ： 携帯電話 → 親機
転送データ ： 電話帳
ボタンで変更してください
戻る　確定

携帯電話から
電話帳のデータを転送します
用意ができましたら、
［開始］を押してください
戻る　開始

**6** 開始

[開始]を押す。

● データの転送が開始されます

**登録する**

「転送する」の1〜6の操作を行います

**7** 電話登録

登録したいデータ選び、[電話登録]を押す

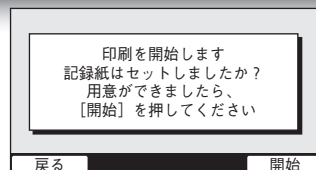
● データが登録されると転送結果一覧画面に戻ります。
● 続けてデータを登録する場合は手順7を繰り返します。
● 同じデータが既に登録されているときは、データは保存されません。

**印刷する**

「転送する」の1〜6の操作を行います

**7** 印刷

[印刷]を押す

印刷を開始します
記録紙はセットしましたか？
用意ができましたら、
［開始］を押してください
戻る　開始

### 電話帳データの転送（親機→携帯電話）

親機から携帯電話へ、電話帳データを転送します。

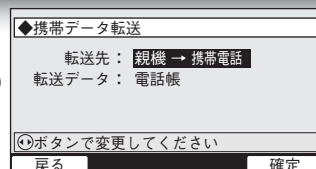
**転送する**

**1** 本機に携帯電話を接続する。
（☞126ページ）

**2** 機能

[機能]→[8.各種サービス]→[4.携帯データ転送]を押す

◆携帯データ転送
転送先 ： 親機 → 携帯電話
転送データ ： 電話帳
ボタンで変更してください
戻る　確定

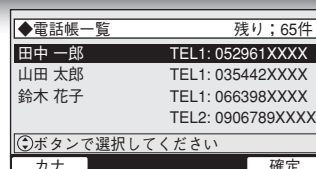
**5** 開始

［開始］を押す

● パスワードの入力が必要なときは、パスワードを入力する画面になります。携帯電話に設定している4ケタの暗証番号を入力してください。

◆電話帳一覧　残り；65件

| | |
|---|---|
| 田中 一郎 | TEL1: 052961XXXX |
| 山田 太郎 | TEL1: 035442XXXX |
| 鈴木 花子 | TEL1: 066398XXXX |
| | TEL2: 0906789XXXX |

ボタンで選択してください
カナ　確定

6 活用する

**3**

「携帯電話→親機」を選ぶ

携帯電話→親機/親機→携帯電話

**4**

〈転送データ〉を選び、「電話帳」を選ぶ

電話帳/Eメール受信BOX/Eメール送信BOX

● 「親機→携帯電話」の転送を選んだ場合は、「電話帳」のみです。

**5**

確定

[確定]を押す

● パスワードの入力が必要なときは、パスワードを入力する画面になります。携帯電話に設定している4ケタの暗証番号を入力してください。
● 転送を中止したいときは（停止）を押します。
● 転送が終了すると「ピーッ」という終了音が鳴り、転送した結果の一覧が表示されます。

| ◆携帯転送結果一覧 | 1件 - 19件 |
|---|---|
| 名前 | TEL |
| 田中一郎 | 052967XXXX |
| 山田二郎 | 035442XXXX |
| 鈴木花子 | 066398XXXX |

ボタンで選択してください
印刷　電話登録　終了

● 電話番号は携帯電話から親機に転送された順に表示されます。

● 転送された電話帳データが１００件以内のときは、名前と電話番号が一覧で表示されます。電話帳データが101件より多いときは、100件単位でデータを選ぶ画面が表示されます。(▼▲)でデータを選び［確定］を押します。

「登録する」へ

「印刷する」へ

● 転送した電話帳データのリストを印刷できます。

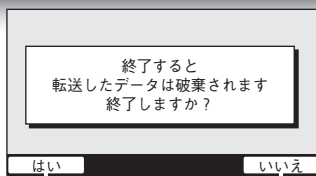
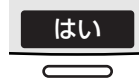
**8**

終了 / 停止

［終了］または［停止］を押す

終了すると
転送したデータは破棄されます
終了しますか？
はい　いいえ

**9**

はい

[はい]を押す

● 転送されたデータがすべて破棄され、待ち受け画面に戻ります。

終了

**8**

開始

[開始]を押す

終了

**3**

「親機→携帯電話」を選ぶ

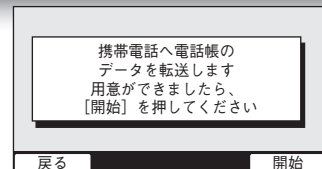
携帯電話→親機/親機→携帯電話

**4**

確定

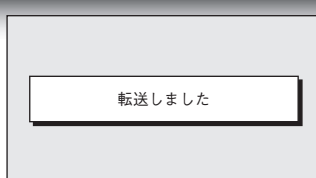
[確定]を押す

● 親機から携帯電話に転送できるのは「電話帳」データのみです。

携帯電話へ電話帳の
データを転送します
用意ができましたら、
［開始］を押してください
戻る　開始

**6**

確定

転送したい相手先を選び、［確定］を押す

転送しました

● 続けて転送するときは手順6を繰り返します。

**7**

停止

［停止］を押す

終了

6 活用する

携帯電話→親機の電話帳データの転送の場合、転送する内容がすでに転送先に登録されていても重複して登録はされませんが、親機→携帯電話への転送の場合は、転送する内容が、すでに転送先に登録されていても別の電話帳として登録されます。

# ●E メールデータを転送する

## Eメールデータの転送

携帯電話から親機へ、Eメールのデータを転送します。

● Eメール受信BOXを選択したときは、メールのタイトル(件名)、発信元、日時が一覧で表示されます。
●Eメール送信BOXを選択したときは、メールのタイトル(件名)、宛先、日時が一覧で表示されます。

### 転送する

**1** 本機に携帯電話を接続する。
（☞126ページ）

**2** 機能　8 や TUV　4 た GHI

［機能］→［8.各種サービス］→［4.携帯データ転送］を押す

◆携帯データ転送
転送先 ： 携帯電話 → 親機
転送データ ： Eメール受信BOX
ボタンで変更してください
戻る　確定

◆携帯データ転送
機種名頭文字 ： P(Panasonic)
機種名 ： P502i
ボタンで変更してください
戻る　確定

**6** 携帯電話の機種名頭文字（製造元）を選ぶ

**7** 〈機種名〉を選び、携帯電話の機種名を選ぶ

● パスワードの入力が必要なときは、パスワードを入力する画面になります。携帯電話に設定している4ケタの暗証番号を入力してください。
● 転送を中止したいときは停止（停止）を押します。
● 転送が終了すると「ピーッ」という終了音が鳴ります。

◆携帯転送結果一覧　1件 - 99件

| タイトル | 発信元 | 日時 |
|---|---|---|
| 待ち合わせ場所 | tanakaichiro | 03/15 |
| 4/7の打ち合わせ | yamadajiro@ | 03/15 |
| 引越しました | suzukihanako | 03/15 |

ボタンで選択してください
一括印刷　印刷　表示　終了

● 転送されたメールデータが100件以内のときは、一覧で表示されます。メールデータが101件より多いときは、100件単位でデータを選ぶ画面が表示されます。(▼▲)でデータを選び［確定］を押します。

### 表示する

**10** 表示

表示したいメールを選び、［表示］を押す

From: brothertaro@ae1.dion.ne.jp
To: tanaka ichiro@XXX.ne.jp
Subject: お花見のお知らせ

そろそろ暖かくなってきましたがいかがお
戻る　前　次　印刷

### 印刷する

**10** 印刷

印刷したいメールを選び、［印刷］を押す

印刷を開始します
記録紙はセットしましたか？
用意ができましたら、
［開始］を押してください
戻る　開始

**11** 開始

［開始］を押す
● 選択したメールを印刷できます。

終了

### 一括印刷する

**10** 一括印刷

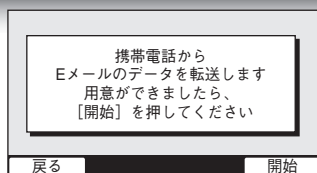
［一括印刷］を押す

印刷を開始します
記録紙はセットしましたか？
用意ができましたら、
［開始］を押してください
戻る　開始

**11** 開始

［開始］を押す

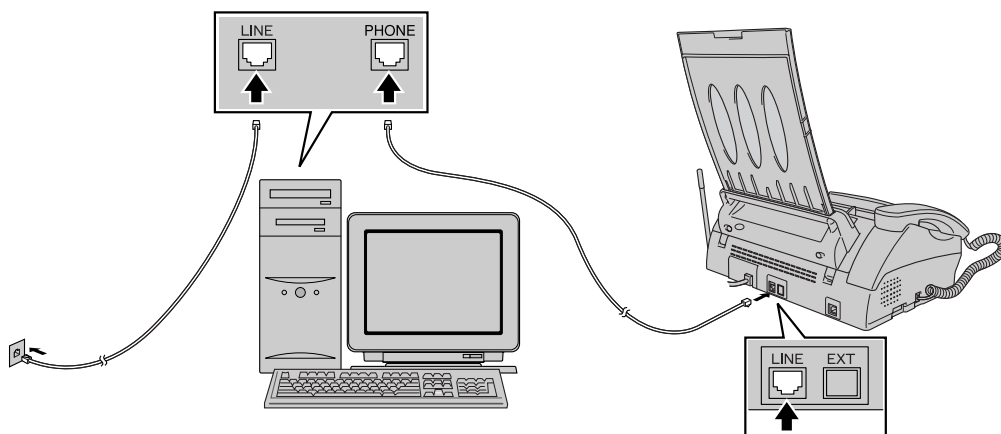
終了

● Eメールデータの転送は、NTT DoCoMoのｉモード対応の特定機種のみご使用いただけます。(☞ 125ページ)
● 富士通の携帯電話をお使いの方は、転送時に、送信メールの日時の欄が空欄になります。
また、F210i をお使いの方は、転送の設定時に F209i を選択してください。

| | |
|---|---|
| 前 | 一覧リストの一つ前のメールを表示します。 |
| 次 | 一覧リストの次のメールを表示します。 |
| 印刷 | 表示中のメールを印刷します。 |
| 戻る | 携帯転送結果一覧へ戻ります。 |

# 他の機器を接続して使う場合は

## ●パソコンと接続する場合は

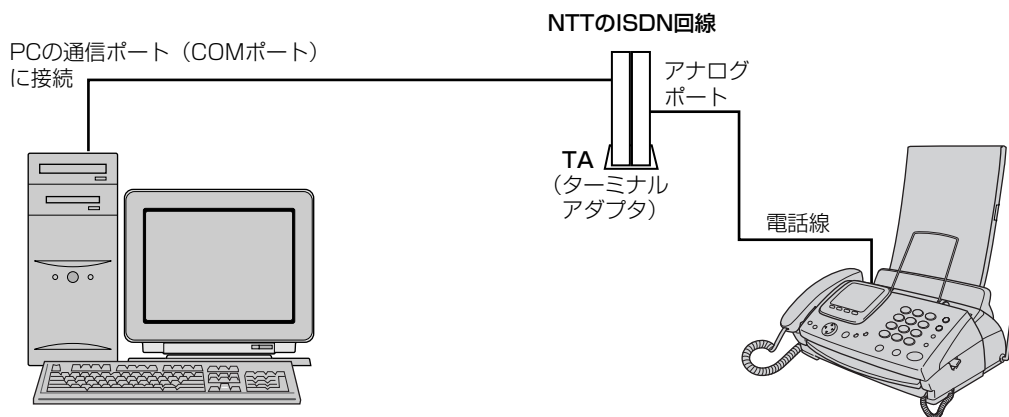
### ■ PHONE 端子を使う場合

パソコン本体に「PHONE 端子」がある場合は、一つの電話回線でパソコンと本機を下記のように接続していただくことができます。ただし、1 本の電話回線を利用していますので、同時に両方で電話回線をご利用いただくことはできません。

1 つの電話回線に複数台の電話機を接続（並列接続）すると、ナンバーディスプレイサービスやダイヤルインサービス、77 セレクティなどに不具合が発生し、誤作動の原因となりますのでおやめください。

### ■ ISDN 回線をご利用の場合

本機を ISDN 回線の TA（ターミナルアダプタ）に接続するときは、次の設定と確認を行ってください。

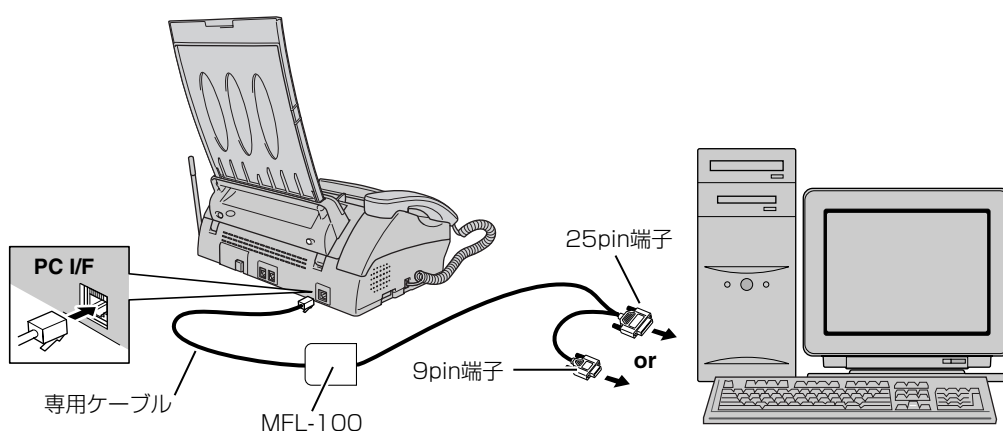
·本機： 回線種別を「プッシュ回線」に設定する

·TA： 本機を接続して電話がかけられるか、電話が受けられるか確認する

● 本機が使用できないときは、TA の設定を確認してください。TA の設定の詳細は、TA の取扱説明書をご覧いただくか、製造メーカーにお問い合わせください。

● ナンバーディスプレイサービスを契約されている場合は、TA のデータ設定と本機の設定（☞104 ページ）が必要です。

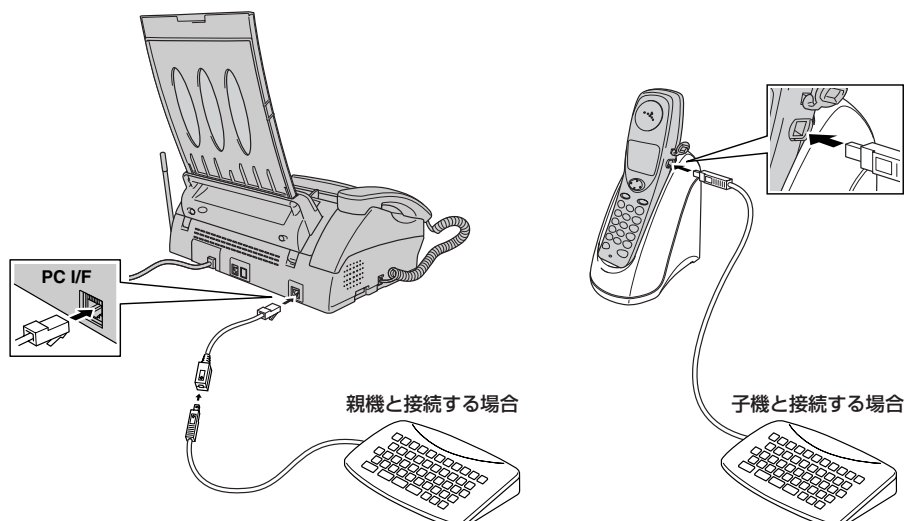
● 本機のダイヤルイン機能を利用するには、「ダイヤルインサービス」または、「i・ナンバーサービス」の契約と、アナログポートへ着信番号データを送出することができる TA が必要です。

## ■ MFL-100を使う場合

別売りのMFL-100（ブラザーマルチファンクションリンク）を使えば、本機とパソコンを接続して、パソコンからファクスを送受信できるようになります。
接続方法や設定方法などは、MFL-100の取扱説明書を参照してください。
パソコンでファクスを受信する場合は、次の設定が必要です。
※ 設定をするには、事前に専用ケーブルを接続しておく必要があります。

- MFL-100のご注文については、157ページを参照してください。
- パソコンでファクスを受信する場合は、［着信回数］を［無制限］に設定しないでください。

## ●Eメールボードと接続する場合は

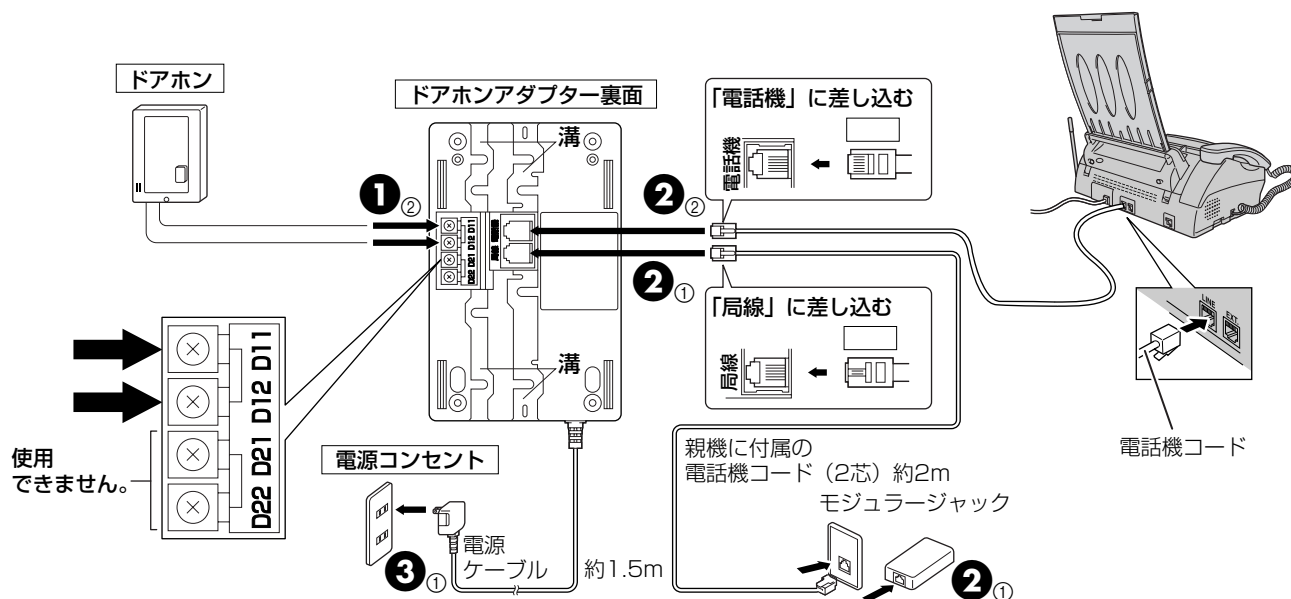
別売りのEメールボードを本機に接続すれば、ローマ字入力で文字入力ができるようになります。
Eメールボードを接続する場合は、［機能］→［2. 受信設定］→［5. パソコン接続］を押し、［パソコン接続設定］で［ファクス受信専用］に設定しておく必要があります。
接続方法や機能などの詳細は、Eメールボードの取扱説明書をご参照ください。

6 活用する

# ドアホンを使う場合は

本機と別売りのドアホン（1台）を接続すると、ドアホンからの呼出に本機で応答できます。

- ドアホンの接続と使用については必ず次の説明に従ってください。
- ドアホンの接続や使用についてのお問い合わせは､｢フリーダイヤル 0120-161170｣へお申し付けください。

## ● ドアホンを接続する

ドアホンアダプター（松下通信工業製 [VE-DA10-H]）を使用して接続します。

### 1 ドアホンの準備をする

① ドアホンアダプターの裏面のテープをはがし、壁掛け金具を外す
② ドアホン側の接続コードをドアホンアダプターに接続する

### 2 ドアホンと本体を接続する

① 本機に付属の電話機コード（2 芯）をドアホンアダプターに接続し、もう一端を、電話回線のモジュラージャックに接続する
② ドアホンアダプターに付属の電話機コード（6 芯）をドアホンアダプターに接続し、電話機コードのもう一端を、本機のモジュラージャックに接続する

### 3 接続を確認する

① ドアホンアダプターを電源コンセントに接続する
② ドアホンの呼出ボタンを押し、本機の呼出音が鳴ることを確認する

### 4 ドアホンを設置する

① コード類をドアホンアダプター裏面の溝に沿って押し込み、柱や壁などに取り付ける
➡ ドアホンアダプター取扱説明書をお読みください。

- 必ず電話機コードを接続してから、電源コンセントに接続してください。
- ノイズを防止するため、次のことをお守りください。
  - · 電話機コードを平行配線しないでください。
  - · ドアホンアダプター本体と電源ケーブルを、できるだけ本機から離してください。特に本機のアンテナと電源ケーブルは離してください。

## ■ 適合ドアホン一覧

- 製品についての詳細は、各製造メーカーにお問い合わせください。
- 下記のドアホン以外はご使用になれません。

| メーカー名 | 適合ドアホン機種名 | 適合テレビドアホン機種名 |
|---|---|---|
| 松下通信工業（株）AV システム事業部 | VL-568KA-T<br>VL-568KA-H<br>VL-568U<br>VL-V550-T<br>VL-V551-K | ソリエ　2:1 タイプ(カラーモニター親機·カラーカメラ玄関子機各 1 台)<br>VL-V161X-T（AC 直結式）<br>VL-V161KP-T（AC コード式）<br>ソリエ　1:1 タイプ(カラーモニター親機·カラーカメラ玄関子機各 1 台)<br>VL-V160X-T（AC 直結式）<br>VL-V160KP-T（AC コード式） |
| 松下寿電子工業（株） | ―――― | カラーDe 見え太 (ハンズフリー)・単局タイプ(モニター・ドアカメラ各 1 台)<br>HA-S60BK-T（電源コード付）<br>HA-S60B-T（電源コードなし）<br>カラーDe 見え太 (ハンズフリー)・多局タイプ(モニター・ドアカメラ各 1 台)<br>HA-S70BK-T<br>見え太（ハンズフリー）・単局タイプ（モニター・ドアカメラ各 1 台）<br>HA-S103BK-T<br>HA-S103B-T |

## ● ドアホンに応答する

ドアホンが押されると、本機のドアホン呼出音が鳴ります。本機の受話器を取れば、ドアホンに応答できます。

**●親機の場合**

ドアホンが押されるとドアホン呼出音が鳴り、ディスプレイに「ドアホン呼び出し中です」と表示されます。

**●子機の場合**

ドアホンが押されるとドアホン呼出音が鳴り、ディスプレイに「ドアホン」と表示されます。

- ドアホン呼出音は、ドアホンが押されている間は鳴り続けます。
- ドアホン呼出音は、着信音量が「OFF」に設定してあるときでも鳴ります。
- 親機、子機ともに、スピーカーホンでは受けられません。
- ハンズフリー着信はできません。

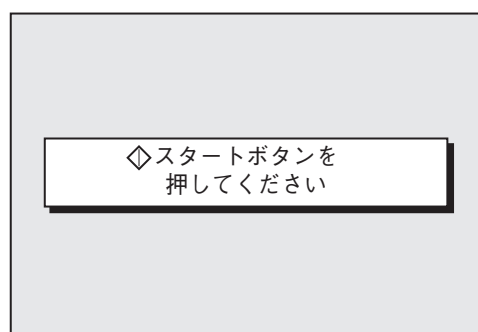
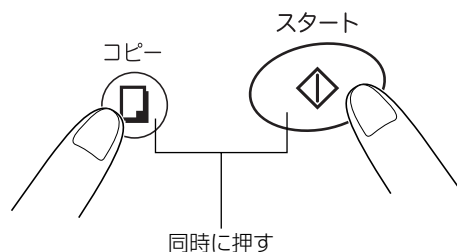
# 7章

# こんなときは

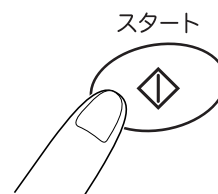
# 黒線消去をする

原稿読取部の汚れをふき取っても、コピーやファクスを送信した結果に黒い縦線が入るときは、次の操作を行ないます。（この操作は、原稿読取部の白レベルを補正する操作で、「黒線消去」と呼びます。）

**待ち受け状態で、スタート と コピー を同時に押す**

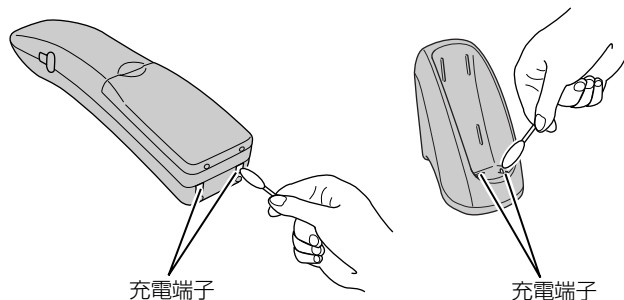
➡「ピピピーッ」という音が鳴り、「スタートボタンを押してください」と表示されます。

**スタート を押す**

➡「ピッ」という音が鳴り、黒線消去が開始されます。

➡黒線消去が終了すると、「ピーッ」という音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

黒線消去中は、すべてのボタン操作が無効になります。

## ● 本機を清掃する

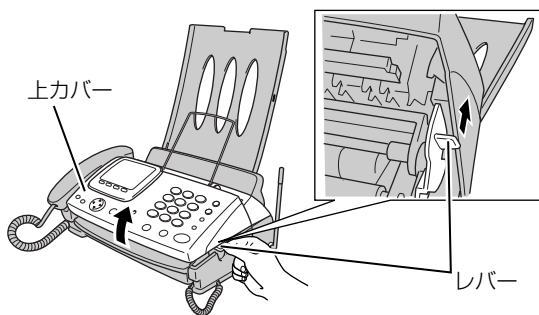
●本体は乾いた布で軽く拭いてください。

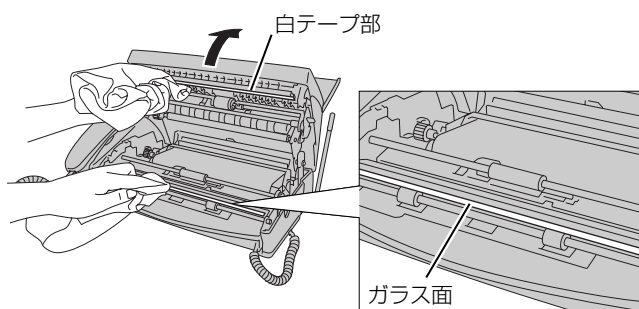
● 充電端子は定期的に綿棒などで清掃してください。子機の充電端子が汚れていると、充電できなかったり、勝手に使用中の状態になったりすることがあります。
充電端子の汚れは、必ず拭き取ってください。

## ● 原稿読取部を清掃する

読取部が汚れていると、ファクス送信時やコピー時の画質が悪くなります。きれいな画質を保つために、こまめに読取部を清掃してください。

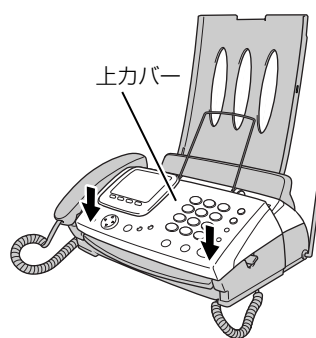
ベンジンやシンナーなどの有機溶剤、アルコールを使用をしたり、アルコールを染み込ませた布で拭いたりしないでください。

### 1 上カバーを開ける

➡右側のレバーを持って矢印の方向へ押し上げます。

### 2 白テープ部とガラス面を拭く

➡水を含ませて硬く絞った柔らかい布で拭きます。

### 3 上カバーを閉める

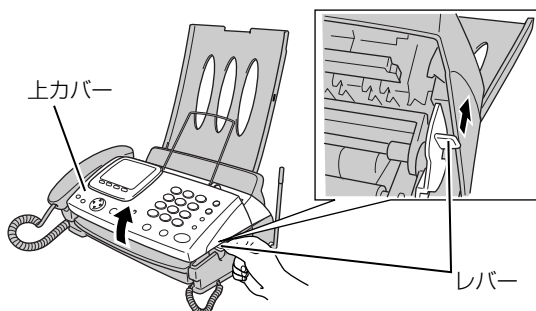
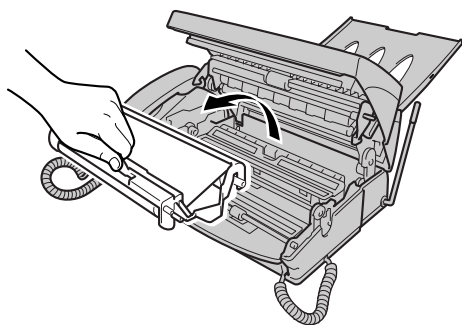
➡上カバーの両端を押して確実に閉めます。

➡正しく閉められると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されます。

### 4 「いいえ」を押す

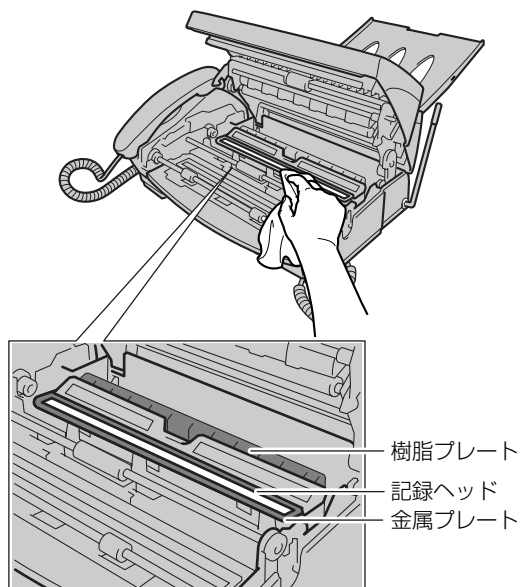
# ●記録部を清掃する

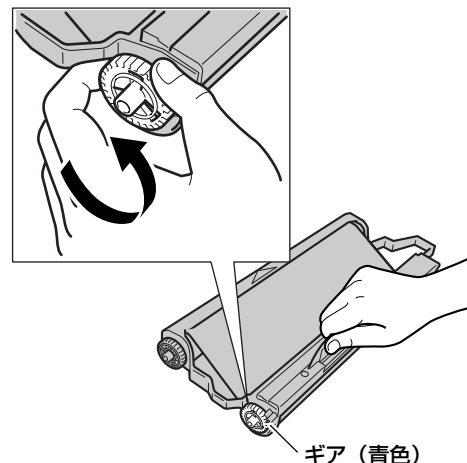
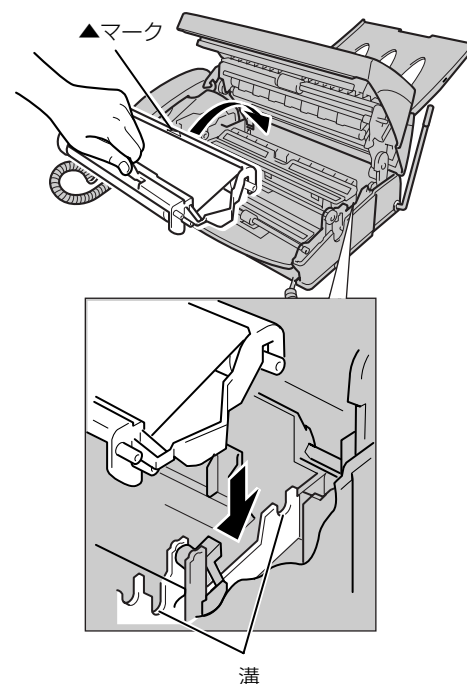
記録部が汚れていると、本機から出力された用紙に縦縞が入ることがあります。きれいな画質を保つために、こまめに記録部を清掃してください。

## 1 上カバーを開ける

➡右側のレバーを持って矢印の方向へ押し上げます。

## 2 リボンカートリッジを取り外す

## 3 記録ヘッドと金属プレートまたは樹脂プレートを拭く

➡アルコールなどを浸した柔らかい布で拭きます。

➡無水エタノール、OA クリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD 用レンズクリーナーなどを使用してください。

## 4 リボンのたるみを取る

➡青色のギアを矢印方向にゆっくり回してたるみをとります。

## 5 リボンカートリッジを本体にセットする

## 6 上カバーを閉める

➡上カバーの両端を押して確実に閉めます。

➡正しく閉められると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されます。

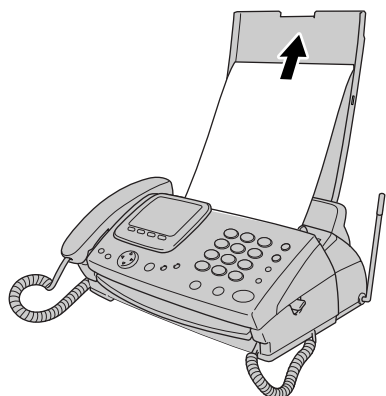
## 7 「いいえ」を押す

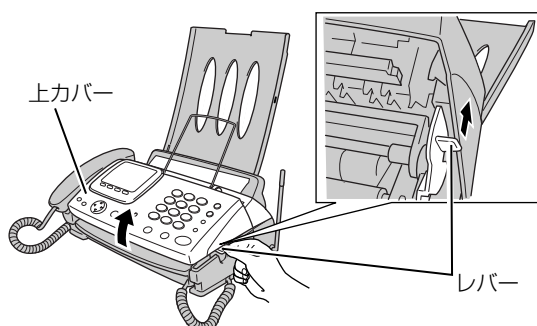
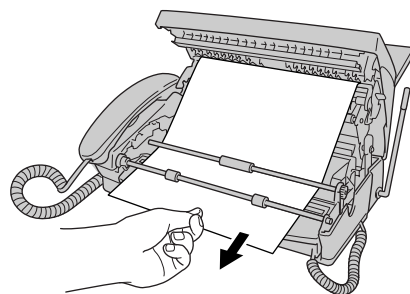
# 紙がつまったら

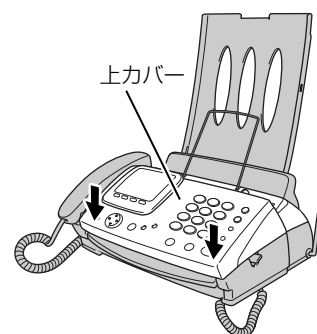
原稿や記録紙がつまると、ブザーが鳴ってディスプレイに次のメッセージが表示されます。

・「原稿を確認してください！原稿を取り除いて停止を押してください」：原稿がつまったとき
・「記録紙がつまっています！カバーを開け、記録紙を取り除いてください」：記録紙がつまったとき

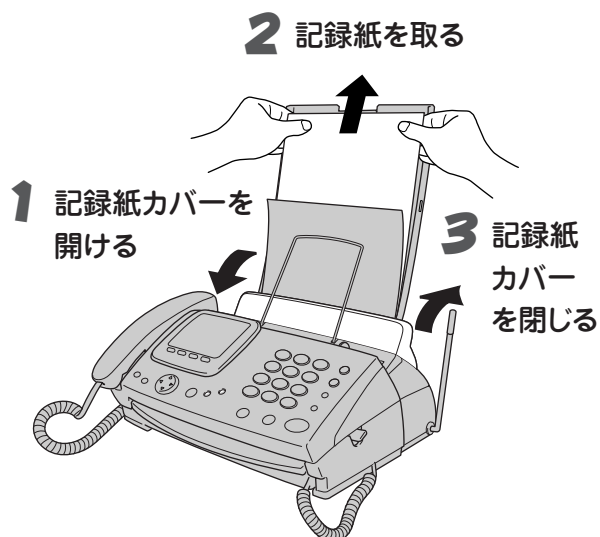
## ● 原稿がつまったときは

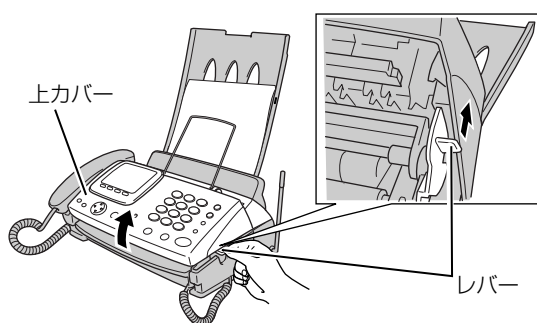
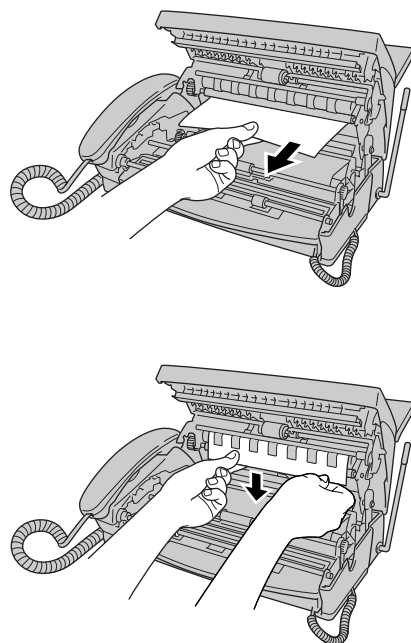
**1** 残っている原稿を取る

**2** 上カバーを開ける

➡右側のレバーを持って矢印の方向へ押し上げます。

**3** つまっている原稿を手前に引いて取り除く

**4** 上カバーを閉める

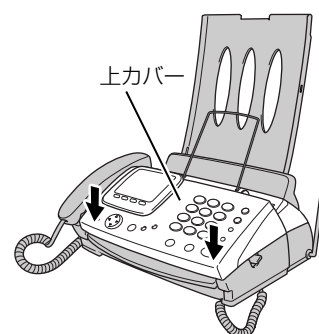
➡上カバーの両端を押して確実に閉めます。
➡正しく閉められると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されます。

**5** 「いいえ」を押す

## ●記録紙がつまったときは

**1** 記録紙カバーを開け、残っている記録紙を取る

**2** 上カバーを開ける

➡右側のレバーを持って矢印の方向へ押し上げます。

**3** つまった記録紙を矢印の方向に引いて取り除く

**4** 上カバーを閉める

➡上カバーの両端を押して確実に閉めます。

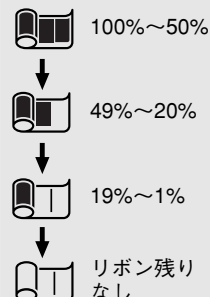
➡正しく閉められると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されます。

**5** 「いいえ」を押す

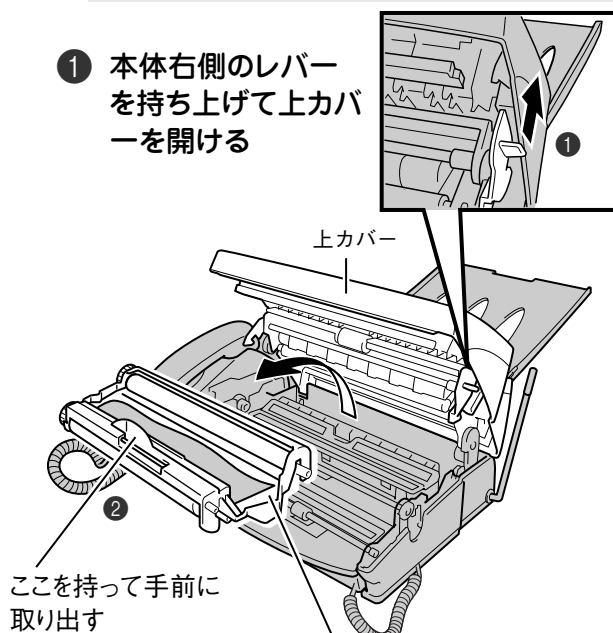
**6** 記録紙をセットし直す

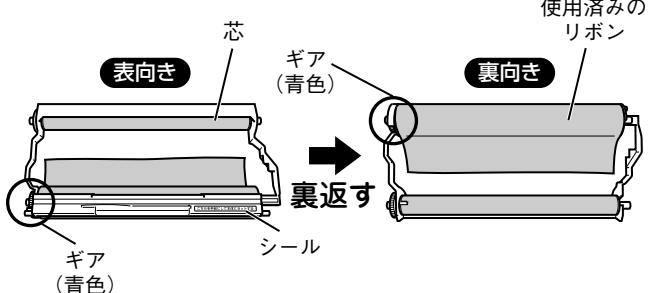
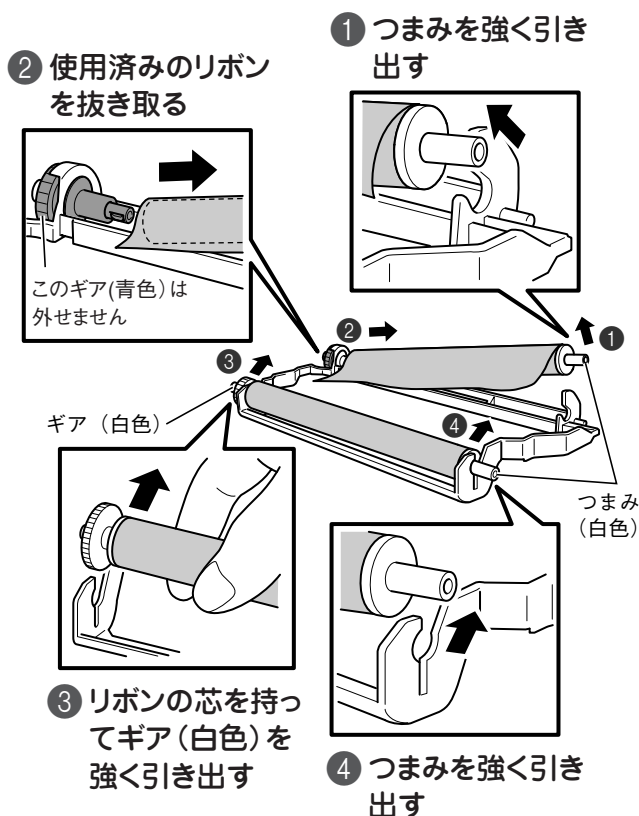
# リボンを交換する

リボンが完全になくなると、ディスプレイに「リボンがなくなりました!リボンを確認して、新しいリボンと交換してください」と表示されますので、すみやかにリボンを交換してください。「詰め替え用リボン」では、約144枚の印字が可能です。（消耗品などのご注文について☞156ページ）

- お買い上げ時には、約30枚分印字できるリボンがセットされており、そのリボンに応じたリボン残量がセットされています。
- リボンを交換したら、必ずリボンカウンタをリセットしてください。リセットしないと、誤った残量や警告が表示されることがあります。
- カバー開閉などの使用状況によって、リボン残量が少なくなることがあります。
- リボンが切れても、A4サイズの原稿で約60枚分までは本体のメモリーにファクスメッセージを記憶できます。

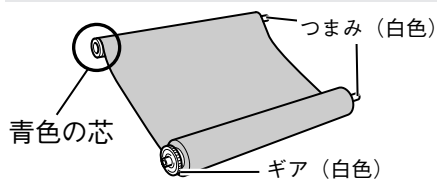
**詰め替え用リボンは当社指定品をお使いください。（☞157ページ）**
純正品のブラザーリボンをご使用いただいた場合のみ機能･品質保証されます。

## 1 上カバーを開けて、リボンカートリッジ（緑色）を取り出す

❶ 本体右側のレバーを持ち上げて上カバーを開ける

❷ リボンカートリッジを取り出す

## 2 リボンカートリッジを裏返す

## 3 使用済みのリボンを取り外す

**使用済みリボンの取扱いについて**

- ご使用の済みのリボンには印字した内容が白く残ります。
  廃棄の際には、リボンをはさみで切るなどして、印字した内容の保護にご注意ください。
- ご使用済みのリボンは市町村分別基準に基づいて廃棄してください。リボンの芯は紙、青色の芯はプラスチック（ABS）、フィルムはポリエチレンテレフタレート（PET）フィルム、つまみ・ギア（白色）はプラスチック（ポリアセタール）などでできています。

## 新しいリボンを準備する

➡ 青色の芯の位置を確認してください。

補足

新しいリボンを止めてあった輪ゴムは取り外しておきます。

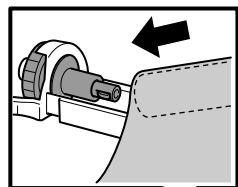
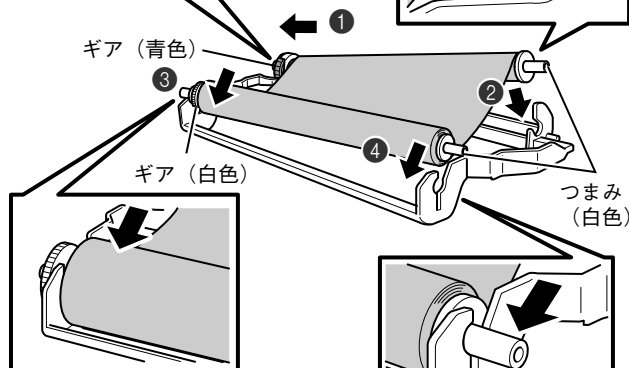
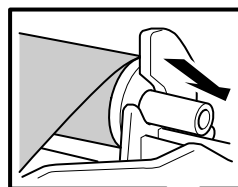
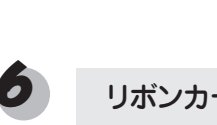
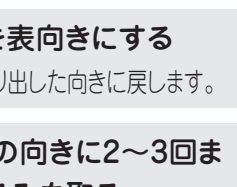
## 新しいリボンを取り付ける

❶ 青色の芯をギア（青色）に差し込む

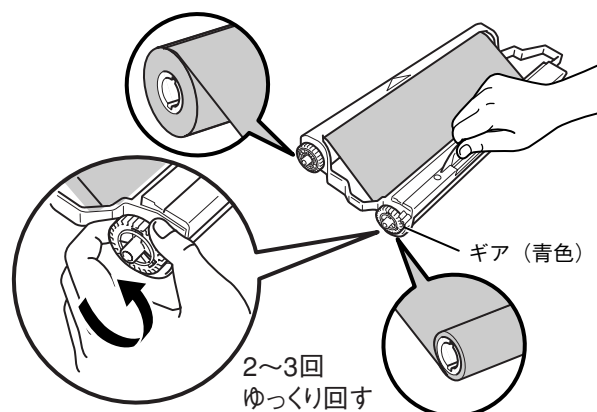
❷ つまみを溝に押し込む

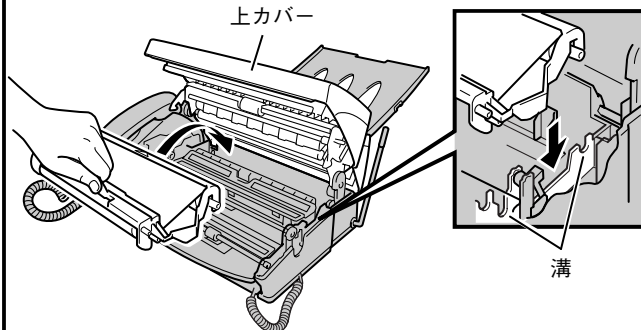
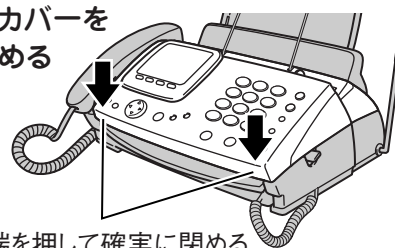
ギア（青色）

ギア（白色）

つまみ（白色）

❸ ギア（白色）を溝に押し込む

❹ つまみを溝に押し込む

## リボンカートリッジを表向きにする

➡ リボンカートリッジを取り出した向きに戻します。

## ギア（青色）を矢印の向きに2～3回まわして、リボンのたるみを取る

## リボンカートリッジを本体にセットする

❶ リボンカートリッジのギアを本体の溝に置く

❷ 上カバーを閉める

## リボンカウンタをリセットする

➡ 上カバーを閉じると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されます。

補足

1分以内にボタンが押されないときは、カウンタはリセットされません。

❶ 1分以内に「はい」を押す

「再度確認します。リボンを交換しましたか？」と表示されます。

❷ 1分以内に「はい」を押す

補足

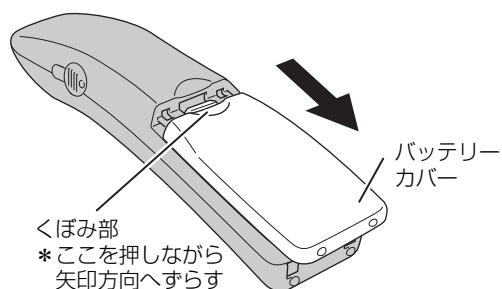
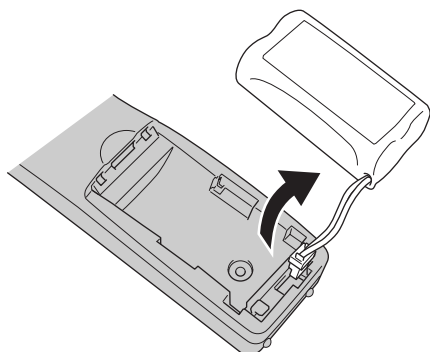
「リボン　残り　約100%」と表示され、設定が終了します。

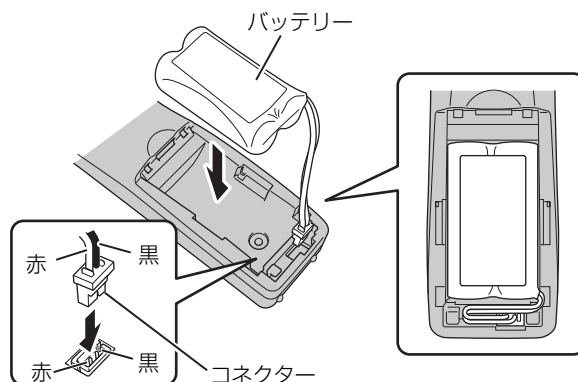
カバーを開閉するたびに、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されますが、リボンを交換しなかったときは「いいえ」を押してください。「はい」を押すと、誤ったリボン残量が表示されることがあります。

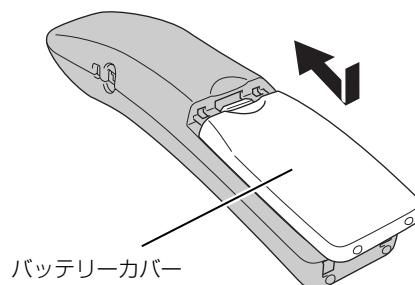
# 子機のバッテリーを交換する

子機を充電しても使える時間が短くなってきたら、バッテリーを交換してください。使用のしかたにもよりますが、約 1 年が交換時期の目安です。
交換バッテリー（型名：BCL-BT）は、本機または子機をお買い上げの販売店でお買い求めください。

## ❶ バッテリーカバーを開ける

➡バッテリーカバーのくぼみ部を押しながら、矢印の方向へずらします。バッテリーカバーの後端部を持ち上げ、バッテリーカバーを外します。

## ❷ バッテリーを取り出し、コネクターを上へ引き抜く

## ❸ 新しいバッテリーコネクターを差し込む

➡黒いコードを上側にして差し込みます。向きを間違えないように注意してください。

## ❹ バッテリーを子機に入れる

## ❺ バッテリーカバーを閉める

- **バッテリーを交換したら必ず 15 時間以上充電してください。**
- バッテリーにはニカド電池を使用しています。使用済みのニカド電池は貴重な資源です。再利用しますのでニカド電池のリサイクル協力店にお持ちください。

# エラーメッセージが表示されたら

本機や電話回線に異常があるときは、下記のようなエラーメッセージがディスプレイに表示されます。

## ■ 親機

| ディスプレイ表示 | 原因 | 処置 |
| --- | --- | --- |
| 相手先確認！ | 通信中に相手機から回線が遮断された。 | 相手先に確認して、もう一度操作してください。 |
| 通信できませんでした！ | 回線状態が悪い。 | 少し時間が経ってから、もう一度送信してください。 |
| | 相手先がポーリング送信待機状態になっていないときに、ポーリング受信の操作を行った。 | 相手先に確認して、もう一度操作してください。 |
| カバーが開いています！<br>カバーを閉めてください | 上カバーが完全に閉まっていない。 | 上カバーを完全に閉めてください。 |
| 原稿を確認してください！<br>原稿を取り除いて<br>◎停止を押してください | 下記の原因で原稿がつまっている。<br>・原稿が正しく挿入されていない<br>・原稿が正しく送信されていない<br>・原稿サイズが長い<br>・原稿受けが正しくセットされていない<br>・ハンドスキャナーが外れている | 上カバーを開いて原稿を取り除きます。上カバーを閉め、原稿の幅に原稿ガイドを合わせて正しくセットし、再度コピー、または送信し直してください。（☞ 139 ページ）<br>ハンドスキャナーが外れているときは、正しく本体にセットしてください。 |
| 装置確認！<br>カバーを開けてください | ファクシミリ本体に何らかの異常が発生した。 | 上カバーをいったん開けて、閉めてください。 |
| 話し中／応答なし | 相手が出ない。 | ファクシミリが接続されていない番号にかけたかもしれません。相手先の電話番号を確認し、再度かけ直してください。 |
| | 通信中（話し中）。 | 少し時間が経ってから、もう一度送信してください。 |
| 記録紙がつまっています！<br>カバーを開け、記録紙を<br>取り除いてください | 記録紙が記録部につまっている。 | つまった記録紙を取り除き、記録紙を正しくセットし直してください。（☞ 140 ページ） |
| 印刷できません！<br>ただ今、回復中です<br>しばらくお待ちください | 連続使用により記録部分が熱くなってる。 | しばらく待ってください。回復すると、待ち受け画面に戻ります。 |
| リボンがなくなりました！<br>リボンを確認して、<br>新しいリボンと<br>交換してください | リボンがなくなった。 | 新しいリボンと交換してください。（☞ 141 ページ） |
| ダイヤルイン設定が<br>まちがっています！<br>設定を確認してください<br>◎停止を押してください | ダイヤルインサービスの登録番号が間違っている。 | 番号を NTT に確認して、もう一度登録し直してください。（☞ 109 ページ） |
| | ダイヤルインサービスに加入していない、またはサービスが開始されていないのにダイヤルインモードの設定が「親機／子機」または「電話／ファクス」になっています。 | いったんダイヤルインモードの設定を「しない」にしてください。サービスが開始されたら、本機のダイヤルインモードの設定をしてください。（☞ 109 ページ） |

| ディスプレイ表示 | 原因 | 処置 |
|---|---|---|
| メモリーがいっぱいです！<br>ファクスや留守録を<br>削除してください<br>または<br>録音できません！<br>メモリー不足です<br>ファクスや留守録を<br>削除してください | 空きメモリーが不足している。 | 41, 50ページの手順に従って、メモリーに記憶されているメッセージを消去してください。 |
| エラーが発生しました！<br>エラー番号：＊＊＊＊<br>コールセンターへ<br>お電話ください | ファクシミリ本体に何らかの異常が発生した。 | 「フリーダイヤル0120-161170」へ連絡してください。 |
| 記録紙がありません<br>確認してください<br>［再試行］を押すと、<br>印刷を開始します | 記録紙がない。<br>記録紙カバーが開いてる。 | 記録紙をセットし、記録紙カバーを閉じてから［再試行］を押してください。 |
| パソコン接続エラー！<br>ケーブル接続、パソコンの設定を<br>確認してください<br>停止を押してください | MFL-100の専用ケーブルが正しく接続されていない | 専用ケーブルを正しく接続してください。 |
| 回線種別が<br>設定できませんでした！ | 回線種別が設定できない。 | 11ページの手順にしたがって、回線種別を設定してください。 |
| スキャナーが外れています！<br>入れ直してください<br>停止を押してください | ハンドスキャナーが外れているか、正しくセットされていない。 | ハンドスキャナーを正しくセットします。<br>(☞ 4ページ) |
| 携帯電話に接続されていません<br>または、電源が入っていません<br>確認してください | ファクシミリ本体と携帯電話が正しく接続されていないか、携帯電話の電源が入っていない。 | ファクシミリ本体と携帯電話を正しく接続してください。<br>または携帯電話の電源を入れてください。(☞ 126ページ) |

## ■ 子機

| ディスプレイ表示 | 原因 | 処置 |
|---|---|---|
| 充電<br>してください<br>＊電池残り少＊ | バッテリーがなくなった。 | 充電器に置いて充電してください。通話中にこのメッセージが出たときは、20秒以内に内線/クリア(保留)を押して充電器に置き、親機の受話器を取って通話を続けてください。 |
| 親機に<br>近付いて<br>下さい<br>＊通話圏外＊ | 通話中のコードレス子機の使用圏内（見通し距離で親機より約100m以内）を越えた。 | 15秒以内に使用圏内に戻ってください。 |
| 通信エラー<br>もう一度操作<br>をして下さい | 何らかの理由によりEメールが送信できていない、またはその他の操作ができなかった。 | もう一度「作成中メール」の中から送信できなかったメールを送信し直してください。またはもう一度操作をし直してください。 |
| 定期的に<br>充電端子を<br>拭いて下さい | 子機または充電器の充電端子が汚れている可能性がある。（ただし、充電器から子機をとり、何も操作しないまま18秒経過したときも表示されます。） | 子機および充電器の充電端子は定期的に掃除してください。(☞ 137ページ)<br>充電器に子機を戻す、または(切)を押すと表示が消えます。 |

# 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下記の項目をチェックしてください。それでも異常があるときは、「フリーダイヤル 0120－161170」へご連絡ください。

## ■ 親機／子機

| | こんなときは | ここをチェック | 対処のしかた |
|---|---|---|---|
| 電話 | 受話器から「ツー」という音が聞こえているが、ダイヤルできない | 回線種別が正しく設定されていますか。 | 回線種別を正しく設定してください。（☞11 ページ） |
| | スピーカーからの相手の声が聞き取りにくい | スピーカー音量の設定が小さくないですか。 | スピーカー音量を大きくしてください。（☞ 18 ページ） |
| | 電話のベルの音が小さい | 着信音量の設定が小さくないですか。 | 着信音量を大きくしてください。（☞ 17 ページ） |
| | 電話機からの相手の声が聞き取りにくい | 受話音量の設定が小さくないですか。 | 受話音量を大きくしてください。（☞ 18 ページ） |
| | スピーカーホン通話がうまくできない | まわりの音がうるさくないですか。 | スピーカーホン ○（スピーカーホン）を押して受話器で話してください。（子機の場合は ⊲ を押して子機を持って話してください。） |
| | ハンズフリー着信ができない（返事をしてもつながらない） | 返事が短くないですか。 | 長く返事をしてください。（☞ 35 ページ） |
| | | 返事が小さくないですか。 | 大きな声で返事をしてください。 |
| | | | 感度設定を高くしてください。（☞ 36 ページ） |
| | | 返事の声が高すぎませんか。 | 少し低い声で返事をするか、返事のしかたを変えてください。（例：おーい）（☞ 35 ページ） |
| | 電話がかかってきても応答しない／着信メロディが鳴らない | 着信回数は正しく設定されていますか。 | 受信モードに合わせて着信回数を設定します。 |
| | | 本機に電話をかけてみると「あなたと通信できる機器が接続されていません」とメッセージが流れる。 | ターミナルアダプタの設定に誤りがあります。設定を確認してください。 |
| | | 非通知着信拒否が「あり」になっていませんか。 | 非通知着信拒否の設定を「なし」に設定してください。（☞ 104 ページ） |
| | | 構内交換器に接続しているのに、ナンバーディスプレイの設定が「あり」になっていませんか。 | ナンバーディスプレイの設定を「なし」に設定してください。（☞ 104 ページ） |
| | | ダイヤルインサービスに加入していないのに、ダイヤルインの設定が「親機／子機」または「電話／ファクス」になっていませんか。 | ダイヤルインの設定を「しない」に設定してください。（☞ 110 ページ） |
| | | ドアホン通話中ではありませんか。 | ドアホン通話中は、外線からの着信があっても、着信音が鳴らないことがあります。設定を確認してください。（☞ 133 ページ） |
| | | 内線通話中ではありませんか。 | 着信をメロディに設定していると、内線通話中に外線からの着信があっても、着信音が鳴らないことがあります。設定を確認してください。（☞ 39 ページ） |
| | 受話器からダイヤルトーンが聞こえない | スピーカーホン ○（スピーカーホン）ボタンを押してください。 | |
| | | 電話機コードが正しく接続されていますか。 | ターミナルアダプタの設定に誤りがあります。設定を確認してください。 |
| | | 回線種別が正しく設定されていますか。 | 回線種別を正しく設定してください。（☞11 ページ） |

| | | こんなときは | ここをチェック | 対処のしかた |
|---|---|---|---|---|
| 電話 | キャッチホンディスプレイ | キャッチホンが入ったとき、雑音が入りキャッチホンを受けられない | キャッチホンディスプレイの設定が「なし」に設定されていませんか。 | キャッチホンディスプレイの設定を「あり」にします。(☞ 111 ページ) |
| | 子機 | 動作しない<br>着信音が鳴らない | バッテリーのコネクタが正しく接続されていますか。 | コネクタを正しく接続してください。(☞ 14 ページ) |
| | | | バッテリーの残量がなくなっていませんか。 | バッテリーの充電をしてください。(☞ 14 ページ) |
| | | | 回線種別が正しく設定されていますか。 | 回線種別を正しく設定してください。(☞ 11 ページ) |
| | | | 着信音量が「OFF」になっていませんか。 | 着信音量を「OFF」以外に設定してください。(☞ 17 ページ) |
| | | | 親機から離れすぎていませんか。 | 呼出ベルが鳴る範囲まで、(子機を)親機に近づけてください。 |
| | | | 近くに雑音が発生する家電製品がありませんか。 | 家電製品などから離してください。 |
| | | | 親機で機能の設定・登録をしていませんか。 | 設定が終わるのを待ってください。 |
| | | | 親機でコピーをしていませんか。 | コピーが終わるのを待ってください。 |
| | | | 親機のアンテナと子機用ACアダプターのコードが近くにありませんか。 | 親機のアンテナから子機用 AC アダプターのコードを遠ざけてください。(アンテナに巻き付けたり、引っかけたりしないでください。) |
| | | ハンズフリー着信設定時、設定が終了しても「練習中」が表示されている | バッテリーコネクタを差し直してください。(☞ 14 ページ) | |
| | | 連続再ダイヤルができない | まわりがうるさすぎませんか。 | もう一度連続再ダイヤルをし直してください。(☞ 29 ページ) |
| | | | | 普通の再ダイヤルでかけ直してください。(☞ 29 ページ) |
| | | 雑音が入りやすい | 親機のアンテナをのばし、向きを前後/右側に変えてみてください。 | |
| | | | 親機の置き場所や向きを変えてみてください。 | |
| | | | 親機のアンテナから子機用 AC アダプターのコードを遠ざけてください。(アンテナに巻き付けたり、引っかけたりしないでください。) | |
| | | 充電してもバッテリー警告音(ピッピッピッ…)が鳴り、ディスプレイに「充電してください。*電池残り少*」と表示される | バッテリーが消耗しています。 | 充電してください。(☞ 14 ページ) |
| | | 警告音(ピピッピピッ)が鳴り、子機外線ランプが点灯する。または親機のディスプレイに「子機使用中です」と表示される | 充電端子が汚れていませんか。 | 充電端子をきれいに拭いてください。(☞ 137 ページ) |
| | | 充電器に置いても充電中表示しない | 充電器の子機用 AC アダプターは確実に差し込まれていますか。 | |
| | | | 充電台に正しく置かれていますか。 | ディスプレイが正面に見える方向に、子機を置いてください。 |
| | | | 充電端子が汚れていませんか。 | 充電端子をきれいに拭いてください。(☞ 137 ページ) |
| | | 子機が温かい | 充電中や充電直後はバッテリーが温かくなります。故障ではありません。 | |
| | | メールを受信していないのにメールピクト✉が点灯または点滅している | 親機でメールを受信したときは、子機のディスプレイにメールピクトが残ることがあります。その場合は 80 ページの「子機で受信する」の手順 1 〜手順 4 の操作で自分のアドレスを表示させ、(切)を押して終了してください。 | |

| こんなときは | | | ここをチェック | 対処のしかた |
|---|---|---|---|---|
| 電話 | 留守番電話 | 外出先からの操作ができない | トーン信号（ピッポッパッ）が出せる電話機からかけていない。 | トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。 |
| | | メッセージが録音の途中で切れている | 録音中に 8 秒以上無音が続いた。 | メッセージを入れるときは続けて話すよう、相手に伝えてください。 |
| | | メッセージが録音できない | メモリー容量がいっぱいになっている。 | 音声メッセージを消去してください。メモリー受信したファクスや E メールがあるときは、メモリー内の不要なファクスや E メールを削除してください。 |
| | ISDN回線 | 電話がかけられない | 回線種別が「プッシュ回線」に設定されていない。 | 回線種別を「プッシュ回線」に設定してください。（☞ 11 ページ） |
| | | | 本機が接続されているアナログポートを「使用しない」に設定していませんか。 | 「使用する」に設定してください。 |
| | | 電話を受けてもベルが鳴らない | 何も接続していない空アナログポートは「使用しない」に設定してください。 | |
| | | | 契約回線番号、ダイヤルイン番号、または i・ナンバーは正しく入力されているか確認してください。 | |
| | | 本機が接続されているアナログポートに 1 ～ 2 回おきにしか着信しない | 「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。 | |
| | | 本機に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています」というメッセージが流れてつながらない | 本機を接続しているアナログポートの設定内容を確認します。 | 契約回線番号のアナログポートに本機を接続している場合、以下のように設定してください。<br>サブアドレスなし着信：「着信する」<br>HLC 設定：「HLC 設定しない」<br>識別着信：「識別着信しない」 |
| | | | | ダイヤルイン番号、または i・ナンバーのアナログポートに本機を接続している場合、以下のように設定してください。<br>ダイヤルイン番号、または i・ナンバーを登録する<br>サブアドレスなし着信：「着信する」<br>HLC 設定：「HLC 設定しない」<br>識別着信：「識別着信しない」 |
| | | | ターミナルアダプタの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認し、異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。 | |
| | | 契約回線番号のアナログポートに電話がかかってきたのに、ダイヤルイン番号、または i・ナンバーのアナログポートに接続した機器の呼出ベルも鳴る | ダイヤルイン番号、または i・ナンバーのアナログポートの設定を確認します。 | グローバル着信は「しない」に設定してください。 |
| ファクス／コピー | | 特定の相手とファクス通信できない | 「フリーダイヤル 0120-161170」へご連絡ください。 | |
| | | ファクス送受信ができない（電話も使えない） | ターミナルアダプタの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認し、異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。回線に異常がなければ、「フリーダイヤル 0120-161170」へご連絡ください。 | |
| | スタートボタンを押しても送信／受信しない | | 原稿がセットされているのに受信しようとしていませんか。 | 原稿を外して受信します。（☞ 49 ページ） |
| | | | 原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。 | 原稿を正しくセットしてください。 |
| | | | スタート（スタート）を押す前に、受話器を戻していませんか。 | スタート（スタート）を押してから受話器を戻します。（☞ 49 ページ） |
| | | | 回線種別の設定は正しいですか。 | 回線種別を正しく設定してください。（☞ 11 ページ） |

7 こんなときは

| | こんなときは | ここをチェック | 対処のしかた |
|---|---|---|---|
| ファクス／コピー | 送信後、相手から画像が乱れていると連絡があった | きれいにコピーがとれますか。 | コピーに異常があるときは読取部の清掃をしてください。（☞ 137 ページ） |
| | | 相手先に異常がありませんか。 | 相手先に確認します。 |
| | | 画質モードは適切ですか。 | 画質を調整します。（☞ 114 ページ） |
| | | キャッチホンが途中で入っていませんか。 | キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。（☞ 108 ページ） |
| | 受信／コピーしても、記録紙が出てこない | 記録紙は正しくセットされていますか。 | 記録紙、または上カバーを正しくセットします。<br>（☞ 13 ページ） |
| | | 記録紙がなくなっていませんか。 | |
| | | 上カバーは確実に閉まっていますか。 | |
| | | 記録紙がつまっていませんか。 | つまった記録紙を取り除きます。<br>（☞ 140 ページ） |
| | 受信しても、記録紙が白紙のまま出てくる | 相手側と連絡を取り、原稿を裏返しに送信していないかを確認してください。 | |
| | | コピーは正しくとれますか。 | コピーが正しくとれるか確認してください。（☞ 60 ページ） |
| | きれいに受信／コピーできない | 電話回線の接続が悪いため起こります。 | 相手にもう一度、送信し直してもらってください。 |
| | | 読取部が汚れていませんか。 | 読取部を清掃してください。<br>（☞ 137 ページ）<br>それでもきれいに印刷できないときは、黒線消去を行なってください。<br>☞ 136 ページ |
| | | 相手側の原稿に異常がありませんか（うすい、かすれなど）。 | 相手に確認し、もう一度送信し直してもらってください。 |
| | 記録紙が重なって送り込まれる | 紙をさばいて入れ直してください。（☞ 13 ページ） | |
| | B4 サイズの原稿が受信できない | 相手側の問題です。 | |
| | 構内交換器に内線接続したときに、ファクス受信できない | 内線または外線から、ファクス受信するときのベルの鳴りかたを確認し、「フリーダイヤル 0120-161170」にご連絡ください。 | |
| 原稿 | 原稿が繰り込まれていかない | 原稿受けを使用していますか。 | 原稿を正しくセットします。<br>（☞ 48 ページ） |
| | | 原稿の先が軽くあたるまで差し込んでいますか。 | |
| | | 上カバーは確実に閉まっていますか。 | |
| | | 原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。 | 使用できる原稿を確認してください。<br>（☞ 152 ページ） |
| | | 原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっていませんか。 | |
| | | 原稿が小さすぎませんか。 | |
| | | 原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。 | つまった原稿を取り除きます。<br>（☞ 139 ページ） |
| | 原稿が斜めになってしまう | 原稿ガイドを送信原稿に合わせていますか。 | 原稿を正しくセットします。<br>（☞ 48 ページ） |
| | | 原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。 | つまった原稿を取り除きます。<br>（☞ 139 ページ） |
| その他 | 電源が入らない | 電源プラグは確実に差し込まれていますか。 | 電源ランプを確実に差し込みます。（雷で電源が入らなくなったときは、有償修理になります。） |
| | E メールボードを接続しているのに親機に「パソコン接続中」と表示されている | パソコン接続の設定（[ 機能 ] → [2. 受信設定 ] → [5. パソコン接続 ]）が [ パソコン受信優先 ] または [ パソコン受信専用 ] になっていませんか。 | パソコン接続の設定を [ ファクス受信専用 ] に設定してください。<br>（☞ 132 ページ） |
| | 受信したメールの本文の前または後ろにアルファベットの文字が並んでいる | メールの送信側がメールを HTML 形式で送信していませんか。 | 送信側にテキスト形式で送信してもらってください。 |

## ■ ハンドスキャナー

| こんなときは | ここをチェック | 対処のしかた |
|---|---|---|
| 読み取りができない | ハンドスキャナー裏側のローラーにテープや異物がはさまっていませんか。 | テープや異物を取り除いてください。 |
| コピー（プリント出力）できない | 本体の記録紙がなくなっていませんか。 | 記録紙を補給してください。（☞ 13 ページ） |
| 読み取り中に スタート ボタンを押していないのに読み取りが終了してしまう | 読み取る長さが 90cm 以上になっていませんか。 | 読み取る長さが 90cm を超えると、自動的に読み取りを停止します。90cm 未満に分けて読み取ってください。 |
| | メモリーがいっぱいになっていませんか。 | 不要なデータを消去してください。（☞ 61 ページ） |
| | 読み取りに 3 分以上の時間をかけていませんか。 | 読み取り時間が 3 分を超えると、自動的に読み取りを停止します。 |
| | 読み取り中に 15 秒以上ハンドスキャナーを止めていませんか。 | ハンドスキャナーを動かさないと、自動的に読み取りを停止します。 |
| コピー／送付した文書に黒い線が出る | 原稿読み取り面のガラス面が汚れていませんか。 | 汚れを拭き取ってください。（☞ 137 ページ） |
| | 本体の記録部が汚れていませんか。 | 汚れを拭き取ってください。（☞ 138 ページ） |
| ファクス送信／プリントした文書がぼやけたり、黒くなる | ハンドスキャナーを原稿に密着させて読み取っていますか。 | 原稿に押しあてて動かしてください。ハンドスキャナーをまっすぐに動かしにくいときは、厚手の定規などを置き、それにハンドスキャナーの左端をそわせて動かしてください。（☞ 61 ページ） |
| | 原稿の上から読み取りを開始しましたか。 | 読み取りを始める時に、ハンドスキャナーの読取開始位置が読み取る原稿からはみ出していると、文書がぼやけたり、黒くなることがあります。 |
| | 正しく操作しても文書がぼやけたり黒くなったりする場合は、「黒線消去」を行ってください。（☞ 136 ページ） | |
| 読み取ったつもりの読み始めの部分が読み取られていない | 読取中ランプが点滅してからハンドスキャナーを動かしましたか。 | 読取開始位置が正しいかどうかを確認してから、ハンドスキャナーを動かしてください。（☞ 61 ページ） |
| | 厚みのある原稿の端の部分から読み取りを始めるときに、ハンドスキャナーの裏側のローラーが原稿からはずれていませんか。 | ローラーの下に原稿と同じ高さの本などを敷いて段差をなくし、ローラーが回るようにしてから読み取ってください。 |
| 読み取った文書の上下左右が反対に読み取られる | ハンドスキャナーを動かす方向が逆になっていませんか。 | ハンドスキャナーに表示されている矢印の方向に動かしてください。（☞ 61 ページ） |

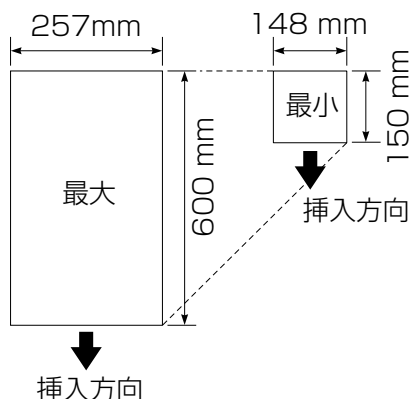
# 8章

# 付録

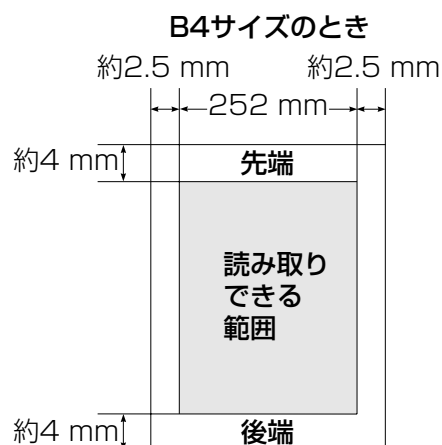
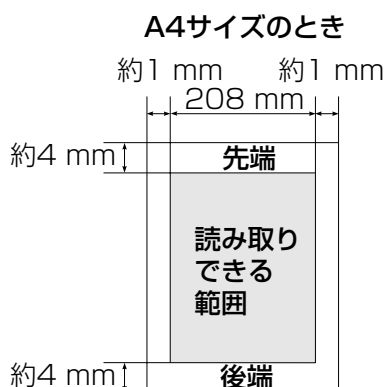
# 原稿について

セットできる原稿のサイズと厚さは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿を使うときは、複写機で拡大・縮小コピーをするか、小さすぎる原稿は市販のキャリアシートに入れてセットしてください。

## ● 原稿のサイズと紙厚

使用できる原稿のサイズや厚みは次の通りです。

- **最大原稿サイズ**：257（幅）× 600（長さ）mm
  長さが 400mm 以上の原稿は手で支えながら送信してください。
- **最小原稿サイズ**：148（幅）× 150（長さ）mm
- **紙厚**：0.08 ～ 0.10mm
- **重量**：64g/m² ～ 90g/m²（55 ～ 70kg 紙）

## ● 原稿の読み取り範囲

原稿をセットしたとき、読み取ることのできない範囲があります。

## ● セットできない原稿

次のような原稿をセットすると原稿がつまったり破れたりすることがあります。必要な処置をしてセットしてください。

| セットできない原稿 | 処置 |
|---|---|
| ステープラーの針やクリップのついた原稿 | ステープラー、クリップをはずしてください。 |
| そり、折れ、しわのある原稿 | たいらにするか、複写機でコピーしてください。 |
| ・穴、破れのある原稿<br>・貼り合わせた原稿<br>・アート紙、銀紙、カーボン紙など表面が加工された原稿<br>・インデックス、付せんなどはみ出た部分がある原稿<br>・登記書のように薄くてやわらかい原稿<br>・官製はがきのように厚さが適当ではない原稿<br>・本のようにとじてある原稿<br>・つるつるすべる原稿 | キャリアシートを使うか、複写機でコピーしてください。 |
| 朱肉、修正液、インクなどが乾いていない原稿 | 完全に乾かしてください。 |

# 主な仕様

## ●親機

| 形式 | 送受信兼用卓上型 G3 機 |
|---|---|
| 圧縮方式 | MH（モディファイドハフマン） |
| 電送時間 *1 | 約 9 秒 |
| 通信速度 | 14400 ／ 12000 ／ 9600 ／ 7200 ／ 4800 ／ 2400 BPS（自動フォールバック方式） |
| 原稿サイズ幅 | 最大：257mm、最小：148mm |
| 最大有効読取幅 *2 | 252mm |
| 最大有効記録幅 | 205mm |
| 記録紙サイズ | 210mm × 297mm（A4 普通紙） |
| 記録方式 | 熱転写記録方式による普通紙記録 |
| 読取方式 | 密着イメージセンサーによる読取 |
| ハーフトーン | 64 階調（誤差拡散方式） |
| 走査線密度 | 主走査：8 ドット／ mm<br>副走査：3.85 本／ mm（普通字）<br>7.7 本／ mm（細かい字／写真）<br>15.4 本／ mm（精細字／写真） |
| 適用回線 | 一般電話回線、2 線式専用回線、ファクシミリ通信網（16Hz のみ対応） |
| 使用環境 | 温度：5 ～ 35 ℃、湿度：45 ～ 80% |
| 電源 | AC100V ± 10V　50 ／ 60Hz |
| 消費電力 *3 | 待機時：約 1.6W<br>ピーク時：170W 以下<br>コピー時：19.4W 以下<br>ファクス送信時：9.5W 以下<br>ファクス受信時：16.8W 以下 |
| 外形寸法 | 341.5（横幅）× 208（奥行き）× 141.5（高さ）mm（アンテナ部、記録紙トレイ、ダストカバー、その他突起部を除く）<br>実設置寸法：350.5（横幅）× 264（奥行き）× 377.5（高さ）mm |
| 質量 | 約 3.5kg（ハンドスキャナー、リボンカートリッジ含む） |

*1：A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本／ mm）で高速モード（14400bps）で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線状態により異なります。
*2：B4 記録が可能な相手機種の場合の最大有効読取幅です。
*3：コピー、ファクス送受信時の原稿は、画像電子学会 No.4 チャートを使用。（常温、常湿にて測定）
＊外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

## ●子機

| | コードレス電話機 | 充電器 |
|---|---|---|
| 使用可能距離 | 見通し距離約 100m | - |
| 充電完了時間 | 約 15 時間 | - |
| 使用可能時間<br>（充電完了後） | 待機状態：約 130 時間<br>連続通話：約 6 時間 | - |
| 使用環境 | 温度：5 ～ 35 ℃、湿度：45 ～ 80% | |
| 電源 | DC2.4V（ニカド電池使用） | AC100 ± 10V　50 ／ 60Hz |
| 消費電力 | ― | 2W 以下（充電時） |
| 外形寸法 | 42.8（横幅）× 37.1（奥行き）× 182.1（高さ）mm | 67（横幅）× 100（奥行き）× 111（高さ）mm |
| 質量 | 約 150g（ニカド電池含む） | 約 106g |

# 索　引

## 0～9



## A ～ Z, α



## あ



## か



## さ



## た

## な



## は



## ま



## や



## ら

# 消耗品などのご注文について

・消耗品につきましては、お買い上げの販売店にてお買い求めいただくか、インターネット、フリーダイヤル、下記オーダーシートによるFAXなどの方法でご注文いただきますようお願いいたします。
・ご注文いただきました商品は、受付け終了後（振り込みの場合は入金確認後）通常 3 日程度（土・日・祝日、長期休暇を除く）で宅配便にて発送させて頂きます。
・配送料は、お買い上げ金額の合計が 5,000 円以上（消費税加算前）の場合は全国無料です。5,000 円未満の場合は 1,000 円の配送料を頂きます。（代引き手数料は全国一律無料）
・銀行／郵便振込時の振り込み手数料はお客様負担となります。
・カードでのお支払いの場合は、カード名義人様のみのお申し込みとし、カード登録の住所のみへの配送とさせて頂きます。又、弊社からの領収書の発行は致しかねますのでご了承願います。
・配送地域は日本国内に限らせて頂きます。

**ご注文先**

ブラザー販売（株）情報機器事業部ダイレクトクラブ

| | |
|---|---|
| インターネット： | http://www.brother.co.jp/direct/ |
| 住所： | 〒467-8577 名古屋市瑞穂区苗代町 15-1 |
| TEL： | 052-824-3410 |
| FAX： | 052-825-0311 |
| フリーダイヤル： | 0120-118825（土・日・祝日、長期休暇を除く 9 時〜 17 時） |
| 振込先： | 口座名義：ブラザー販売株式会社 |
| | 銀行：さくら銀行　上前津支店　普通　6428357 |
| | 郵便：振り込み番号　00860-1-27600 |

# ●消耗品オーダーシートを印刷する

本機では「消耗品オーダーシート」を印刷することができます。「詰め替え用リボン」などの消耗品をご注文いただくときはあらかじめ印刷しておかれると便利です。

※本機からプリントすることができます。

〈キリトリ線〉

## 消耗品オーダーシート

ブラザー販売（株）
情報機器事業部　ダイレクトクラブ　行
FAX: 052-825-0311
（お客様ご住所）
〒

（お名前）　（TEL）　（FAX）

（お支払い方法）　1)銀行前振込　2)郵便前振込　3)代引き　4)カード

（カード種類）　1)VISA　2)JCB　3)UC　4)DINERS　5)CF　6)Master　7)JACCS

（カードNo.）　（有効期限）　年　月

（カード名義人名）

| 品名 | 部品コード | 単価(税別) | ご注文数 | 金額 |
|---|---|---|---|---|
| 詰め替え用リボン1本入り　PC-400RF＊1 | LE4957001 | 1,280円 | | |
| 詰め替え用リボン4本入り　PC-404RF＊1 | LE4991001 | 4,500円 | | |
| 増設子機　BCL-400 | LE4995-001 | ＊2 | | |
| 子機用バッテリー　BCL-BT | UF8731-001 | 1,600円 | | |
| Eメールボード | LE5261-001 | ＊2 | | |
| マルチファンクションリンク MFL-100（PC接続キット） | UF8520-001 | 9,800円 | | |
| | | | 小計 | |
| | | | 配送料　＊3（どちらかに○を付けて下さい）●小計が5,000円未満→1,000円 ●小計が5,000円以上→　0円 | |
| | | | 合計（小計＋配送料） | |
| | | | 消費税　＊4（合計×0.05） | |
| | | | 総合計 | |

＊1：リボンの長さはA4サイズ約144枚分です
＊2：単価についてはダイレクトクラブにお問い合わせください。
＊3：配送料は変わる可能性があります。
＊4：消費税は変わる可能性があります。

振込先：口座名義：ブラザー販売株式会社
　銀行：さくら銀行　上前津支店　普通6428357
　郵便：振込番号　00860-1-27600

日頃からブラザーファクスをご愛用頂きまして、
誠にありがとうございます。
インターネットをご利用されているお客様は、URLにて
ブラザーダイレクトクラブにアクセスできます。
(URL) http://www.brother.co.jp/direct/
URLにて直接消耗品をご注文頂けます。
ぜひ一度ご覧ください。

# リモコンアクセスカード

〈キリトリ線〉

## リモコン　アクセス

暗　証　番　号

あなたの暗証番号を
記入してください。

**リモコンアクセスの使用方法**

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. 応答メッセージが再生されたら、 、暗証番号を入力します。
3. 暗証番号を入力すると、「ピー」という受付音が鳴り、「録音メッセージは○○件です」というガイダンスが聞こえます。続けて下記の応答音が聞こえます。（応答音によって本機の状態を示します。）
   「ポー」：ファクスメッセージがあります。
   「ポーポー」：音声メッセージがあります。
   「ポーポーポー」：ファクスメッセージと音声メッセージがあります。
   その後、「リモコンコードを入れてください。」というガイダンスが聞こえます。
4. リモコンコードを入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンコードは、裏面の一覧表を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、「番号が間違っています。リモコンコードを入れてください」というガイダンスが聞こえますので、もう１度やり直してください。

〈キリトリ線〉

## リモコン　アクセス

暗　証　番　号

あなたの暗証番号を
記入してください。

**リモコンアクセスの使用方法**

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. 応答メッセージが再生されたら、 、暗証番号を入力します。
3. 暗証番号を入力すると、「ピー」という受付音が鳴り、「録音メッセージは○○件です」というガイダンスが聞こえます。続けて下記の応答音が聞こえます。（応答音によって本機の状態を示します。）
   「ポー」：ファクスメッセージがあります。
   「ポーポー」：音声メッセージがあります。
   「ポーポーポー」：ファクスメッセージと音声メッセージがあります。
   その後、「リモコンコードを入れてください。」というガイダンスが聞こえます。
4. リモコンコードを入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンコードは、裏面の一覧表を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、「番号が間違っています。リモコンコードを入れてください」というガイダンスが聞こえますので、もう１度やり直してください。

〈キリトリ線〉

## リモコン　アクセス

暗　証　番　号

あなたの暗証番号を
記入してください。

**リモコンアクセスの使用方法**

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. 応答メッセージが再生されたら、 、暗証番号を入力します。
3. 暗証番号を入力すると、「ピー」という受付音が鳴り、「録音メッセージは○○件です」というガイダンスが聞こえます。続けて下記の応答音が聞こえます。（応答音によって本機の状態を示します。）
   「ポー」：ファクスメッセージがあります。
   「ポーポー」：音声メッセージがあります。
   「ポーポーポー」：ファクスメッセージと音声メッセージがあります。
   その後、「リモコンコードを入れてください。」というガイダンスが聞こえます。
4. リモコンコードを入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンコードは、裏面の一覧表を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、「番号が間違っています。リモコンコードを入れてください」というガイダンスが聞こえますので、もう１度やり直してください。

〈キリトリ線〉

## リモコンコード

| 操作内容 | | ボタン操作 |
|---|---|---|
| 音声のメッセージを再生 | | 91（※4） |
| 戻し（再生中から戻し） | | 911（91+1） |
| 送り（再生中から送り） | | 912（91+2） |
| ボイスメモを録音 | | 92（※1、※4） |
| 音声メッセージを消去（※2） | | 93 |
| 留守応答メッセージ1 | 再生 | 9410（※4） |
| | 録音 | 9420（※1、※4） |
| 留守応答メッセージ2 | 再生 | 9411（※4） |
| | 録音 | 9421（※1、※4） |
| 在宅応答メッセージ | 再生 | 9412（※4） |
| | 録音 | 9422（※1、※4） |
| 留守録転送、ファクス転送の設定変更 | しない | 951 |
| | ファクス転送 | 952（※5） |
| | 留守録転送 | 953（※5） |
| ファクス転送番号の登録・変更 | | 954+転送番号入力+## |
| みるだけ受信の設定 | する | 956 |
| | しない | 957 |

| 操作内容 | | ボタン操作 |
|---|---|---|
| ファクスの取り出し | メモリー使用状況リスト | 961+ダイヤル入力+## |
| | ファクスの取り出し | 962+ダイヤル入力+## |
| | ファクス消去 | 963 |
| 受信状況のチェック（※3） | ファクス | 971 |
| | 音声メッセージ | 972 |
| 受信モードの変更 | 留守 | 981 |
| | 在宅 | 982 |
| 終了 | | 90 |

※1：リモコンコード入力後、録音します。
※2：「ピピピッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
※3：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
※4：中止するときは[9]を入力してください。
※5：転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。

〈キリトリ線〉

## リモコンコード

| 操作内容 | | ボタン操作 |
|---|---|---|
| 音声のメッセージを再生 | | 91（※4） |
| 戻し（再生中から戻し） | | 911（91+1） |
| 送り（再生中から送り） | | 912（91+2） |
| ボイスメモを録音 | | 92（※1、※4） |
| 音声メッセージを消去（※2） | | 93 |
| 留守応答メッセージ1 | 再生 | 9410（※4） |
| | 録音 | 9420（※1、※4） |
| 留守応答メッセージ2 | 再生 | 9411（※4） |
| | 録音 | 9421（※1、※4） |
| 在宅応答メッセージ | 再生 | 9412（※4） |
| | 録音 | 9422（※1、※4） |
| 留守録転送、ファクス転送の設定変更 | しない | 951 |
| | ファクス転送 | 952（※5） |
| | 留守録転送 | 953（※5） |
| ファクス転送番号の登録・変更 | | 954+転送番号入力+## |
| みるだけ受信の設定 | する | 956 |
| | しない | 957 |

| 操作内容 | | ボタン操作 |
|---|---|---|
| ファクスの取り出し | メモリー使用状況リスト | 961+ダイヤル入力+## |
| | ファクスの取り出し | 962+ダイヤル入力+## |
| | ファクス消去 | 963 |
| 受信状況のチェック（※3） | ファクス | 971 |
| | 音声メッセージ | 972 |
| 受信モードの変更 | 留守 | 981 |
| | 在宅 | 982 |
| 終了 | | 90 |

※1：リモコンコード入力後、録音します。
※2：「ピピピッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
※3：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
※4：中止するときは[9]を入力してください。
※5：転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。

〈キリトリ線〉

## リモコンコード

| 操作内容 | | ボタン操作 |
|---|---|---|
| 音声のメッセージを再生 | | 91（※4） |
| 戻し（再生中から戻し） | | 911（91+1） |
| 送り（再生中から送り） | | 912（91+2） |
| ボイスメモを録音 | | 92（※1、※4） |
| 音声メッセージを消去（※2） | | 93 |
| 留守応答メッセージ1 | 再生 | 9410（※4） |
| | 録音 | 9420（※1、※4） |
| 留守応答メッセージ2 | 再生 | 9411（※4） |
| | 録音 | 9421（※1、※4） |
| 在宅応答メッセージ | 再生 | 9412（※4） |
| | 録音 | 9422（※1、※4） |
| 留守録転送、ファクス転送の設定変更 | しない | 951 |
| | ファクス転送 | 952（※5） |
| | 留守録転送 | 953（※5） |
| ファクス転送番号の登録・変更 | | 954+転送番号入力+## |
| みるだけ受信の設定 | する | 956 |
| | しない | 957 |

| 操作内容 | | ボタン操作 |
|---|---|---|
| ファクスの取り出し | メモリー使用状況リスト | 961+ダイヤル入力+## |
| | ファクスの取り出し | 962+ダイヤル入力+## |
| | ファクス消去 | 963 |
| 受信状況のチェック（※3） | ファクス | 971 |
| | 音声メッセージ | 972 |
| 受信モードの変更 | 留守 | 981 |
| | 在宅 | 982 |
| 終了 | | 90 |

※1：リモコンコード入力後、録音します。
※2：「ピピピッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
※3：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
※4：中止するときは[9]を入力してください。
※5：転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。

お客様相談窓口 0120-161170

本製品の取扱い、操作、アフターサービスについてのご相談は、上記のフリーダイヤルにお気軽にお申し付けください。

受付時間　午前9：00〜午後7：00
営 業 日　月曜日〜土曜日
（日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます。）


ダイレクトクラブにて消耗品のファクス注文受付中！
ファクス番号：052-825-0311
（消耗品オーダーシートは親機からプリントできます。）
本文157ページ参照

● 純正品のブラザーリボンをご使用いただいた場合のみ機能・品質保証されます。

brother


467-8561 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1
ブラザー工業株式会社


本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。現地での各国の通信規格に反する場合や、現地で使用されている電源が本製品に適切でない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。
また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. **Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.**

● **お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。**
● 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。


LE4757047②
Printed in Japan